

第3期別府市データヘルス計画

令和6年度～令和11年度

令和6年3月
別府市

目次

I 基本的事項	P1
計画の趣旨	P2
計画期間	P2
実施体制・関係者連携	P2
(1)基本情報	P3
(2)現状の整理	P4
II 健康・医療情報等の分析と課題	P5
平均寿命等	P6
医療費の分析	P6
特定健康診査・特定保健指導の分析	P7
レセプト・健診結果等を組み合わせた分析	P8
介護費関係の分析	P9
その他	P9
III 計画全体	P10
分析結果に基づく課題の抽出	P11
データヘルス計画（保健事業全体）の目的、目標、目標を達成するための戦略	P12
参考資料	P13
IV 個別事業計画	P16
事業1 特定健診等の受診率向上	P17
事業2 メタボリックシンドローム対策	P19
事業3 糖尿病性腎症重症化予防	P21
事業4 生活習慣病重症化予防（医療への受診勧奨、治療中の者への保健指導）	P23
事業5 ロコモティブシンドローム対策	P25
事業6 重複・多剤服薬者への服薬指導	P27
V その他	P29
データヘルス計画の評価・見直し	P30
データヘルス計画の公表・周知	P30
個人情報の取扱い	P30
地域包括ケアに係る取組	P30
その他留意事項	P30
【資料編】 参照データ図表集	P31

I 基本的事項

第3期別府市データヘルス計画

I 基本的事項

計 画 の 趣 旨	背景と目的	<p>1 背景 平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」とされました。</p> <p>平成26年3月、国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針（国指針）の一部を改正する等により、健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画（データヘルス計画）を策定した上で、保健事業の実施・評価・改善等を行うものとされました。</p> <p>令和2年7月に「経済財政運営と改革の基本方針2020(骨太方針2020)」において、保険者のデータヘルス計画の標準化等の取組の推進が掲げられました。今般、これらの経緯も踏まえ「第3期別府市データヘルス計画」を策定しました。</p> <p>2 目的 別府市の関係課及び関係機関はこの計画に基づき、市民のため「生活習慣病発症予防および重症化予防を図り、医療費適正化を目指す」ことを最大目標として、密に連携を図りながら効果的かつ効果的な保健事業等を実施することを目的とします。</p>							
	計画の位置づけ	<p>1 別府市総合計画における位置づけ 本計画は、第4次別府市総合計画における下記政策を基本とし策定いたします。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>政策</th> <th>施策</th> <th>めざす姿</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">健康・福祉</td> <td>2-1 【健康】</td> <td>・市民が自らの状況に応じた健康づくりにより、健康な体とこころを維持している。 ・体を動かす習慣づくりを普及する機会や医療体制などが整備されている。</td> </tr> <tr> <td>2-2 【福祉】</td> <td>住みなれた地域でそれぞれの違いや個性を認め合いながら、自助・互助・共助・公助による地域共生社会が築かれている。</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 健康及び福祉関連計画における位置づけ 健康及び福祉関連計画においては、2021年3月に策定された健康増進計画及び食育推進計画である「湯のまち別府健康21」と事業の整合性を図りながら、国保被保険者を対象とします。また、2024年3月策定予定「別府市第9期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」や、協会けんぽ、後期高齢者医療など他の医療保険者のデータヘルス計画、さらには特定健診等実施計画と連携を図りながら実施することとします。</p>	政策	施策	めざす姿	健康・福祉	2-1 【健康】	・市民が自らの状況に応じた健康づくりにより、健康な体とこころを維持している。 ・体を動かす習慣づくりを普及する機会や医療体制などが整備されている。	2-2 【福祉】
政策	施策	めざす姿							
健康・福祉	2-1 【健康】	・市民が自らの状況に応じた健康づくりにより、健康な体とこころを維持している。 ・体を動かす習慣づくりを普及する機会や医療体制などが整備されている。							
	2-2 【福祉】	住みなれた地域でそれぞれの違いや個性を認め合いながら、自助・互助・共助・公助による地域共生社会が築かれている。							
計画期間		令和6年度～令和11年度							
実 施 者 連 携 ・ 体 制	庁内組織	健康推進課が主体となり、国保担当課、介護保険担当課と連携してすすめます。							
	地域の関係機関	本計画の策定及び保健事業の運営においては、地域の関係機関として、別府市医師会・別府市歯科医師会・別府市薬剤師会等、そのほか地域の関係団体との連携によりすすめます。							

(1) 基本情報

人口・被保険者

被保険者等に関する基本情報

(令和5年12月末時点)

	全 体		男 性		女 性		
	人	割合 (%)	人	割合 (%)	人	割合 (%)	
人 口	112,901		51,923		60,978		
国保加入者数	23,195	100	10,777	100	12,418	100	
年齢	0～39歳	7,128	31	3,636	34	3,492	28
	40～64歳	6,758	29	3,273	30	3,485	28
	65～74歳	9,309	40	3,868	36	5,441	44
	平均年齢 (歳)	50.6		48.8		52.1	

地域の関係機関

計画の実効性を高めるために協力・連携する地域関係機関の情報

	連携先・連携内容
保健医療関係団体	別府市医師会・別府市歯科医師会・別府市薬剤師会等と、本市の健康課題を共有し、計画策定の段階から意見交換を行います。また、保健事業の実施にあたっては、別府市医師会・別府市歯科医師会・別府市薬剤師会等と連携して実施します。
大分県国保連合会	計画の策定支援や個別の保健事業の実施支援を受けます。
後期高齢者医療 広域連合	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業において連携して実施します。
その他	自治会、商工会、民間企業と連携して実施します。

(2) 現状の整理

保険者の特性	被保険者数の推移	令和5年度12月末時点の被保険者は23,195人であり、令和1年度12月末時点の26,155人から2,960人減少しています。
	年齢別被保険者構成割合	年齢別被保険者数の構成比としては、1番多いのが、男女ともに70-74歳、2番目に65-69歳、3番目に20-24歳となっており、20～24歳が多いことが別府市の特徴です。
	その他	国保加入率は後期高齢者の人口割合が多くなっていることから、減少しており、平成30年度23.6%から令和4年度21.6%と2.0%減少しています。
前期計画等に係る考察	<p>2期計画についてKDB等から得たデータや取組状況等を総合的に検証評価した結果、「特定保健指導対象者の減少率」「重症化予防年間介入率」といった達成できた指標もありましたが、「特定健診受診率」「特定保健指導実施率」「糖尿病の有病率」「生活習慣病の標準化死亡比」「介護認定率」といった未達成の指標も確認でき、課題となる指標が明確となりました。</p> <p>2期計画では、以下5つの重点施策を定め、個別事業を実施いたしました。</p> <p>1 健診（検診）の受診率向上 特定健診とがん検診を同時に実施している集団健診と市内健診センターでの受診率は、コロナ前まで回復していることから、健診体制の取組が効果をもたらしていると考えられますが、個別医療機関での受診率が低下していることから、医療機関等関係機関との連携を図る必要があります。</p> <p>2 保健指導の充実 高血圧や糖尿病などの生活習慣病は、適切な食事や運動などが発症および重症化の予防につながり、慢性腎臓病等の合併症の回避にも大きな影響を及ぼすため、保健指導は「健康寿命の延伸」という大目標はもとより、重症化予防や対象者の行動変容、医療費の適正化など市が抱える具体的な課題に大きく影響を与える事業です。今後は限られた人的資源の中、国がすすめる糖尿病性腎症重症化予防・特定保健指導を推し進めながら、保健指導の対象とそのあり方について検討が必要です。</p> <p>3 減塩（うま塩）の普及啓発 必要な人に啓発が届いておらず、第2期での取組とは別の方法、対象者の選定等を考慮した取組が必要であると考えられます。</p> <p>4 運動習慣の定着 ノルディックウォークの推奨を行い、ノルディックウォークに取り組む人や団体が増加し、全市的にノルディックウォークを推奨できる土台が完成しました。また、介護予防の取組である「週1元気アップ体操」や、「ゆったりストレッチ教室」の参加者数も増えていることから、運動習慣が定着できている市民が増えていると推察されます。</p> <p>5 住民組織の育成 コロナの影響もあり積極的な育成ができず、また、介護予防活動の中止を余儀なくされました。本取組が医療費の抑制や生活習慣の改善につながったか、評価は困難でした。</p> <p>第3期計画では上記評価を踏まえ、健診受診をすすめることに重点を置き、生活習慣病の早期発見・重症化予防に努める必要があります。</p>	

Ⅱ 健康・医療情報等の分析と課題

Ⅱ 健康・医療情報等の分析と課題

分類	健康・医療情報等のデータ分析から見えた内容	参照データ	対応する健康課題No.
平均寿命・平均自立期間・標準化死亡比等	<p>(1)男女ともに平均寿命、平均自立期間は、県より短くなっていました。</p> <p>(2)平均自立期間と平均余命の差は、男性は県と同水準、女性は県より短い状況でした。</p> <p>(3)死因割合において、「がん」「糖尿病」「自殺」は県、全国と比較して低いですが、「心臓病」「脳疾患」「腎不全」等の重症化疾患では県、全国より高くなっていました。</p> <p>(4)平成30年度から令和4年度の死因割合の推移は、「脳疾患」「心臓病」が増加していました。</p>	<p>(1)図表1</p> <p>(2)図表2</p> <p>(3)図表3</p> <p>(4)図表3</p>	J
医療費のボリューム (経年比較・性年齢階級別等)	<p>(1)総医療費は約96.1億円で平成30年度と比較して、約6.2億円減少していました。</p> <p>(2)被保険者1人当たり医療費は、入院、入院外いずれも増加しており、入院では、県、全国より高い状況でした。</p> <p>(3)受診率は高齢になるにつれて高くなる傾向でした。県、全国と比較すると男性は40-44歳、45-49歳、55-59歳、70-74歳で高く、女性は65-69歳以外で高くなっています。</p> <p>(4)被保険者1人当たり医療費は55-59歳以降、年齢が上がるほど増加傾向で、70-74歳が最も高い状況でした。</p> <p>(5)医療費の3要素は、平成30年度比較で、受診率（1人当たりレセプト件数）と1件当たり日数は減少、1日当たり医療費は増加していました。</p>	<p>(1)図表4</p> <p>(2)図表4,5</p> <p>(3)図表6</p> <p>(4)図表7</p> <p>(5)図表8</p>	I・J・K
医療費の分析 疾病分類別の医療費	<p>(1)医療費の割合は、「新生物」「循環器系」「精神」「神経系」「筋骨格系」の順に高く、医療費の割合は上位5疾患で55.2%を占め、県、全国より低くなっています。上位5疾患では、「精神」「神経系」「筋骨格系」の医療費の割合が県、全国より高くなっていました。</p> <p>(2)年齢階層別の医療費は、0-30歳までの若年層で「呼吸器系」、50歳以上で「新生物」「循環器系」「腎尿路系」の医療費が高い割合となっています。また「精神」の医療費は、30歳から59歳の割合が高くなっています。</p> <p>(3)「筋骨格系」の1人当たり医療費は県、全国より高く、特に入院は県、全国より高くなっています。</p> <p>(4)「腎不全」の医療費は平成30年度以降減少傾向ですが、中分類の中では、常に1位となっていました。</p> <p>(5)「骨折」の医療費は、約2.1億円で中分類130疾患のうち11位となっており、他自治体と比較して上位に位置しています。</p> <p>(6)中分類1人当たり医療費は、「その他神経系」「気分障害」「その他の呼吸器系」が県、全国より高くなっていました。</p> <p>(7)生活習慣病関連疾患の医療費は、全体の50.9%を占めていました。</p> <p>(8)「狭心症」「脳梗塞」の1人当たり医療費は入院で県、全国と比較して高い状況でした。</p> <p>(9)「心筋梗塞」の1人当たり医療費は入院、入院外で県、全国と比較して高い状況でした。</p> <p>(10)細小分類医療費の入院では2位に「骨折」約1.9億円、4位に「関節疾患」約1.8億円とロコモティブシンドローム関連疾患が上位になっていました。</p>	<p>(1)図表9</p> <p>(2)図表10</p> <p>(3)図表11</p> <p>(4)図表12</p> <p>(5)図表12</p> <p>(6)図表13</p> <p>(7)図表14</p> <p>(8)図表15,16</p> <p>(9)図表17</p> <p>(10)図表18</p>	I・J・K

Ⅱ 健康・医療情報等の分析と課題

分類		健康・医療情報等のデータ分析から見えた内容	参照データ	対応する健康課題No.
医療費の分析	後発医薬品の使用割合	(1)後発医薬品の使用割合は76.8%と、国の目標値である80%を下回っていました。	(1)図表19	-
	重複・頻回受診 重複服薬者割合	(1)重複多剤処方の状況は、6剤以上処方者が3,619人で全体の14.8%、10剤以上では1,247人で全体の5.1%、15剤以上では293人で全体の1.2%となっていました。	(1)図表20	L
特定健康診査・特定保健指導の分析	特定健康診査・特定保健指導の実施状況	(1)特定健診受診率は37.7%と、令和2年度の新型コロナウイルスの影響からは、回復しているもののそれ以前の水準には戻っておらず、県より低くなっていました。 (2)年齢階層が上がるにつれて健診受診率は上がっていますが、男性70-74歳以外、どの年齢層でも県よりも低くなっていました。 (3)個別医療機関での受診者は減少傾向で、治療中の健診未受診者が多い状況でした。 (4)特定保健指導実施率は、33.7%と令和1年度と比較すると減少傾向で、令和1年度から令和4年度では20.7%減と大幅に減少しています。	(1)図表21 (2)図表22 (3)図表23,64 (4)図表24	A ・ B
	特定健診結果の状況 (有所見率・健康状態)	(1)メタボ該当者及び予備群の減少率は、令和1年度から令和4年度で県の減少率を上回っていました。 (2)男性の40～64歳の令和4年度メタボ該当者割合は、県と比較し、該当者割合が高くなっていました。 (3)男性のメタボ該当者割合は平成30年度から令和4年度で増加傾向でした。 (4)メタボ予備群該当者割合は県より低くなっていました。 (5)高血圧症有病率は、平成30年度以降、県の有病率より低く推移しています。 (6)収縮期血圧160以上の該当者割合は県より高く、特に男性は県より高い状況でした。 (7)脂質異常症有病率は、平成30年度以降、県の有病率より低く推移していました。 (8)LDL140以上、160以上の該当者割合は平成30年度から令和4年度で減少傾向ですが、常に県より高い状況でした。 (9)糖尿病有病率は、平成30年度以降、県の有病率より低く推移していました。 (10)HbA1c6.5以上該当者割合は、平成30年度から令和2年度までは、県より高く、令和3年度以降は県より低くなっていました。 (11)HbA1c8.0以上該当者割合は、平成30年度以降、県と同等又は高くなっていました。 (12)HbA1c6.5以上のうち糖尿病の治療を受けている者の該当者割合は、平成30年度以降常に県の該当者割合より低い状況でした。	(1)図25,26 (2)図表27 (3)図表28 (4)図表29,30 (5)図表33,34 (6)図表31,32,35,36 (7)図表31,32,37,38 (8)図表31,32,39～42 (9)図表43,44 (10)図表31,32,45,46 (11)図表31,32,47,48 (12)図表31,32,49,50	E ・ F ・ G

Ⅱ 健康・医療情報等の分析と課題

分類	健康・医療情報等のデータ分析から見た内容	参照データ	対応する健康課題No.
特定健康診査・特定保健指導の分析 質問票調査の状況(生活習慣)	<p>(1)食習慣の質問票回答を県と比較すると、男女ともに「人と比べて食べる速度が速い」「朝食を抜くことが週に3回以上ある」「週3回以上就寝前2時間以内に夕食をとる」と回答した割合が高い状況でした。</p> <p>(2)食習慣の質問票回答のうち、平成30年度から令和4年度の経年でみると、「夕食後に間食をとることが毎日ある」「朝食を抜くことが週に3回以上ある」と回答した割合が増えています。</p> <p>(3)「朝食を抜くことが週に3回以上ある」「人と比べて食べる速度が速い」と回答した割合は女性よりも男性の方が高くなっていました。</p> <p>(4)運動習慣の質問票回答のうち、平成30年度から令和4年度の経年でみると、女性の「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い」、女性の「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施」と回答した割合が減少していました。</p> <p>(5)「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施」と回答した割合は、平成30年度以降常に県より低く、性別、年齢別にみても低い状況でした。</p> <p>(6)「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人」の該当者割合は、平成30年度は県と同等でしたが、令和4年度は減少しており、県より低くなっていました。</p> <p>(7)「現在、たばこを習慣的に吸っている」と回答した者の割合は男性、女性、全体すべてで県、全国より高く、平成30年度以降常に県より高い状況でした。</p> <p>(8)「お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度_毎日」と回答した女性の割合は県、全国と比較して高く、全体でも県より高い状況でした。</p> <p>(9)「飲酒日の1日当たりの飲酒量_3合以上」「睡眠で休養が十分とれている_いいえ」と回答した者の割合は男性、女性、全体すべてで県、全国より高い状況でした。</p>	(1) 図表51～55 (2) 図表51～53 (3) 図表51,54,55 (4) 図表56 (5) 図表57,58 (6) 図表59,60 (7) 図表61～63 (8) 図表61 (9) 図表61	C・D
レセプト・健診結果等を組み合わせた分析	<p>(1)健診受診者のうち医療受診がある人は5,043人・34.3%でした。</p> <p>(2)健診未受診かつ医療機関での医療受診がある人は7,015人・47.8%でした。そのうち、生活習慣病がある人は4,364人で、健診未受診かつ医療受診がある人のうち62.2%でした。</p> <p>(3)健診未受診かつ医療機関での医療未受診の人（健康状態不明者）は2,147名・14.6%でした。</p>	(1)図表64 (2)図表64 (3)図表64	A

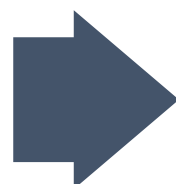
Ⅱ 健康・医療情報等の分析と課題

分類	健康・医療情報等のデータ分析から見えた内容	参照データ	対応する健康課題No.
介護費関係の分析	<p>(1)介護給付費は約119.1億円と年々増加傾向で、居宅と施設の割合はおよそ2：1でした。</p> <p>(2)1人当たり介護給付費は居宅では県、全国と比較して高く、施設では県、全国より低くなってました。</p> <p>(3)1号認定率は18.4%と、県、全国と比較して低い状況でした。</p> <p>(4)介護認定者は7,344人で増加していました。</p> <p>(5)介護認定者の有病状況は「心臓病」、「筋・骨格」、「高血圧症」、「精神」の順で高くなっていました。</p> <p>(6)レセプト1件当たりの医療費は、「認定あり」と「認定なし」で2倍以上の差がありました。</p> <p>(7)要介護新規認定者の原因疾患別人数は、「高血圧疾患」「関節疾患」「認知症（老人性）」の順に多くなっていました。また「高血圧疾患」「脳血管疾患」「心疾患」の生活習慣病関連が原因疾患となっている人が増加傾向にありました。</p>	<p>(1)図表65 (2)図表65 (3)図表66 (4)図表66 (5)図表67 (6)図表67 (7)図表68</p>	J・K
その他	<p>(1)新規人工透析患者数は平成30年度以降増減はありますが、平成30年度14人に対して、令和4年度は19人と増加傾向です。</p> <p>(2)透析1件当たり医療費の経年推移はおおむね横ばいですが、県、全国より高くなっています。患者千人当たり透析患者数は横ばいですが、全国よりも多い傾向です。</p> <p>(3)人工透析患者の他疾病有病状況は、高血圧症、糖尿病、脂質異常症等の基礎疾病が高い割合となっています。年齢階層別の人工透析患者割合は、男性は、55～59歳、65～69歳、女性は55～59歳がピークとなっています。</p> <p>(4)「新生物」の1人当たり医療費は県、全国より低い状況です。総医療費を種類別にみると「肺がん」「乳がん」「大腸がん」の順に高くなっています。</p> <p>(5)令和3年度のがん検診受診率は、「肺がん」、「胃がん」、「大腸がん」が県、全国より低い状況でした。特に「胃がん」、「大腸がん」は、平成30年度以降減少傾向にあります。「乳がん」、「子宮頸がん」は県、全国より受診率が高く、特に乳がんは平成30年度以降増加傾向にあります。</p>	<p>(1)図表69,70 (2)図表70 (3)図表71 (4)図表11,72 (5)図表73</p>	I

Ⅲ 計画全体

Ⅲ 計画全体（分析結果に基づく課題の抽出）

	健康課題	優先する健康課題	対応する保健事業番号
A	特定健診の受診率が低い	1	1
B	特定保健指導の実施率が低い	2	2
C	不健康な生活習慣の者が多い（食事・運動）	3	1, 2, 3, 4
D	不健康な生活習慣の者が多い（飲酒・喫煙・睡眠）	3	1, 2, 3, 4
E	メタボ該当者が多く、特に男性の若年層の該当者が多い	4	1, 2, 3, 4
F	収縮期血圧が高値の者が多い	5	1, 2, 3, 4
G	LDLが高値の者が多い	5	1, 2, 3, 4
H	HbA1cが高値の者が多く、HbA1c有所見者でも糖尿病の治療を受けている者が少ない	5	1, 2, 3, 4
I	新規人工透析患者数が増加している	6	1, 2, 3, 4
J	生活習慣病重症化疾患が多い	6	1, 2, 3, 4
K	筋骨格系疾患、ロコモティブシンドローム関連疾患が多い	7	5
L	重複・多剤服薬者が多い	8	6



Ⅲ 計画全体

(データヘルス計画 (保健事業全体) の目的、目標、目標を達成するための戦略)

計画全体の目的	生活習慣病発症予防および重症化予防を図り、医療費適正化を目指す
---------	---------------------------------

計画全体の目標		計画全体の評価指標	指標の定義	計画策定時実績	目標値 ※ () 内は実績年度					
					2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)
i	特定健診受診率の向上	特定健診受診率	法定報告	37.7 (R4)	37.7 (R5)	42.2 (R6)	46.7 (R7)	51.2 (R8)	55.7 (R9)	60.0 (R10)
ii	生活習慣を改善する	特定保健指導実施率	法定報告	33.7 (R4)	33.7 (R5)	39.0 (R6)	44.3 (R7)	49.6 (R8)	54.9 (R9)	60.0 (R10)
iii		メタボ該当者及び予備群の減少率	県共通指標	15.4 (R4)	15.4 (R5)	15.4 (R6)	15.4 (R7)	15.4 (R8)	15.4 (R9)	15.4 (R10)
iv	生活習慣病の重症化を予防する	HbA1c6.5%以上の者の割合	県共通指標	9.8 (R4)	9.8 (R5)	9.8 (R6)	9.8 (R7)	9.8 (R8)	9.8 (R9)	9.8 (R10)
v		新規人工透析患者数	県共通指標	19 (R4)	19 (R5)	18 (R6)	17 (R7)	16 (R8)	15 (R9)	14 (R10)
vi		脳血管疾患有病率	KDB	4.05 (R4)	4.05 (R5)	4.05 (R6)	4.05 (R7)	4.05 (R8)	4.05 (R9)	4.05 (R10)
vii	骨折を予防する	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施する人の割合	県共通指標	49.6 (R4)	49.6 (R5)	51.7 (R6)	53.8 (R7)	55.9 (R8)	58.0 (R9)	60.0 (R10)



事業番号	事業分類	事業名	重点・優先度
1	特定健康診査	特定健診等の受診率向上	重点
2	特定保健指導	メタボリックシンドローム対策	重点
3	重症化予防 (受診勧奨・保健指導)	糖尿病性腎症重症化予防	重点
4	重症化予防 (受診勧奨・保健指導)	生活習慣病重症化予防	重点
5	その他	ロコモティブシンドローム対策	
6	重複・頻回受診、重複服薬者対策	重複・多剤服薬者への服薬指導	

Ⅲ 計画全体参考資料①

健康課題		参考情報
A	特定健診の受診率が低い	<p>特定健診受診率は、令和4年度37.7%と令和2年度34.6%の新型コロナウイルスの影響からは、回復しているもののそれ以前の水準である平成30年度42.8%には戻っておらず、県39.7%と比較しても2.0%低くなっていた。</p> <p>中でも、個別医療機関での受診率が平成30年度26.2%、令和4年度20.8%と5.4%減少しており、治療中の人の健診未受診者が多いと考えられる。</p> <p>また、令和4年度時点で、健診未受診かつ医療機関での治療のない人（健康状態不明者）が2,147名・14.6%で、県の13.8%と比較すると0.8%高い。</p>
B	特定保健指導の実施率が低い	<p>特定保健指導実施率は、令和4年度33.7%と令和1年度の54.4%と比較すると減少傾向で、令和1年度から令和4年度では20.7%減と大幅に減少していた。</p>
C	不健康な生活習慣の者が多い (食事・運動)	<p>(1)週3回以上就寝前2時間以内に夕食をとる人 大分県共通指標より、令和4年度の該当者割合は14.6%と、県12.6%より2.0高く、平成30年度以降全体、男女すべてで常に県より高い状況でした。</p> <p>(2)人と比べて食べる速度が速い人 大分県共通指標より、令和4年度の該当者割合は29.1%と、県28.4%より0.7%高く、平成30年度以降常に県より高い状況である。</p> <p>(3)週3回以上朝食を抜く人 KDBより、令和4年度の該当者割合は13.5%と、県9.4%より4.1%高く、全国10.4%より3.1%高い。</p> <p>(4)1日1時間以上運動する人 大分県共通指標より、令和4年度の該当者割合は49.6%と、県60.0%より10.4%低く、平成30年度以降全体、男女ともに常に県より低い状況でした。</p>
D	不健康な生活習慣の者が多い (喫煙・飲酒・睡眠)	<p>(1)喫煙習慣がある人 大分県共通指標より、令和4年度の該当者割合は13.8%と、県11.8%より2.0%高い。性別で見ると、男性23.9%、女性7.3%と、男性は県21.8%より2.1%高く、女性は県4.4%より2.9%高い。</p> <p>(2)毎日飲酒をする人 KDBより、令和4年度の該当者割合は24.8%と県24.0%より0.8%高い。特に、女性の割合は13.5%と県10.1%より3.4%高く、全国12.0%と比較して1.5%高い。</p> <p>(3)3合以上の飲酒をする人 KDBより、令和4年度の該当者割合は4.0%と、県2.1%より1.9%高い。性別で見ると、男性5.5%、女性2.3%と、男性は県3.5%より2.0%高く、全国4.7%より0.8%高い。女性は県0.7%より1.6%高く、全国0.9%より1.4%高い。</p> <p>(4)睡眠で休息が十分に取れていない人 KDBより、令和4年度の該当者割合は27.4%と、県23.6%より3.8%高い。性別で見ると、男性24.6%、女性29.2%と、男性は県21.1%より3.5%高く、全国23.7%より0.9%高い。女性は県25.4%より3.8%高く、全国27.1%より2.1%高い。</p>

Ⅲ 計画全体参考資料②

健康課題		参考情報
E	メタボ該当者が多く、特に男性の若年層の該当者が多い	<p>メタボ該当者及び予備群の減少率は、令和1年度以降、県の減少率を上回っており、令和4年度の減少率では県13.3%に対し、15.4%の減少率と2.1%上回った。</p> <p>平成30年度の県男性のメタボ該当者割合を100とした場合、別府市の男性メタボ該当者標準化比は常に100を上回り、令和4年度122.6と平成30年度115.1と比較して7.5増加している。</p> <p>令和4年度の男性の40～64歳の令和4年度メタボ該当者割合は30.5%となっており、県25.6%と比較し、該当者割合が4.9%高い。</p>
F	収縮期血圧が高値の者が多い	<p>高血圧症の令和4年度の有病率は20.2%であり、県23.9%より3.7%低く、平成30年度以降、県の有病率より低く推移している。</p> <p>一方で令和4年度の収縮期血圧160以上該当者割合は5.1%と県4.8%より0.3%高い。特に男性の該当者割合は、平成30年度以降どの年度でも県より高い。</p> <p>平成30年度以降、収縮期血圧160以上の該当者割合は増加傾向であったが、令和2年度以降減少している。しかし平成30年度以降どの年度でも県より高い状況にある。</p>
G	LDLが高値の者が多い	<p>脂質異常症の令和4年度の有病率は17.3%であり、県21.0%より3.7%低く、平成30年度以降、県の有病率より低く推移している。</p> <p>一方でLDL有所見者割合は男女ともに県より高い状況である。</p> <p>LDL140以上の令和4年度の該当者割合は28.4%と、県の25.6%より2.8%高い。性別で見ると、男性は24.9%で県21.6%より3.3%高く、女性は30.7%で県28.5%より2.2%高い。</p> <p>LDL160以上の令和4年度の該当者割合は12.2%と、県の10.2%より2.0%高い。性別で見ると、男性は10.8%で県8.2%より2.6%高く、女性は13.1%で県11.7%より1.4%高い。</p> <p>平成30年度からの推移でみると、LDL140以上、LDL160以上ともに減少傾向であるが、全体、性別にみても、県より高い状況にある。</p>
H	HbA1cが高値の者が多く、HbA1c有所見者でも糖尿病の治療を受けている者が少ない	<p>糖尿病の令和4年度の有病率は10.6%であり、県13.2%より2.6%低く、平成30年度以降、県の有病率より低く推移している。</p> <p>一方でHbA1c8.0以上の令和4年度の該当者割合は1.2%と、県1.1%より0.1%高い。</p> <p>平成30年度の県のHbA1c8.0以上該当者割合を100とした場合、別府市の令和4年度のHbA1c8.0以上該当者標準化比は101.2で県の標準化比96.0より5.2高く、年度によって増減はあるものの、常に県の標準化比より高い。</p> <p>HbA1c6.5%以上の者で糖尿病の治療を受けている者の割合は、令和4年度で81.3%であり、県84.9%より3.6%低い。</p> <p>また、入院外での医療費上位疾患（細小分類）では、糖尿病が約3.6億円と最も高い。</p>

Ⅲ 計画全体参考資料③

健康課題		参考情報
I	新規人工透析患者数が増加している	<p>新規人工透析患者数は平成30年度以降増減はあるものの平成30年度14人であったのに対して、令和4年度は19人と増加傾向である。</p> <p>※新規人工透析患者数 H30：14人 R1：9人 R2：21人 R3：22人 R4：19人</p> <p>患者千人当たり透析患者数は、ほぼ横ばい傾向で県より低く推移しているが、令和4年度7.9人と全国の6.4人よりも1.5人多くなっている。</p> <p>中分類での1人当たり医療費は25,419円で腎不全が最も高い。</p>
J	生活習慣病重症化疾患が多い	<p>(1)1人当たり医療費</p> <p>①狭心症 1人当たり医療費は入院で94,442円と県77,234円と比較して17,208円高く、全国86,266円と比較して8,176円高い。</p> <p>②脳梗塞 1人当たり医療費は入院で225,921円と県196,259円と比較して29,662円高く、全国193,810円と比較して32,111円高い。</p> <p>③心筋梗塞 1人当たり医療費は入院で592,076円と県480,417円と比較して111,659円高く、全国430,139円と比較して161,937円高い。入院外でも56,715円と県53,405円と比較して3,310円高く、全国46,276円と比較して10,439円高い。</p> <p>(2)死因割合 令和4年の死因割合において、がん・糖尿病・自殺は、県、全国と比較して低いが、心臓病・脳血管・腎不全等の重症化疾患では高くなっている。</p> <p>心臓病28.8%は県28.7%と比較して0.1%高く、全国27.5%と比較しても1.3%高い。 脳疾患16.3%は県15.6%と比較して0.7%高く、全国13.8%と比較しても2.5%高い。 腎不全5.6%は県4.4%と比較して1.2%高く、全国3.6%と比較しても2.0%高い。</p> <p>平成30年度から令和4年度の死因割合の推移を見ると、脳疾患が13.8%から16.3%と2.5%増加、心臓病が27.1%から28.8%と1.7%増加している。</p>
K	筋骨格系疾患、ロコモティブシンドローム関連疾患が多い	<p>「筋骨格系」の1人当たり医療費は35,021円と県の34,905円より116円高く、全国の29,484円より5,537円高い。特に入院の医療費は17,016円で、県の16,240円より776円高く、全国の12,255円より4,761円高い。</p> <p>「骨折」の中分類医療費は、平成30年以降常に上位に位置しており、令和4年度では約2.1億円で11位と上位になっている。入院医療費（細小分類）では2位に「骨折」約1.9億円、4位に「関節疾患」約1.8億円とロコモティブシンドローム関連疾患が上位になっている。</p>

IV 個別事業計画

IV 個別事業計画

事業 1	特定健診等の受診率向上
------	-------------

事業の目的	メタボリックシンドロームおよびそれに伴う生活習慣病の早期発見を目指した特定健診の受診をすすめるため、体制整備や受診勧奨等の取組を行うことで、特定健診受診率を向上させることを目的とする
-------	---

事業の概要	特定健診を受診しやすい体制整備や、未受診者への受診勧奨を実施する
-------	----------------------------------

対象者	40～74歳の被保険者
-----	-------------

項目	No.	評価指標	評価対象・方法	計画策定時実績	目標値 ※ () 内は実績年度					
					2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトカム指標	1	特定健診受診率	法定報告	37.7 (R4)	37.7 (R5)	42.2 (R6)	46.7 (R7)	51.2 (R8)	55.7 (R9)	60.0 (R10)

項目	No.	評価指標	評価対象・方法	計画策定時実績	目標値 ※ () 内は実績年度					
					2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトプット指標	1	特定健診未受診者への受診勧奨	健康推進課	100	100	100	100	100	100	100
	2	歯周病検診受診率	健康推進課	10.3 (R5)	11.9 (R6)	13.5 (R7)	15.1 (R8)	16.7 (R9)	18.3 (R10)	20.0 (R11)
	3	健診未受診かつ医療未受診者の割合	KDB	14.6 (R4)	14.6 (R5)	13.7 (R6)	12.8 (R7)	11.9 (R8)	11.0 (R9)	10.0 (R10)

事業 1

特定健診等の受診率向上

プロセス (方法)	周知	医療機関・薬局に特定健診受診を促進するような資材を掲示する 市報や別府市ホームページ、別府市公式LINE、ケーブルテレビ等を活用し広報を行う 健診の予約がしやすい体制を構築し、各種媒体で周知する 市のイベント等で、健康に関する啓発を行う
	勧奨	年齢、性別、生活習慣病治療中者、健康状態不明者（健診・医療未受診の者）等、属性に応じた、効果的な受診勧奨を実施する 特に健康状態不明者については、過去の健診や医療の情報等を詳細に分析し、対象にあった勧奨方法（訪問、電話、通知 等）を選択し、より丁寧な勧奨に努める
	実施および実施後の支援	健診実施後は、結果通知を可能な限り素早く実施する 個別健診、集団健診に加え、レディース健診など対象者がより受診しやすくなるような健診を開催する
	その他 (事業実施上の工夫・留意点・目標等)	健診受診しやすい体制整備やなぜ未受診なのか等の未受診理由を把握するよう努める 40歳到達者は初めて特定健診対象となる者でもあるため、健康意識向上のために歯周病検診等を取り入れ、丁寧な受診勧奨に努める

ストラクチャー (体制)	庁内担当部署	健康推進課
	保健医療関係団体 (医師会・歯科医師会・薬剤師会・栄養士会など)	別府市医師会：事業説明、広報・データ提供協力依頼、受診状況の情報提供 特定健診指定医療機関：みなし健診データ提供依頼、通院中の患者への健診受診勧奨依頼、受診状況の情報提供 別府市薬剤師会：事業説明、広報の協力依頼 別府市歯科医師会：事業説明、広報の協力依頼 市内健診センター（医師会、厚生連、OHC）：事業説明、広報協力依頼、受診状況の情報提供 大分県東部保健所
	国民健康保険団体連合会	評価指標抽出、支援評価委員会等での助言
	民間事業者	特定健診未受診者の過去の受診状況や治療状況をもとに、ターゲットが明確になるような分析を依頼
	その他の組織	
	他事業	健康増進事業：特定健診とがん検診を同時実施できる体制を整える
	その他 (事業実施上の工夫・留意点・目標等)	WEB予約などICTを活用し、予約しやすい体制を整える 健康アプリ（おおいた歩得）利用者へのポイント（インセンティブ）付与 インセンティブを有効に活用し、受診率の向上に努める

事業 2

メタボリックシンドローム対策

事業の目的	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の者に対して、保健指導や啓発を行うことで、メタボリックシンドローム該当者及び予備群を減少させることを目的とする。食事や運動等の保健指導の質を高めることで、内臓脂肪蓄積の原因となる不健康な生活習慣の改善を図る
事業の概要	保健指導を利用しやすい体制整備と、利用勧奨・再勧奨を実施 対象者の生活習慣に着目し、メタボリックシンドローム該当者を減らすための保健指導を実施
対象者	特定健診受診者のうち、メタボリックシンドロームに該当した者

項目	No.	評価指標	評価対象・方法	計画策定時 実績	目標値 ※ () 内は実績年度					
					2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトカム 指標	1	メタボ該当者割合	県共通指標	20.5 (R4)	20.5 (R5)	20.5 (R6)	20.4 (R7)	20.3 (R8)	20.2 (R9)	20.1 (R10)
	2	日常生活において歩行 又は同等の身体活動を 1日1時間以上実施 する人の割合	県共通指標	49.6 (R4)	49.6 (R5)	51.7 (R6)	53.8 (R7)	55.9 (R8)	58.0 (R9)	60.0 (R10)

項目	No.	評価指標	評価対象・方法	計画策定時 実績	目標値 ※ () 内は実績年度					
					2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトプット 指標	1	特定保健指導実施率	法定報告	33.7 (R4)	33.7 (R5)	39.0 (R6)	44.3 (R7)	49.6 (R8)	54.9 (R9)	60.0 (R10)
	2	保健指導実施率	健康推進課	不明	35.0 (R6)	38.0 (R7)	41.0 (R8)	44.0 (R9)	47.0 (R10)	50.0 (R11)

プロセス（方法）	周知	市報や別府市ホームページ、別府市公式LINE、ケーブルテレビ等を活用し広報を行う。
	勧奨	<ol style="list-style-type: none"> 特定保健指導対象者 <ol style="list-style-type: none"> 個別医療機関にて特定健診を受診した者 特定健診受診機関より特定保健指導利用勧奨を行う 利用申込がなかった者に対し、市より通知・電話・訪問による再勧奨を行う 市内健診センターにて特定健診を受診した者 各センターにて特定保健指導利用勧奨を実施 特定保健指導の状況について情報共有を行う 特定保健指導対象者に該当しなかったがメタボリックシンドロームに該当する者 メタボリックシンドローム予防及び改善の啓発と、保健指導の利用勧奨を行う
	実施および実施後の支援	<ol style="list-style-type: none"> 特定保健指導対象者 <ol style="list-style-type: none"> 健診受診後、できる限り早い時期に保健指導を実施する 特定健診質問票をもとに面接を実施し、特に別府市の特徴的な生活習慣（喫煙、飲酒、就寝2時間前の夕食、朝食欠食、身体活動）に関して丁寧な聞き取りを行い、可能な限り改善に努める 面接時に対象者が達成できる目標を設定し、その目標に焦点を絞った支援を実施する 受診勧奨値に該当する者に対しては、医療機関の受診勧奨を必ず行う 特定保健指導対象者に該当しなかったがメタボリックシンドロームに該当する者 <ol style="list-style-type: none"> メタボは生活習慣病のリスクを上げる要因であることを通知等で啓発し、希望者への保健指導と、ターゲットを絞った保健指導を実施する
	その他（事業実施上の工夫・留意点・目標等）	カンファレンスや研修受講など、保健指導の質の向上に努める

ストラクチャー（体制）	庁内担当部署	健康推進課
	保健医療関係団体（医師会・歯科医師会・薬剤師会・栄養士会など）	別府市医師会：事業説明 特定健診指定医療機関：特定保健指導対象となった方への利用勧奨を依頼 市内健診センター：事業説明、特定保健指導の委託 大分県東部保健所
	民間事業者	対象者がメタボ改善に取り組めるような体制を整えるため、市内の関係機関（スポーツジム等）との関係を構築する
	その他（事業実施上の工夫・留意点・目標等）	対象者への指導を効果的・効率的に実施するため、ICTの活用を検討する

事業 3

糖尿病性腎症重症化予防

事業の目的	大分県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、糖尿病および糖尿病性腎症の悪化が危惧される者に対して、医療機関への受診勧奨や保健指導等を行うことで、腎不全や人工透析等の重症化疾患を予防し、被保険者の生活の質（QOL）の維持・向上および健康寿命の延伸につなげることを目的とする
事業の概要	糖尿病や糖尿病性腎症の重症化リスクの高い人に対して、医療機関への受診勧奨や保健指導を行い、重症化予防に努める
対象者	<p>【対象者 1】 特定健診受診者のうち下記基準に該当するもの ①HbA1c6.5%以上（治療中者は7.0%以上）または空腹時血糖126mg/dl以上（治療中者は130mg/dl以上）の者 ②HbA1c6.5%以上または空腹時血糖126mg/dl以上かつ腎機能低下（尿蛋白（±）以上、eGFR45ml/分/1.73m²未満、eGFR30%以上 等）が疑われる者</p> <p>【対象者 2】 過去に糖尿病の治療歴があるが、最終の受診から一定期間受診が確認できない者</p>

項目	No.	評価指標	評価対象・方法	計画策定時実績	目標値 ※（）内は実績年度					
					2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトカム指標	1	HbA1c8.0%以上の者の割合	県共通指標	1.2 (R4)	1.2 (R5)	1.2 (R6)	1.2 (R7)	1.1 (R8)	1.1 (R9)	1.0 (R10)
	2	eGFR45ml/分/1.73m ² 未満の者の割合	県共通指標	2.4 (R4)	2.4 (R5)	2.4 (R6)	2.4 (R7)	2.4 (R8)	2.4 (R9)	2.4 (R10)
	3	受診勧奨による医療機関受診率	健康推進課	不明	55.4 (R5)	60.4 (R6)	65.4 (R7)	70.4 (R8)	75.4 (R9)	80.0 (R10)

項目	No.	評価指標	評価対象・方法	計画策定時実績	目標値 ※（）内は実績年度					
					2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトプット指標	1	受診勧奨率	健康推進課	100 (R4)	100	100	100	100	100	100

事業 3

糖尿病性腎症重症化予防

プロセス (方法)	周知	特定健診受診券に同封の案内チラシや、特定健診結果説明時に健診結果に基づく保健指導の案内が記載された用紙を配布する
	勧奨	【対象者 1】未治療の者へは通知・電話等による医療機関受診勧奨を実施 【対象者 2】通知等による医療機関受診勧奨を実施
	実施および 実施後の支援	【対象者 1】 未治療の者は受診勧奨後、レセプトにて受診状況を確認し、未受診の者へは再勧奨を実施する 治療中の者は通知や電話にてかかりつけ医へ相談するよう勧め、医療機関や対象者より保健指導の依頼があれば市にて対応する 【対象者 2】 勧奨後、レセプトにて受診状況を確認し、未受診の者へは再勧奨を実施する
	その他 (事業実施 上の工夫・留 意点・目標 等)	除外対象者：1型糖尿病の者、がん等で終末期の者、精神疾患・認知疾患罹患者、その他 保険者が介入を適さないと判断する者 【対象者 2】未受診であった理由等の調査も実施する

ストラクチャー (体制)	庁内担当 部署	健康推進課
	保健医療 関係団体 (医師会・歯 科医師会・薬 剤師会・栄養 士会など)	別府市医師会：事業説明 特定健診指定医療機関：事業説明、対象者の情報提供、保健指導実施時の情報連携 健診センター：受診勧奨の実施と、その後の追跡調査を依頼 大分県東部保健所
	国民健康 保険団体 連合会	対象者抽出
	民間事業者	【対象者 2】対象者抽出、勧奨資材の作成
	その他の組織	別府市医師会地域医療連携パス委員会（糖尿病班、CKD班）：事業内容の相談
	他事業	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業：事業内容の相談・共有
	その他 (事業実施 上の工夫・留 意点・目標 等)	医師との連携や対象者への指導を効果的・効率的に実施するため、ICTの活用を検討する 保健指導の効果等を含めた健診有所見者の状況について、健診委託先連携会議等にて関係 機関へ情報提供する

事業 4

生活習慣病重症化予防（医療への受診勧奨、治療中の者への保健指導）

事業の目的	生活習慣病の重症化予防には、早期の治療と食事や運動など日常生活における積極的な改善が必要なことから、特定健診における有所見者への早期介入を促進し、被保険者の生活習慣病重症化予防及び生活習慣病関連の医療費適正化を図る
事業の概要	特定健診受診者で、医療機関受診勧奨判定値を超えている者へ受診勧奨を実施すると共に治療中の者は対象者のかかりつけ医と連携し、保健師、管理栄養士等が保健指導、栄養指導を実施する
対象者	特定健診受診者のうち下記基準に該当する者 【対象者1】中性脂肪300以上またはLDL160以上 【対象者2】収縮期血圧160mmHg以上又は拡張期血圧100mmHg以上 【対象者3】尿蛋白（+）以上又はeGFR45ml/分1.73m ² 未満

項目	No.	評価指標	評価対象・方法	計画策定時実績	目標値 ※（）内は実績年度					
					2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトカム指標	1	受診勧奨による医療機関受診率	健康推進課	50.35 (R4)	55.4 (R5)	60.4 (R6)	65.4 (R7)	70.4 (R8)	75.4 (R9)	80.0 (R10)
	2	LDL160以上の該当者割合	県共通指標	12.2 (R4)	12.2 (R5)	11.8 (R6)	11.4 (R7)	11.0 (R8)	10.6 (R9)	10.2 (R10)
	3	収縮期血圧160以上の該当者割合	県共通指標	5.1 (R4)	5.1 (R5)	5.1 (R6)	5.0 (R7)	4.9 (R8)	4.8 (R9)	4.8 (R10)
	4	eGFR45未満の該当者割合	県共通指標	2.4 (R4)	2.4 (R5)	2.4 (R6)	2.4 (R7)	2.4 (R8)	2.4 (R9)	2.4 (R10)

項目	No.	評価指標	評価対象・方法	計画策定時実績	目標値 ※（）内は実績年度					
					2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトプット指標	1	受診勧奨率	健康推進課	100 (R4)	100	100	100	100	100	100
	2	保健指導実施率	健康推進課	100 (R4)	100	100	100	100	100	100

事業 4

生活習慣病重症化予防（医療への受診勧奨、治療中の者への保健指導）

プロセス (方法)	周知	特定健診受診券に同封の案内チラシや、特定健診結果説明時に健診結果に基づく保健指導の案内が記載された用紙を配布する
	勧奨	対象者へは、通知や電話等にて、医療機関受診または保健指導をすすめる
	実施および 実施後の支援	未治療の者は受診勧奨後、レセプトにて受診状況を確認し、未受診の者へは再勧奨を実施する 治療中の者は通知や電話にてかかりつけ医へ相談するよう勧め、医療機関や対象者より保健指導の依頼があれば市にて対応する
	その他 (事業実施 上の工夫・留意 点・目標等)	除外対象者：1型糖尿病の者、がん等で終末期の者、精神疾患・認知疾患罹患者、その他 保険者が介入を適さないと判断する者

ストラクチャー (体制)	庁内担当 部署	健康推進課
	保健医療 関係団体 (医師会・歯 科医師会・薬 剤師会・栄養 士会など)	別府市医師会：事業説明 特定健診指定医療機関：事業説明、対象者の情報提供、保健指導実施時の情報連携 健診センター：受診勧奨の実施と、その後の追跡調査を依頼 大分県東部保健所
	国民健康 保険団体 連合会	
	民間事業者	勧奨資材の作成
	その他の組織	
	他事業	
	その他 (事業実施 上の工夫・留意 点・目標等)	医師との連携や対象者への指導を効果的・効率的に実施するため、ICTの活用を検討する 保健指導の効果等を含めた健診有所見者の状況について、健診委託先連携会議等にて関係 機関へ情報提供する

事業 5

ロコモティブシンドローム対策

事業の目的	ロコモティブシンドロームは骨折等に繋がり、さらに高齢社会の進展によりその増加が予想されることから、ロコモティブシンドロームを早期に発見し筋骨格系の医療費の適正化を図ることを目的とする
事業の概要	健康教室や介護予防事業で運動の啓発を行う。骨粗しょう症検診にて筋骨格系疾患のリスクが高い者を早期に適切な医療につなげる。
対象者	40～74歳の被保険者

項目	No.	評価指標	評価対象・方法	計画策定時実績	目標値 ※ () 内は実績年度					
					2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトカム指標	1	1人あたり医療費 (大分類:筋骨格系)	KDB	35,021 (R4)	35,001 (R5)	34,981 (R6)	34,961 (R7)	34,941 (R8)	34,921 (R9)	34,905 (R10)
	2	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施する人の割合	県共通指標	49.6 (R4)	49.6 (R5)	51.7 (R6)	53.8 (R7)	55.9 (R8)	58.0 (R9)	60.0 (R10)

項目	No.	評価指標	評価対象・方法	計画策定時実績	目標値 ※ () 内は実績年度					
					2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトプット指標	1	骨粗しょう症検診精密検査受診率	地域保健・健康増進事業報告	不明	65.0 (R4)	70.0 (R5)	75.0 (R6)	80.0 (R7)	85.0 (R8)	90.0 (R9)
	2	通いの場参加人数	介護予防・日常生活支援総合事業	3,149 (R4)	3,860 (R5) ※1	4,211 (R6)	4,553 (R7)	4,822 (R8)	5,091 (R9)	5,360 (R10) ※2

※1 65歳以上人口の8%
 ※2 65歳以上人口の14%

事業 5

ロコモティブシンドローム対策

プロセス (方法)	周知	市にて実施している運動に関する教室（ノルディックウォーク教室等）や介護予防教室を市報やケーブルテレビ等で広報する 健康増進部門で実施している骨粗しょう症検診の啓発を行う
	勧奨	各種教室については、市民全体に向けた広報だけでなく、特に教室の参加を促すべき対象者を特定し、その者へは個別通知等で積極的に勧奨することも検討する 骨粗しょう症検診においては、検診対象年齢の者へは特に勧奨が行き届くよう努め、精密検査対象となった者の医療機関受診状況も確認する
	実施および実施後の支援	運動に関する教室の中では、筋骨格系疾患の医療費が増えていること等を伝え、ロコモティブシンドローム対策に努めなければならない理由を参加者へ説明する 通いの場等、高齢者が集まる場を増やし、介護予防事業もあわせて推進する
	その他 (事業実施上の工夫・留意点・目標等)	大分県が掲げている「歩数+1500歩」の達成にも努める

ストラクチャー (体制)	庁内担当部署	健康推進課
	保健医療関係団体 (医師会・歯科医師会・薬剤師会・栄養士会など)	別府市医師会：事業説明 大分県東部保健所
	国民健康保険団体連合会	支援評価委員会等での助言
	民間事業者	健康教室、介護予防教室委託業者、骨粗しょう症検診委託業者
	その他の組織	
	他事業	健康増進部門、介護予防部門：各種教室、骨粗しょう症検診の効果的な実施に向けた検討
	その他 (事業実施上の工夫・留意点・目標等)	

事業 6

重複・多剤服薬者への服薬指導

事業の目的	重複服薬や多剤投与は医療費適正化の観点だけでなく、薬の副作用を予防する点からも重要であることから、服薬状況改善につなげるため、対象者に寄り添った支援を行い、不適切な服薬の改善と対象者の健康増進を図ることを目的とする
-------	---

事業の概要	関係機関と連携を図りながら、対象者へ通知・電話・面接等による服薬指導を実施する
-------	---

対象者	【対象者1】重複服薬者 3か月以上、同一月内に同一薬効または同様の効能・効果を持つ薬剤を複数の医療機関から処方されている者 【対象者2】多剤内服者 3か月以上、同一月内に15剤以上の処方を受けている者
-----	---

項目	No.	評価指標	評価対象・方法	計画策定時実績	目標値 ※ () 内は実績年度					
					2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトカム指標	1	勧奨・指導後の改善割合	健康推進課	75.0 (R4)	76.0 (R5)	77.0 (R6)	78.0 (R7)	79.0 (R8)	80.0 (R9)	80.0 (R10)

項目	No.	評価指標	評価対象・方法	計画策定時実績	目標値 ※ () 内は実績年度					
					2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトプット指標	1	勧奨率	健康推進課	100 (R4)	100	100	100	100	100	100

事業 6

重複・多剤服薬者への服薬指導

プロセス (方法)	周知	市報特集号
	勧奨	対象者へお薬手帳活用及びポリファーマシーに関する周知を中心とした通知を送付
	実施および 実施後の 支援	通知送付後3ヶ月間の医療機関受診状況をレセプトにて確認 服薬状況に変わりがなければ再通知とともに面談を行なう
	その他 (事業実施 上の工夫・留 意点・目標 等)	対象者の多くが精神疾患罹患者であることが予想されるため、精神保健担当とも連携を図る 面談の際は保健師を含む2名以上の職員で実施する

ストラクチャー (体制)	庁内担当 部署	健康推進課
	保健医療 関係団体 (医師会・歯 科医師会・薬 剤師会・栄養 士会など)	別府市医師会：事業説明 別府市薬剤師会、市内調剤薬局：事業説明、協力依頼 大分県東部保健所
	国民健康 保険団体 連合会	対象者抽出
	民間事業者	
	その他の組織	
	他事業	精神保健との連携
	その他 (事業実施 上の工夫・留 意点・目標 等)	医師との連携や対象者への指導を効果的・効率的に実施するため、ICTの活用を検討する

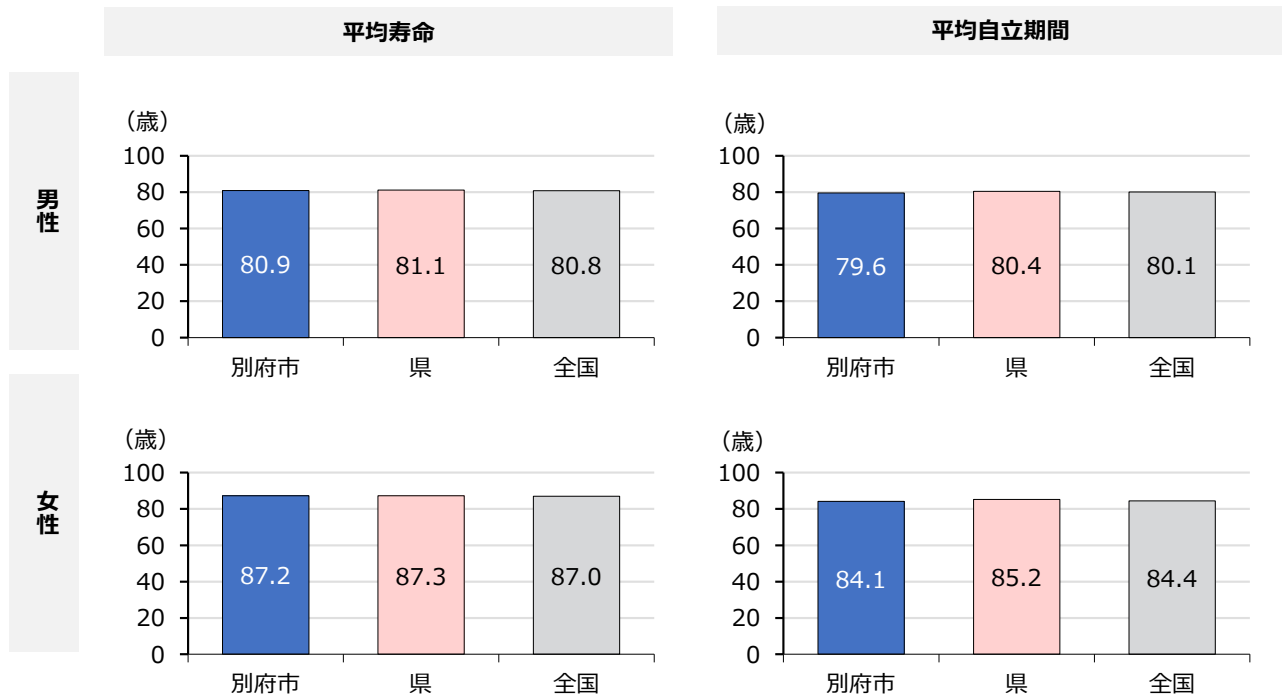
V その他

V その他

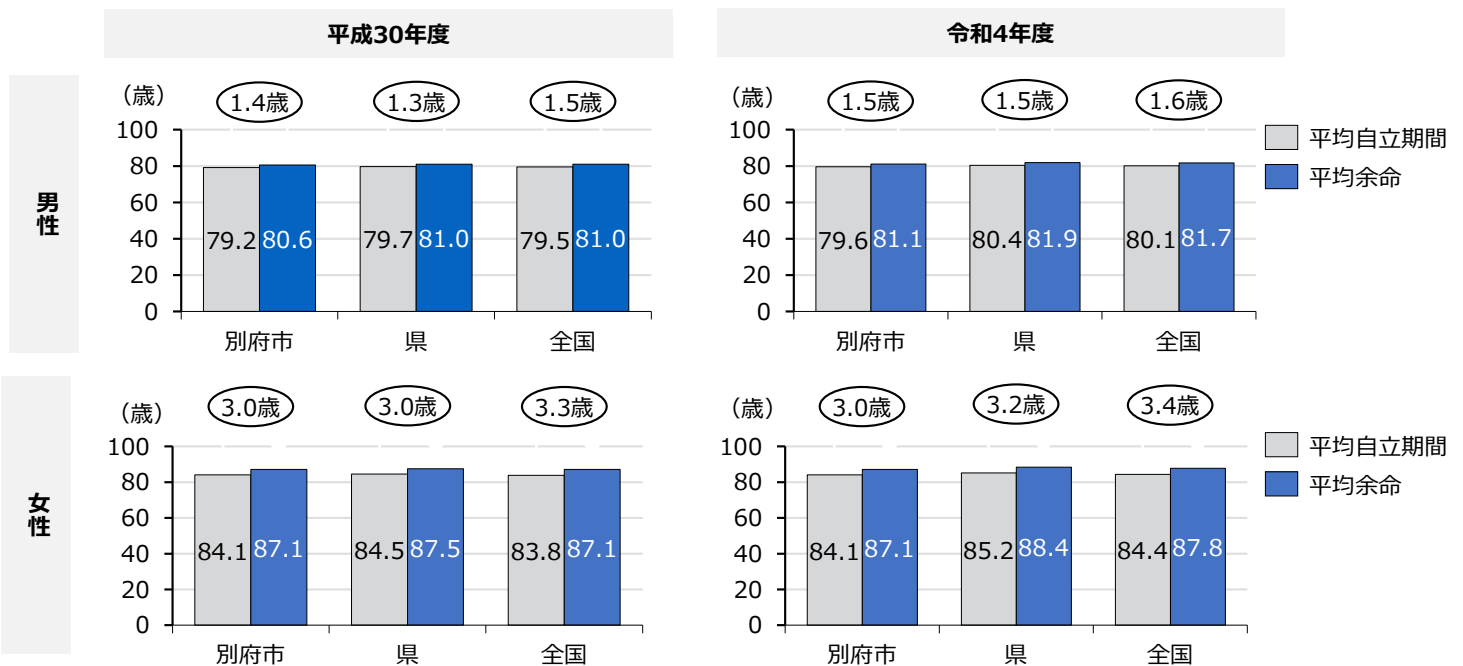
<p>データヘルス 計画の 評価・見直し</p>	<p>令和8年度に進捗確認のための中間評価を行い、必要に応じて計画の見直しを行います。また、計画の最終年度の令和11年度においては、次期計画の策定を円滑に行うための準備も考慮に入れて評価を行います。</p>
<p>データヘルス 計画の 公表・周知</p>	<p>策定した本計画は、別府市国民健康保険運営協議会、別府市医師会等へ計画の概要を報告します。また本計画は別府市民に健康課題や、課題解決のための対策や事業内容を広く市民に知ってもらう必要があることから、市の広報誌やホームページ等に掲載し、計画の周知を図ります。また、健康や保健に関連した様々な会議等の機会を利用して、計画の概要を周知します。</p>
<p>個人情報の 取扱い</p>	<p>事業の実施においては、市民のプライバシー保護の観点から、個人情報漏洩することのないよう実施・運営されなければなりません。したがって、個人の健康情報を取り扱うすべての業務について常に自己監視を行い、PDCAサイクルの中で個人情報の漏洩リスクを極小化していくことが重要となります。本計画における個人情報の取扱いは、個人情報保護法を準用し、市民の利益を損なうことがないよう取組みを進めます。</p>
<p>地域包括ケア に係る取組</p>	<p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業と連携を図り、医療・介護・保健・福祉・住まい・生活支援など部局横断的な地域支援事業に国保部局として参画し、本計画を推進していきます。</p>
<p>その他 留意事項</p>	<p>データ分析に基づく保険者の特性を踏まえた事業を運営するため、大分県及び大分県国民健康保険団体連合会が行う研修会等に、事業運営に関する担当者（国保部門、衛生部門、介護部門等）が積極的に参加するとともに、事業推進に向けて県及び国保連合会と協議する場を積極的に設けるものとします。</p>

**【資料編】
参照データ図表集**

図表1	平均寿命、平均自立期間、	出典	KDB_地域の全体像の把握 【平成30年度～令和4年度】
データ分析の結果	男女ともに平均寿命、平均自立期間※は、県より短い。 ※平均自立期間：要介護2以上の介護を要しない期間		



図表2	平均自立期間と平均余命の差	出典	KDB_S21_001_地域の全体像の把握 【平成30年度～令和4年度】
データ分析の結果	令和4年度の平均自立期間と平均余命の差は、男性は1.5歳で県と同水準。女性は3.0歳で県より短い。		

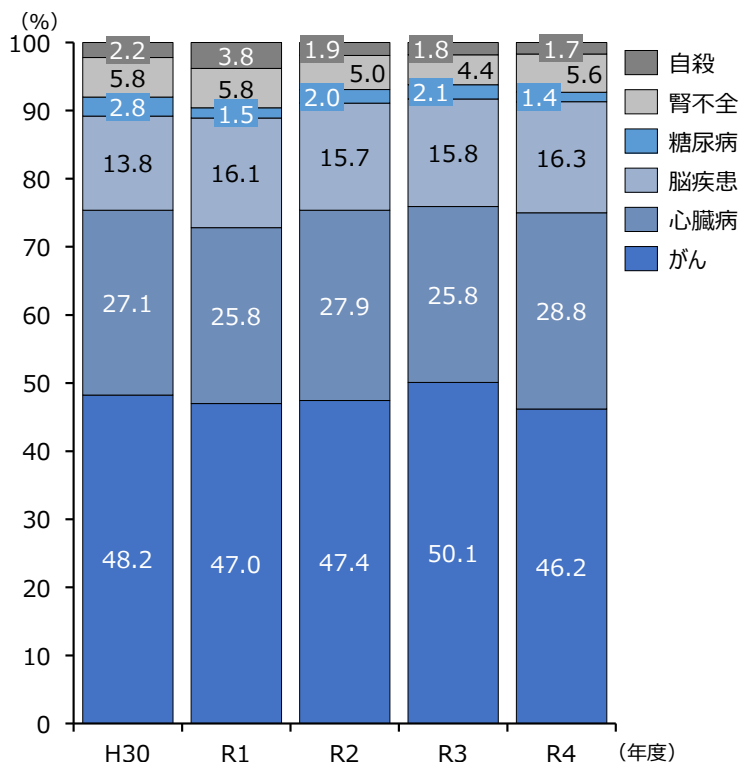


図表3	死因割合	出典	KDB_地域の全体像の把握 【平成30年度～令和4年度】
データ分析の結果	<p>平成30年からの推移では、「がん」「糖尿病」「腎不全」「自殺」での割合は低い一方で、「脳血管」「心臓病」の割合が高くなっている。</p> <p>「心臓病」28.8%は県28.7%と比較して0.1%高い。また、全国27.5%と比較しても1.3%高い。「脳疾患」16.3%は県15.6%と比較して0.7%高い。また、全国13.8%と比較しても2.5%高い。「腎不全」5.6%は県4.4%と比較して1.2%高い。全国3.6%と比較しても2.0%高い。</p> <p>平成30年度から令和4年度の死因割合の推移を見ると、「脳疾患」が13.8%から16.3%と2.5%増加、「心臓病」が27.1%から28.8%と1.7%増加している。</p>		

死因割合の比較（スコア評価）（令和4年度）



死因割合（経年推移）



	別府市			県	全国
	スコア	死亡者数	死因割合	死因割合	死因割合
がん	98	387	46.2	47.2	50.6
心臓病	100	241	28.8	28.7	27.5
脳疾患	104	137	16.3	15.6	13.8
糖尿病	82	12	1.4	1.7	1.9
腎不全	127	47	5.6	4.4	3.6
自殺	74	14	1.7	2.3	2.7

図表4

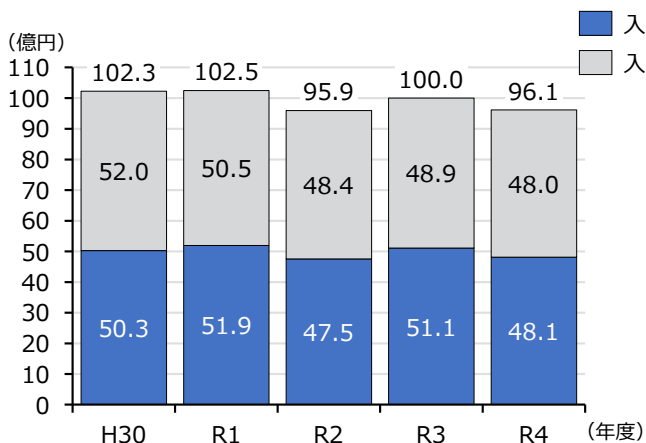
医療費の構成要素

出典 KDB_健康スコアリング（医療）
【平成30年度～令和4年度】

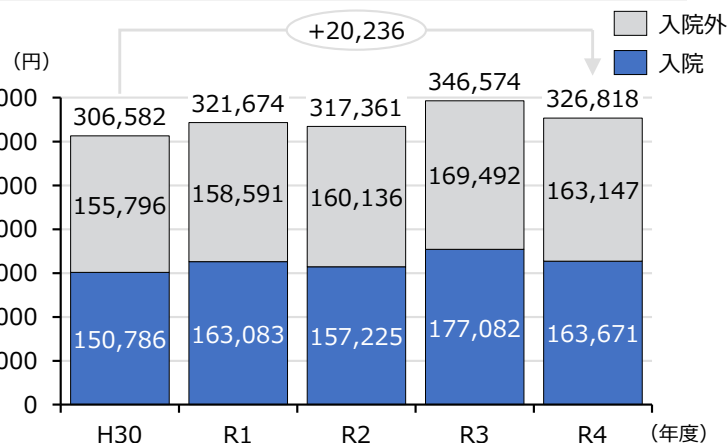
データ分析の結果

総医療費は令和4年度約96.1億円で平成30年度と比較すると、約6.2億円減少している。被保険者1人当たり医療費は、入院では令和4年度163,671円で平成30年度と比較すると、12,885円増加している。入院外では令和4年度163,147円で平成30年度と比較すると、7,351円増加している。

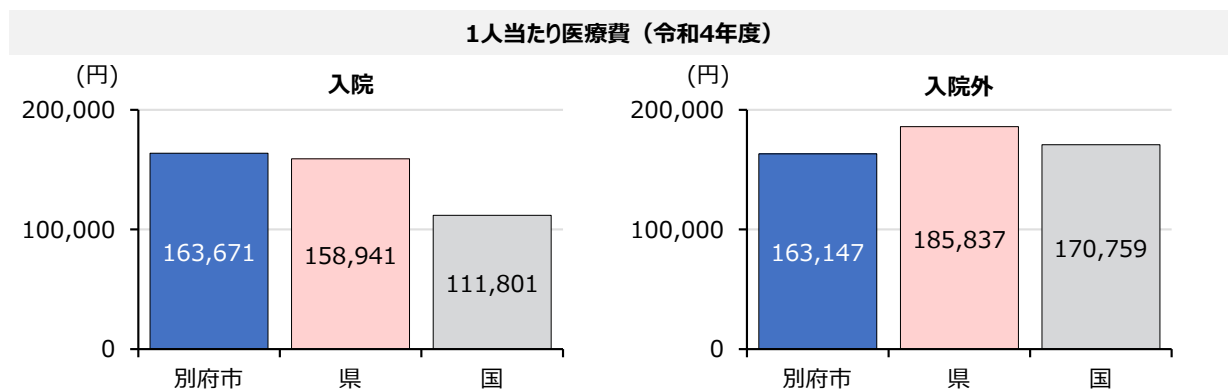
総医療費（経年推移）



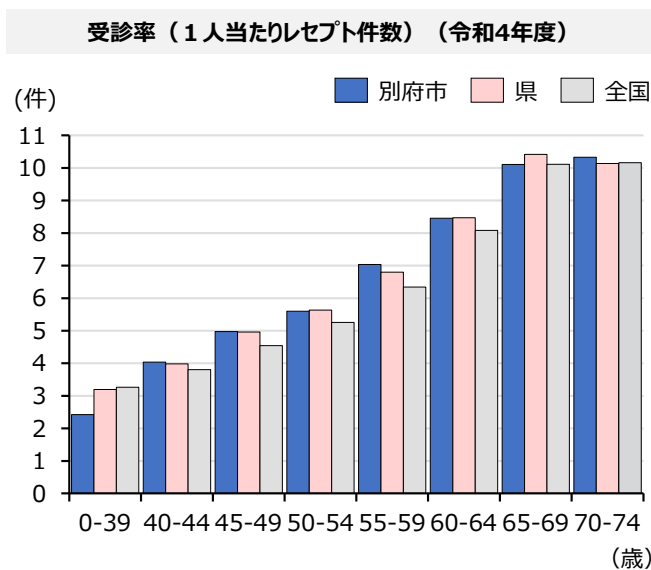
被保険者1人当たり医療費（経年推移）



図表5	医療費の構成要素（1人当たり医療費）全国、県比較、年齢階層別	出典	KDB_S29_002_健康スコアリング（医療）【令和4年度】
データ分析の結果	1人当たり医療費を県と比較すると、入院で4,730円高くなっている。		



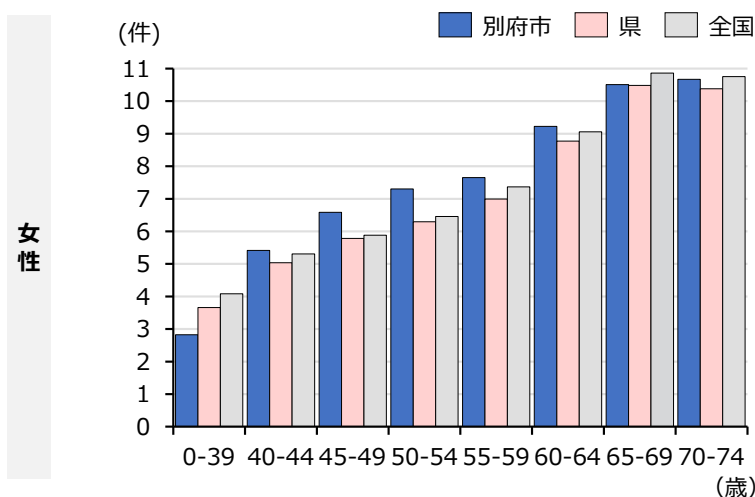
図表6	受診率（1人当たりレセプト件数）性年齢階層別	出典	KDB_S29_002_健康スコアリング（医療）【令和4年度】
データ分析の結果	受診率（1人当たりレセプト件数）は高齢になるにつれて高くなる傾向がある。県、全国と比較すると男性では40-44歳、45-49歳、55-59歳、70-74歳で高い。女性では65-69歳以外で高い結果になっている。		



受診率（1人当たりレセプト件数）（経年推移）

単位：件

年齢階層	H30	R1	R2	R3	R4	H30-R4増減
0-39歳	2.5	2.4	2.2	2.5	2.4	-0.1
40-44歳	4.2	3.7	4.1	4.3	4.0	-0.2
45-49歳	4.6	4.9	4.6	4.8	5.0	0.4
50-54歳	5.5	5.7	5.5	5.5	5.6	0.1
55-59歳	7.5	7.0	6.9	7.2	7.0	-0.5
60-64歳	8.6	8.7	8.0	8.4	8.5	-0.1
65-69歳	10.6	10.2	9.7	10.1	10.1	-0.5
70-74歳	10.6	10.7	10.2	10.5	10.3	-0.3

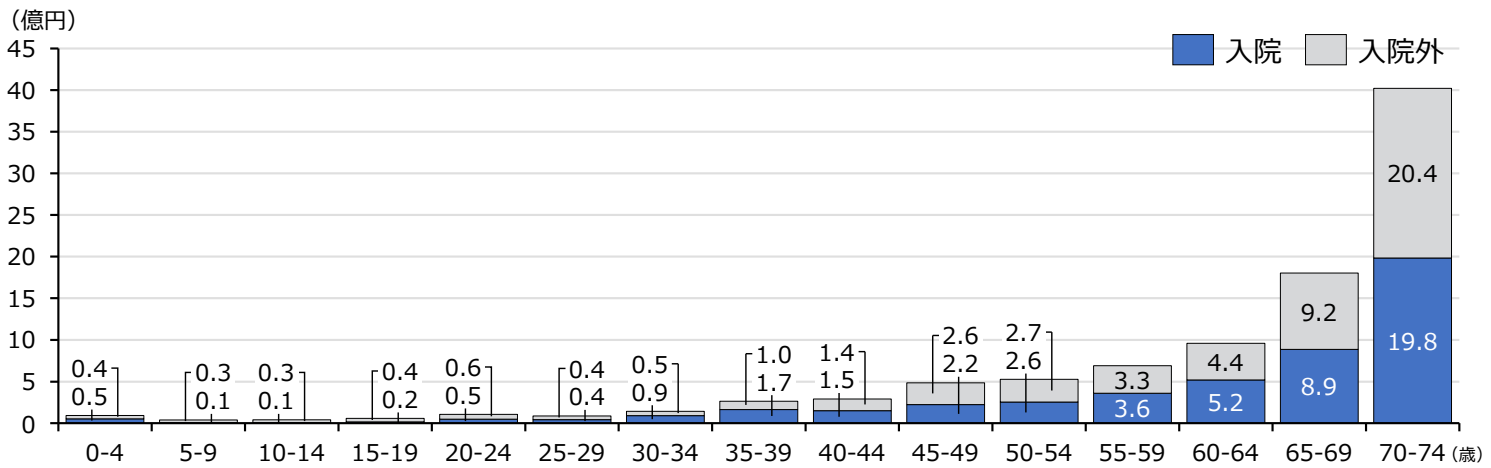


単位：件

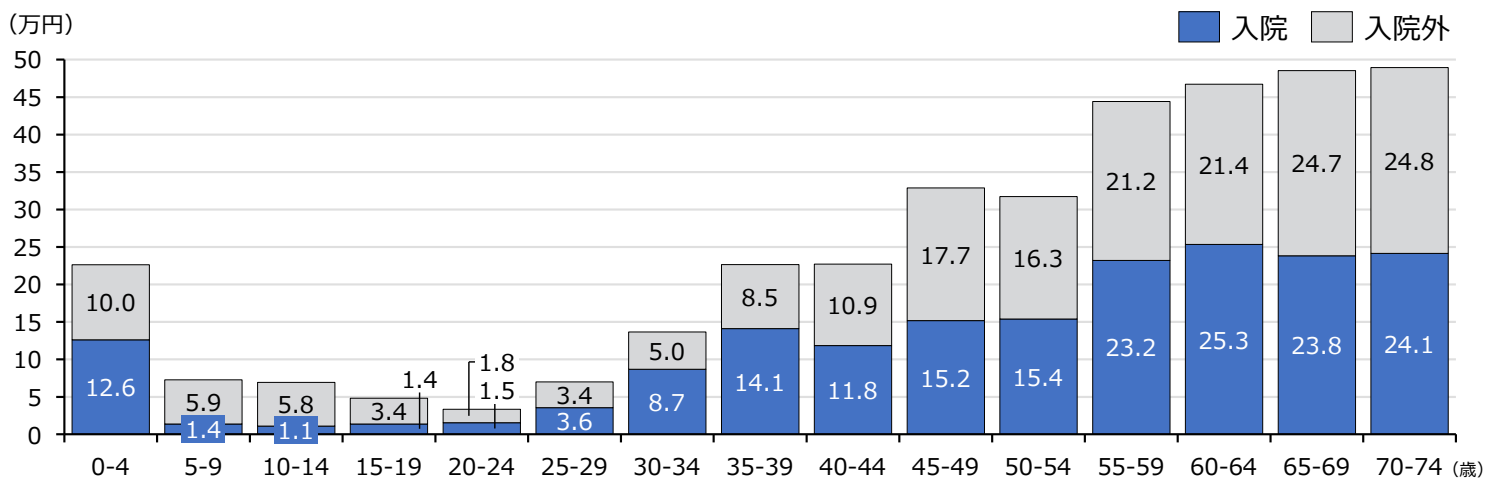
年齢階層	H30	R1	R2	R3	R4	H30-R4増減
0-39歳	2.9	2.8	2.5	3.0	2.8	-0.1
40-44歳	5.9	5.8	5.3	5.4	5.4	-0.5
45-49歳	6.3	6.3	6.1	6.2	6.6	0.3
50-54歳	7.0	7.0	6.8	7.0	7.3	0.3
55-59歳	7.7	7.5	6.5	7.2	7.7	0.0
60-64歳	9.4	9.3	8.8	9.2	9.2	0.2
65-69歳	11.0	10.9	10.0	10.1	10.5	-0.5
70-74歳	11.2	11.1	10.6	10.8	10.7	-0.5

図表7	医療費の構成要素 年齢階層別	出典	KDB_健康スコアリング（医療） 【平成30年度～令和4年度】
データ分析 の結果	年齢階層別でみていくと、総医療費は70-74歳が最も高く、年齢が上がるにつれて増加している。被保険者数は20-24歳を除いて、年齢が上がるにつれて増加している。被保険者1人当たり医療費は55-59歳以降、年齢が上がるほど増加傾向にあり、70-74歳が最も高い。		

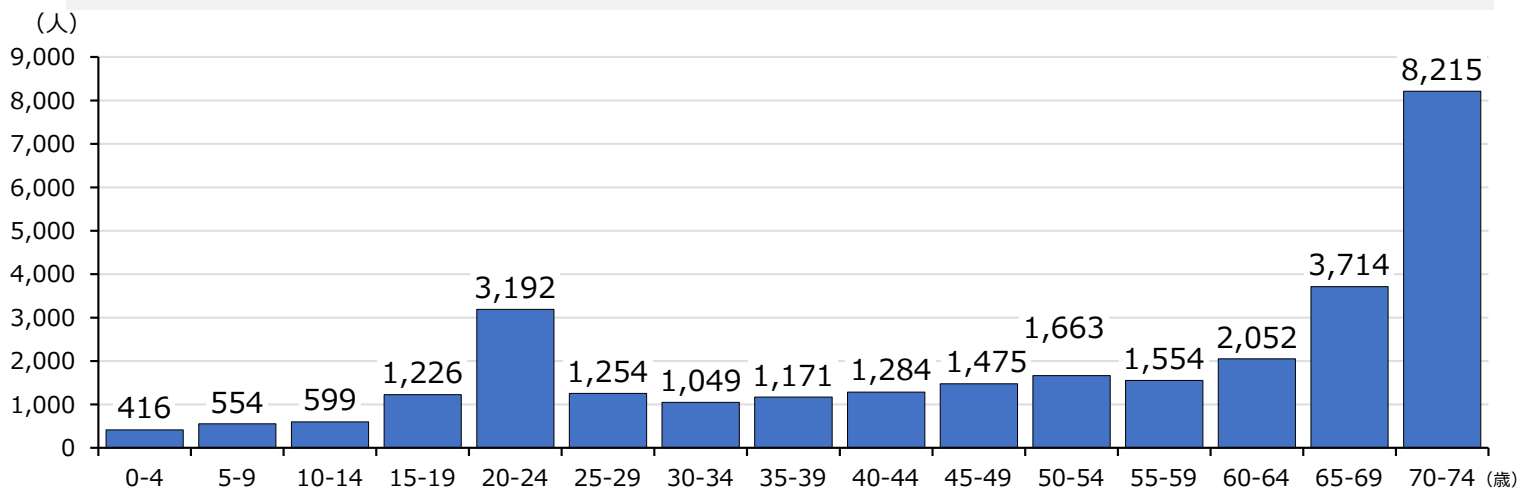
総医療費（令和4年度）



被保険者1人当たり医療費（令和4年度）

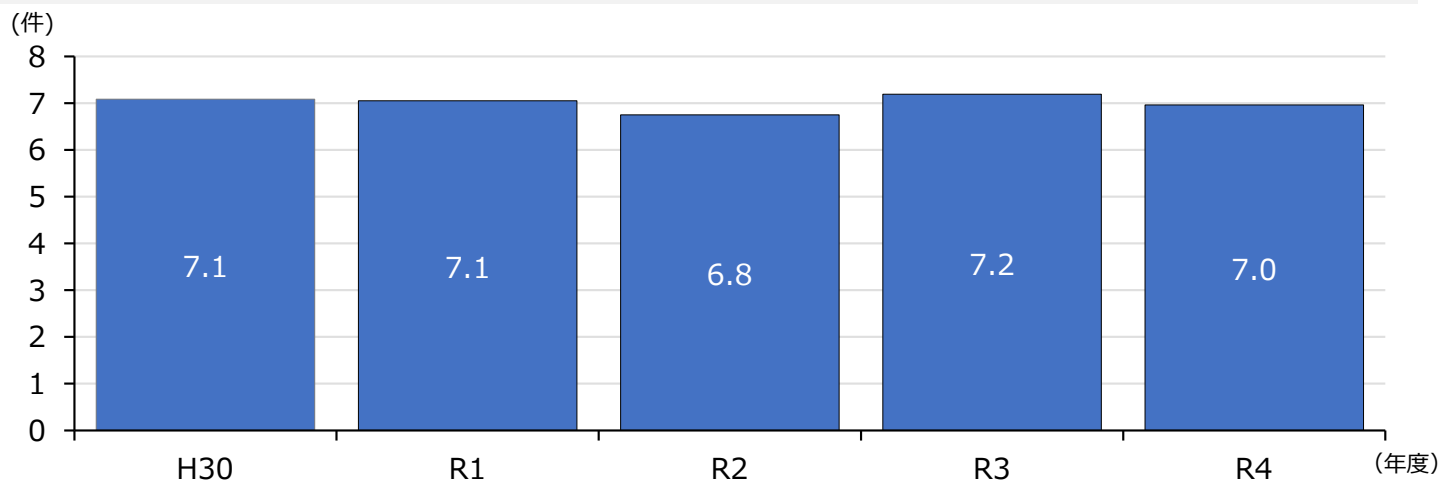


被保険者数（令和4年度）

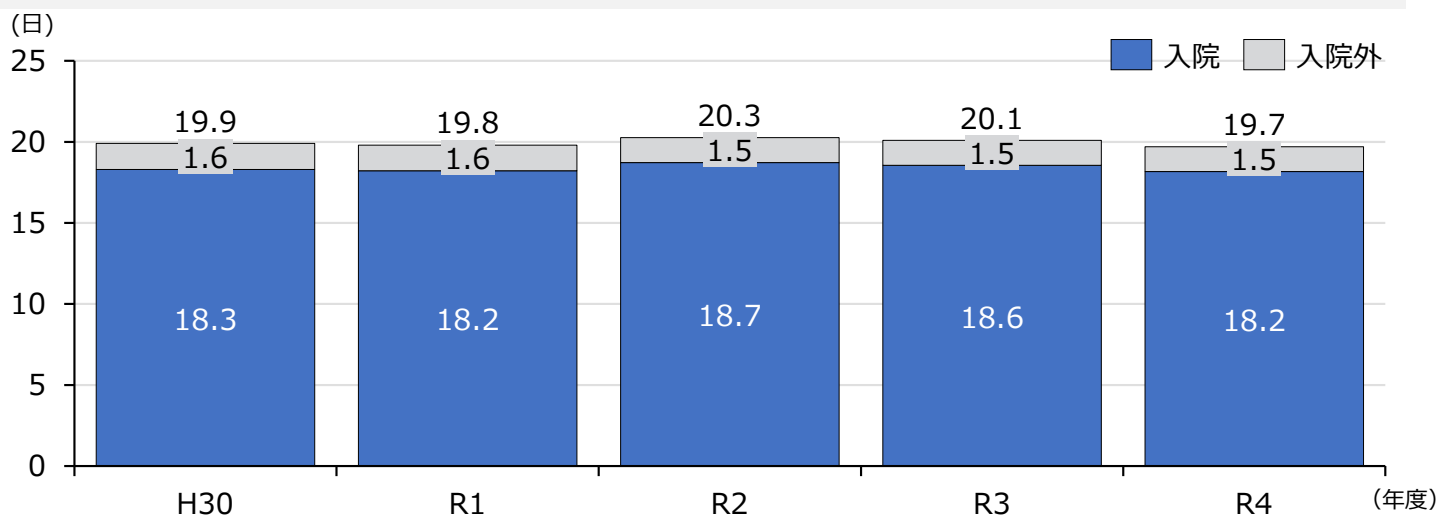


図表8	医療費の3要素	出典	KDB_S29_002_健康スコアリング（医療）【平成30年度～令和4年度】
データ分析の結果	医療費の3要素別にみていくと平成30年度比較で、受診率（1人当たりレセプト件数）は0.1件減少、1件当たり日数は0.2日減少、1日当たり医療費は4,579円増加となっている。		

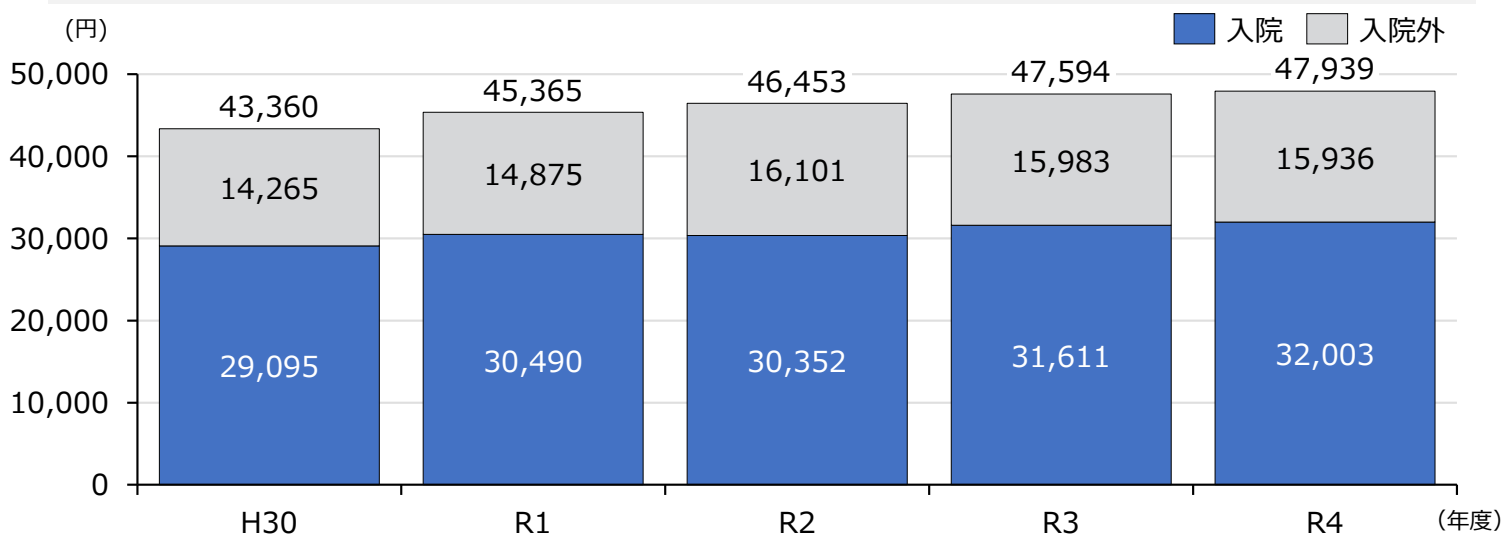
受診率（1人当たりレセプト件数）（経年推移）



1件当たり日数（経年推移）

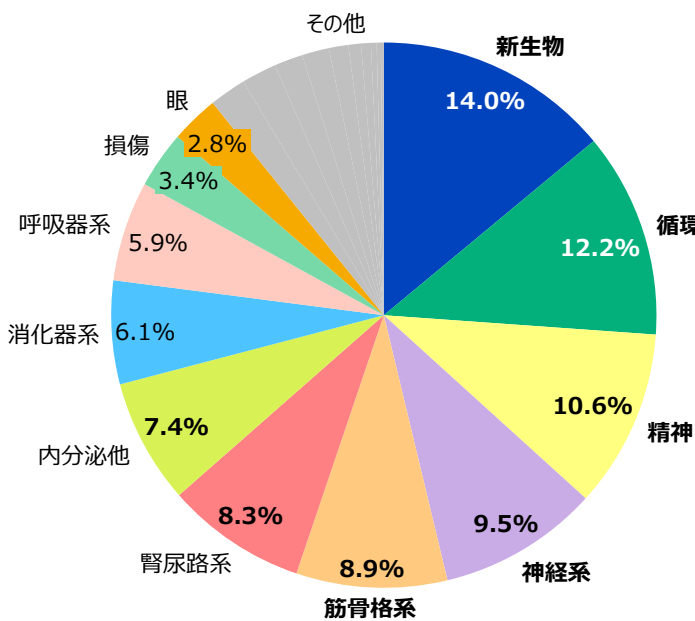


1日当たり医療費（経年推移）



図表9	疾病分類（大分類）医療費構成割合	出典	KDB_S23_003_疾病別医療費分析（大分類）【令和4年度】
データ分析の結果	疾病分類（大分類）医療費の割合は、「新生物」14.0%、「循環器系」12.2%、「精神」10.6%、「神経系」9.5%、「筋骨格系」8.9%の順に高い。上位5疾病の占める割合は55.2%と県55.5%、全国55.9%より低くなっている。上位5分類で見ると、「精神」「神経系」「筋骨格系」の医療費割合が県、全国より高くなっている。		

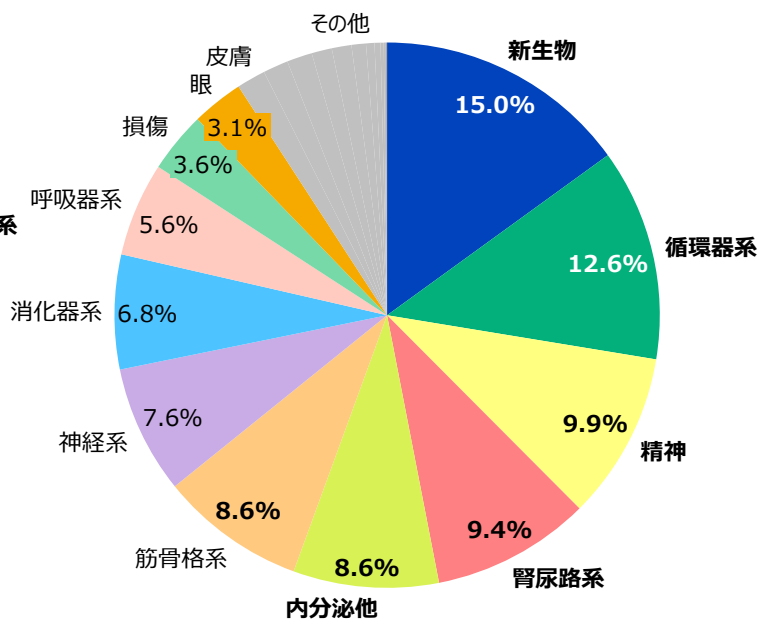
別府市（令和4年度）



医療費構成割合
上位5位

55.2%

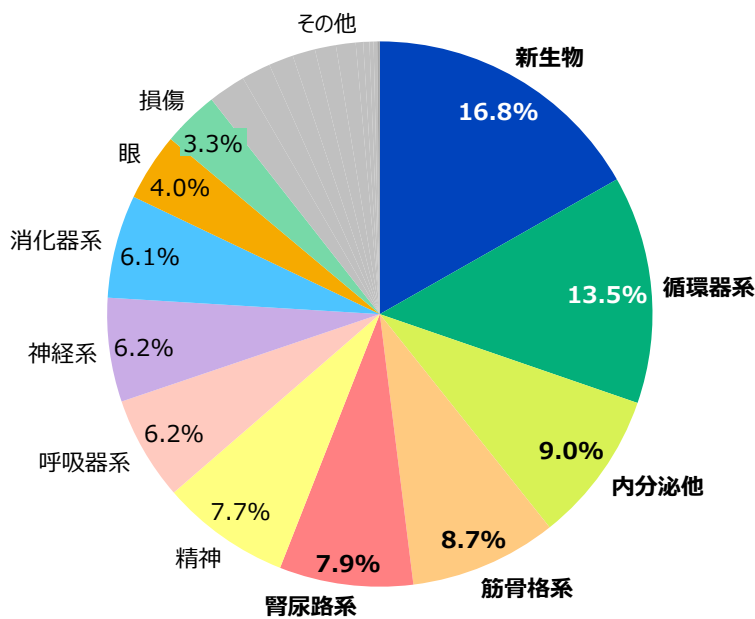
県（令和4年度）



医療費構成割合
上位5位

55.5%

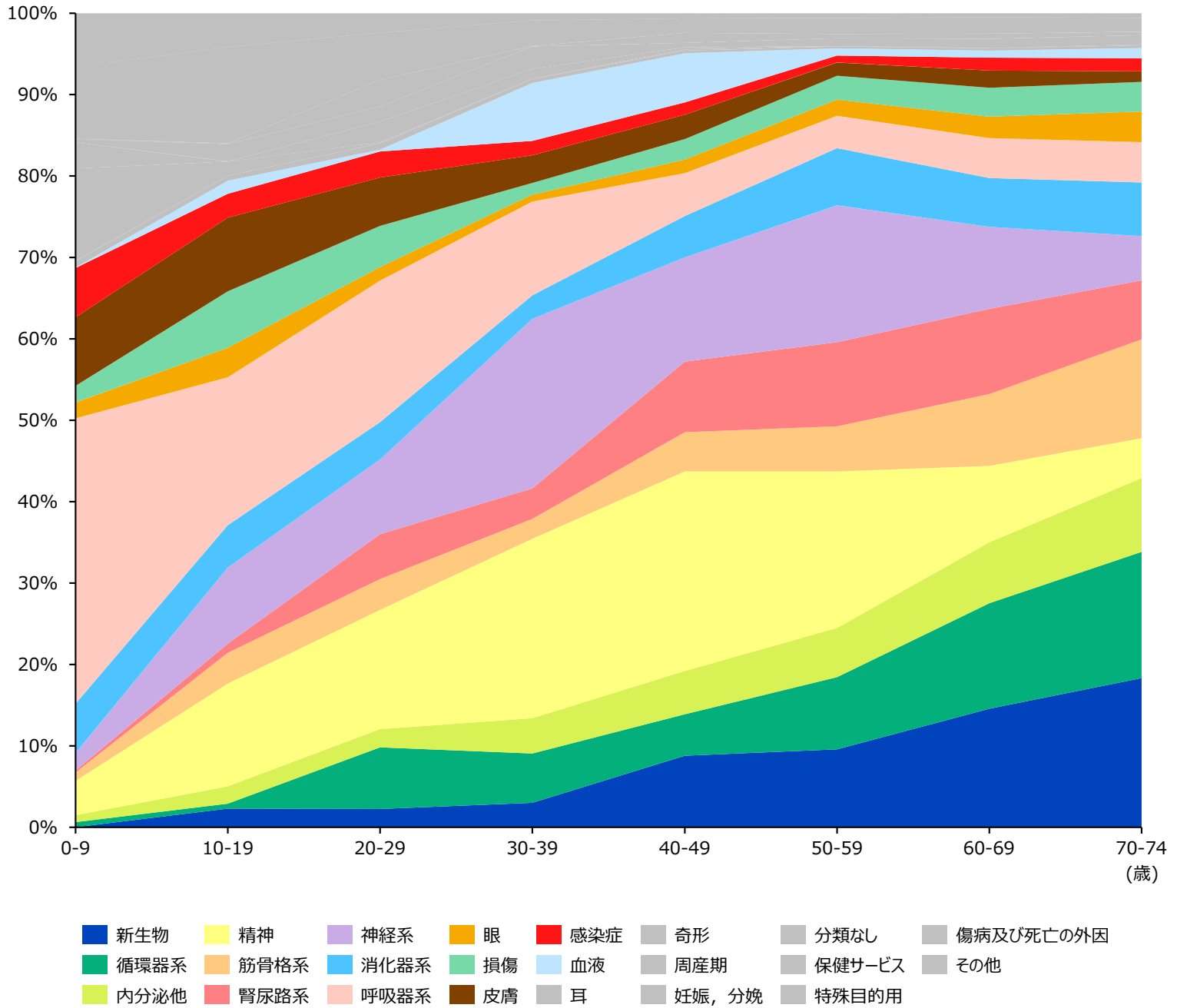
全国（令和4年度）



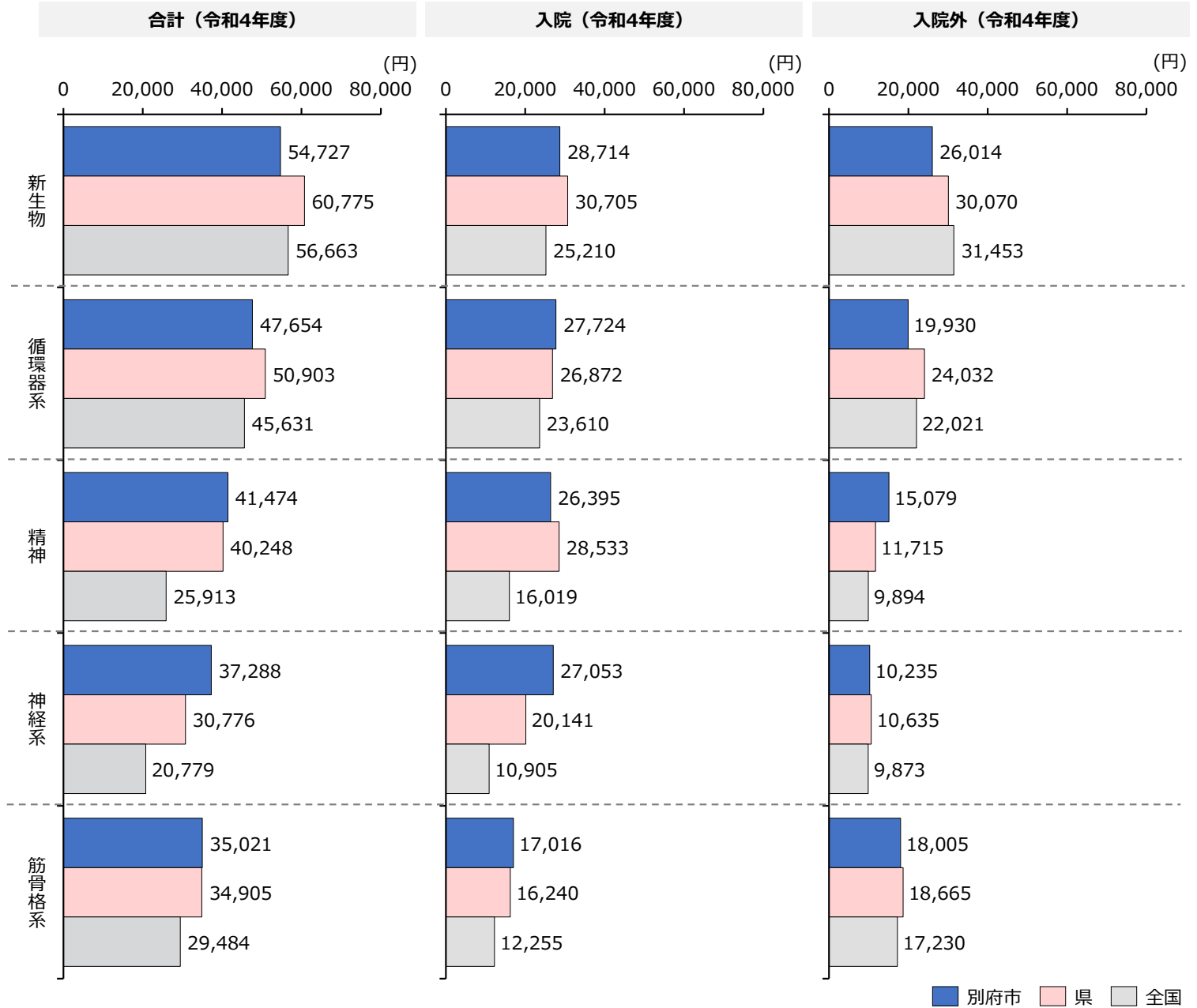
医療費構成割合
上位5位

55.9%

図表10	疾病分類（大分類）医療費構成 年齢階層別	出典	KDB_S23_003_疾病別医療費分析 （大分類）【令和4年度】
データ分析 の結果	年齢階層別の医療費は、0-30歳までの若年層で「呼吸器系」、50歳以上で「新生物」「循環器系疾患」「腎尿路系疾患」の医療費が高い割合となっている。また「精神」の医療費は、30歳から59歳の割合が高くなっている。		



図表11	疾病分類（大分類）1人当たり医療費推移__上位5位	出典	KDB_S23_003_疾病別医療費分析（大分類）【令和4年度】
データ分析の結果	1人当たり医療費上位疾病では「精神」「神経系」「筋骨格系」が全国、県と比較して高くなっており、「精神」は入院外医療費で、「神経系」「筋骨格系」は入院で特に高くなっている。「筋骨格系」の1人当たり医療費は35,021円と県の34,905円より116円高く、全国の29,484円より5,537円高い。特に入院は17,016円で、県の16,240円より776円高く、全国の12,255円より4,761円高い。		



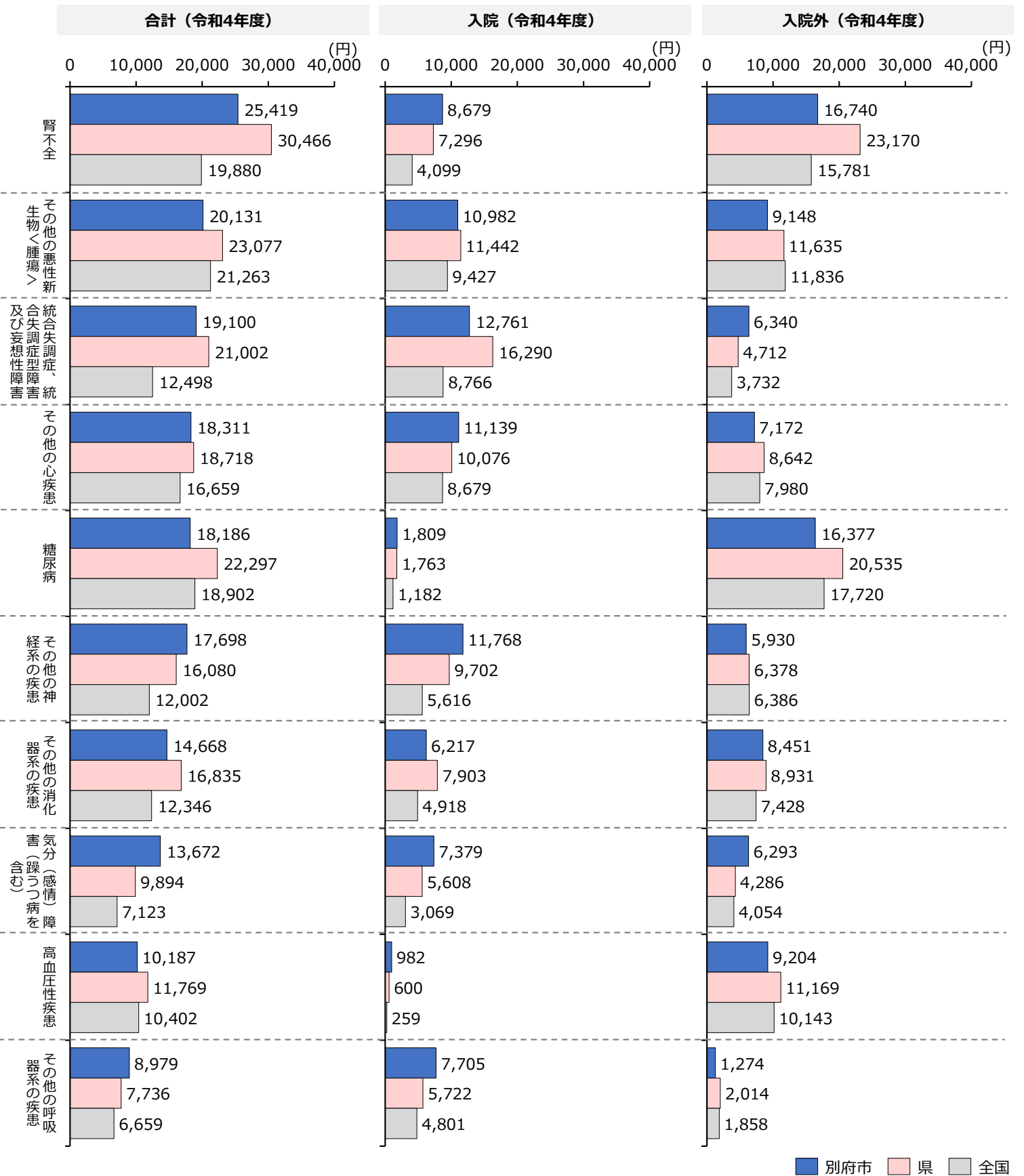
図表12	疾病分類（中分類）医科医療費の推移	出典	KDB_S23_004_疾病別医療費分析 （中分類）【平成30年度～令和4年度】
データ分析の結果	<p>「腎不全」の医療費は平成30年度以降減少傾向であるが、中分類では常に1位となっている。令和4年度医療費は、約6.2億円で平成30年度と比較すると約1.1億円減少している。</p> <p>「その他の悪性新生物」※は上位に位置し、医療費も増加傾向である。</p> <p>「骨折」の医療費は、平成30年度以降上位に位置しており、令和4年度では約2.1億円で11位となっている。他自治体と比較して上位に位置している。</p>		

※主な疾病：前立腺がん、膵がん、膀胱がん等

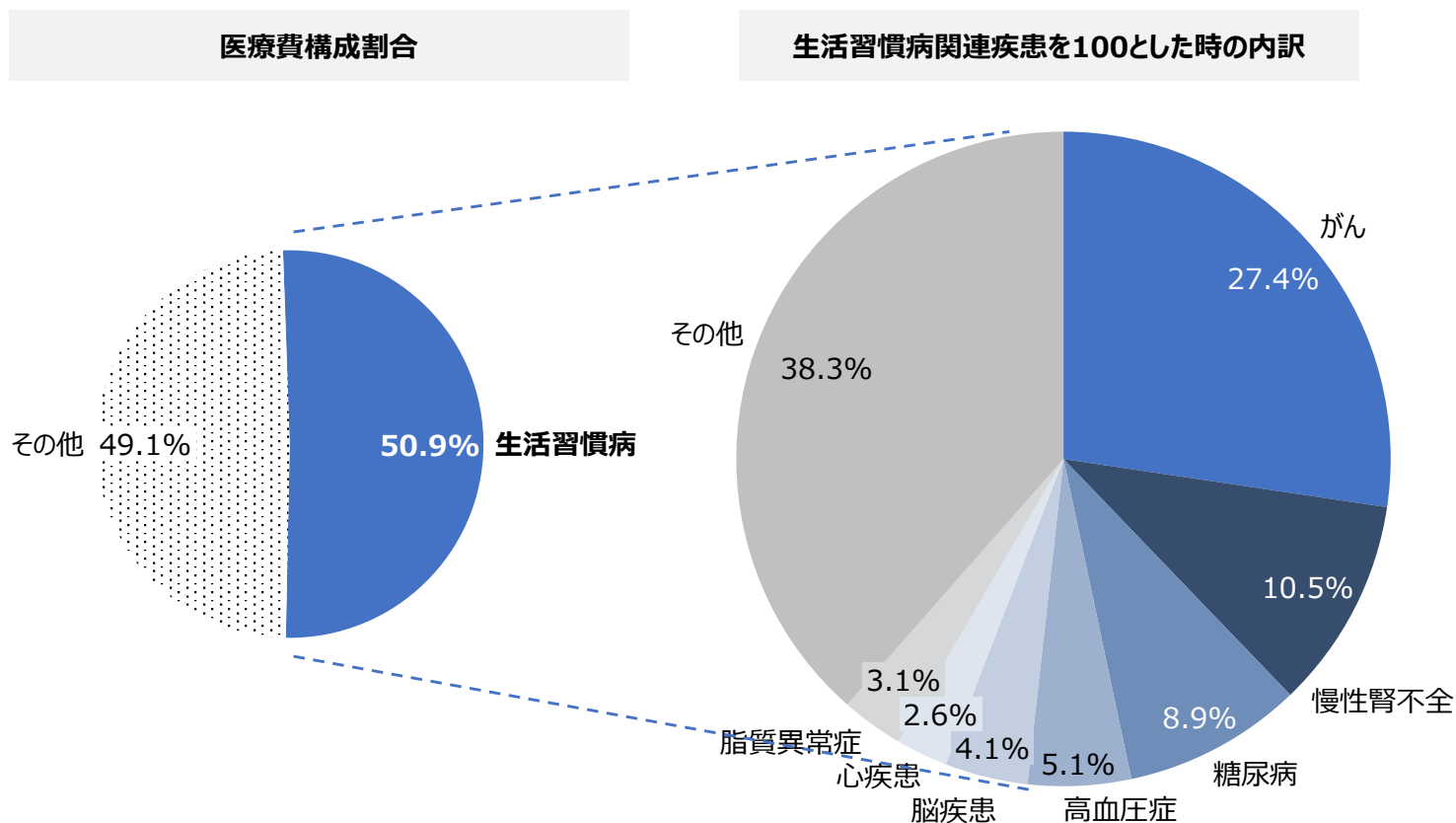
単位：万円

中分類	H30年度		R1年度		R2年度		R3年度		R4年度		H30-R4増減
	医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位	
1 腎不全	73,694	1	66,142	1	61,985	1	64,515	1	62,201	1	-11,494
2 その他の悪性新生物<腫瘍>	46,660	5	46,269	5	52,507	2	49,428	3	49,260	2	2,600
3 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	57,489	2	53,457	2	51,418	3	51,947	2	46,739	3	-10,750
4 その他の心疾患	50,957	3	51,079	3	44,386	5	46,277	5	44,808	4	-6,149
5 糖尿病	47,934	4	48,168	4	47,274	4	47,810	4	44,502	5	-3,432
6 その他の神経系の疾患	41,330	6	45,275	6	42,456	6	46,005	6	43,306	6	1,976
7 その他の消化器系の疾患	36,335	8	37,830	7	33,829	8	36,186	7	35,892	7	-443
8 気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	36,498	7	34,609	8	35,176	7	35,549	8	33,456	8	-3,041
9 高血圧性疾患	32,321	9	29,192	9	26,164	10	25,776	9	24,926	9	-7,394
10 その他の呼吸器系の疾患	22,669	10	22,721	12	18,466	15	22,905	10	21,971	10	-698
11 骨折	22,139	11	23,950	11	21,561	11	16,270	21	21,572	11	-567
12 その他の特殊目的用コード	0	122	0	121	384	99	8,859	33	20,850	12	20,850
13 炎症性多発性関節障害	20,033	14	19,382	15	18,864	13	19,383	13	18,956	13	-1,077
14 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	18,878	15	23,995	10	31,686	9	20,954	11	18,624	14	-254
15 その他の眼及び付属器の疾患	21,368	12	21,954	13	19,099	12	19,323	14	18,399	15	-2,970
16 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	13,358	23	13,613	24	16,411	19	17,998	15	17,787	16	4,430
17 関節症	16,229	20	17,042	18	14,691	23	17,933	16	17,285	17	1,056
18 てんかん	17,456	17	18,864	17	16,690	17	17,603	17	17,277	18	-180
19 乳房の悪性新生物<腫瘍>	12,300	25	16,679	19	16,913	16	15,306	24	16,568	19	4,268
20 虚血性心疾患	17,109	18	18,900	16	15,083	22	17,226	19	15,520	20	-1,590

図表13	疾病分類（中分類）1人当たり医療費推移__上位10位	出典	KDB_S23_004_疾病別医療費分析（中分類）【令和4年度】
データ分析の結果	疾病分類（中分類）別1人当たり医療費は「その他の神経系」「気分障害」「その他の呼吸器系」が県、全国よりも高い。特に「その他の神経系」の入院、「気分障害」の入院、入院外、「その他の呼吸器系」の入院の医療費が高くなっている。		

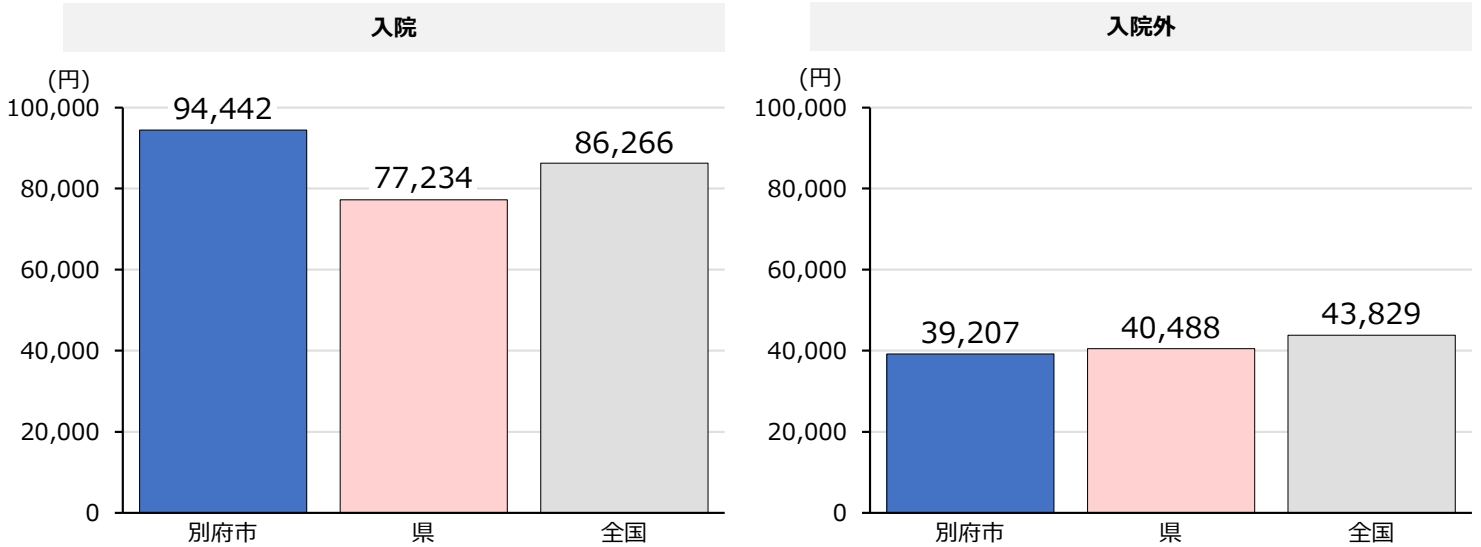


図表14	生活習慣病関連疾患 疾病別以下医療費割合	出典	KDB_S21_005_市町村別データ、KDB_021_003_健診・医療・介護データから見る地域の健康課題【令和4年度】
データ分析の結果	生活習慣病関連疾患の医療費は、全体の50.9%を占めていた。		

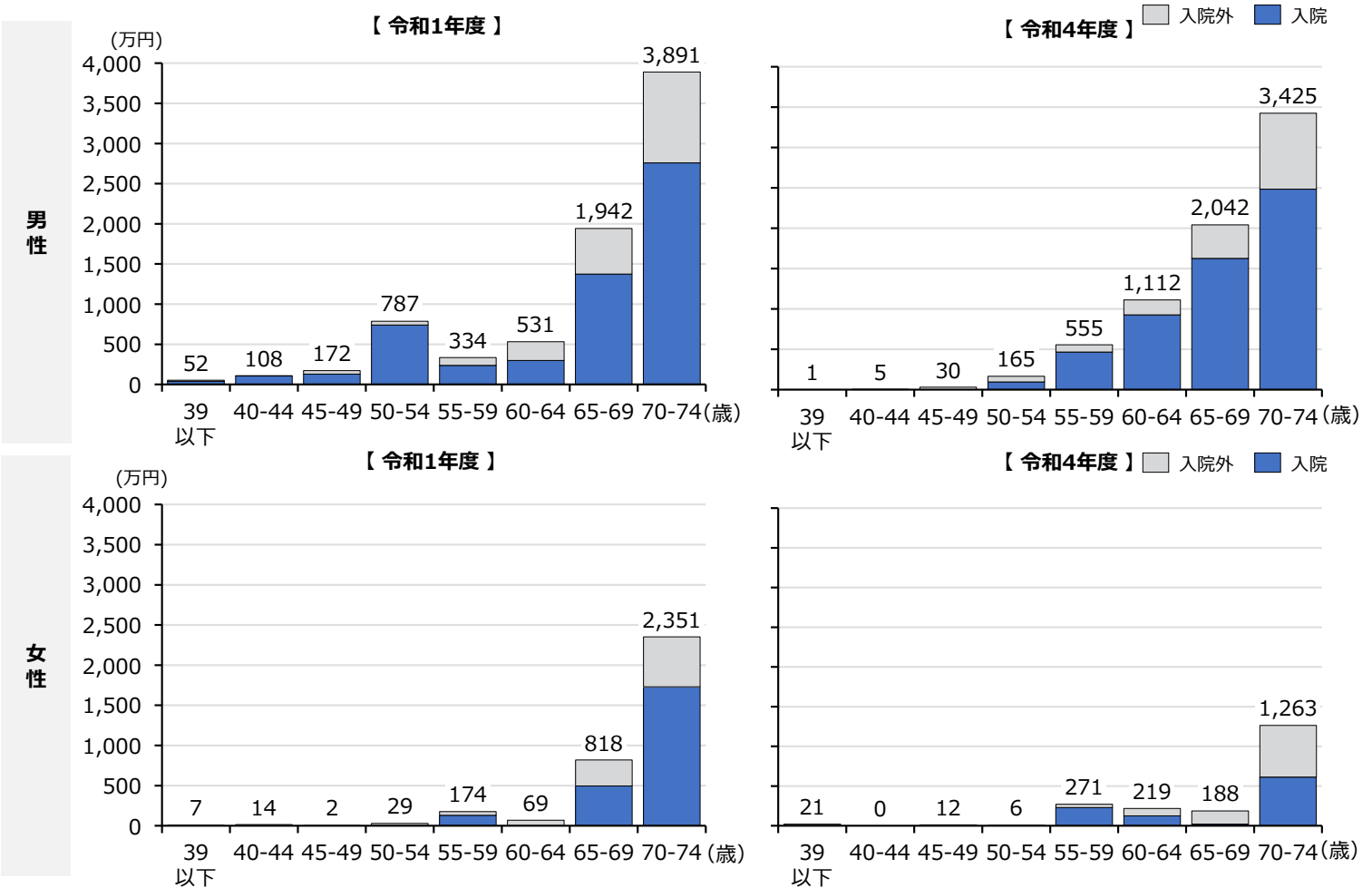


図表15	生活習慣関連疾患（狭心症） 1人当たり医療費 性年齢階層別医療費	出典	KDB_S23_001_医療費分析(1)細小分類【平成30年度・令和4年度】
データ分析の結果	「狭心症」の1人当たり医療費は入院で94,442円と県77,234円と比較して17,208円高く、全国86,266円と比較して8,176円高い。		

患者1人当たり医療費（令和4年度）

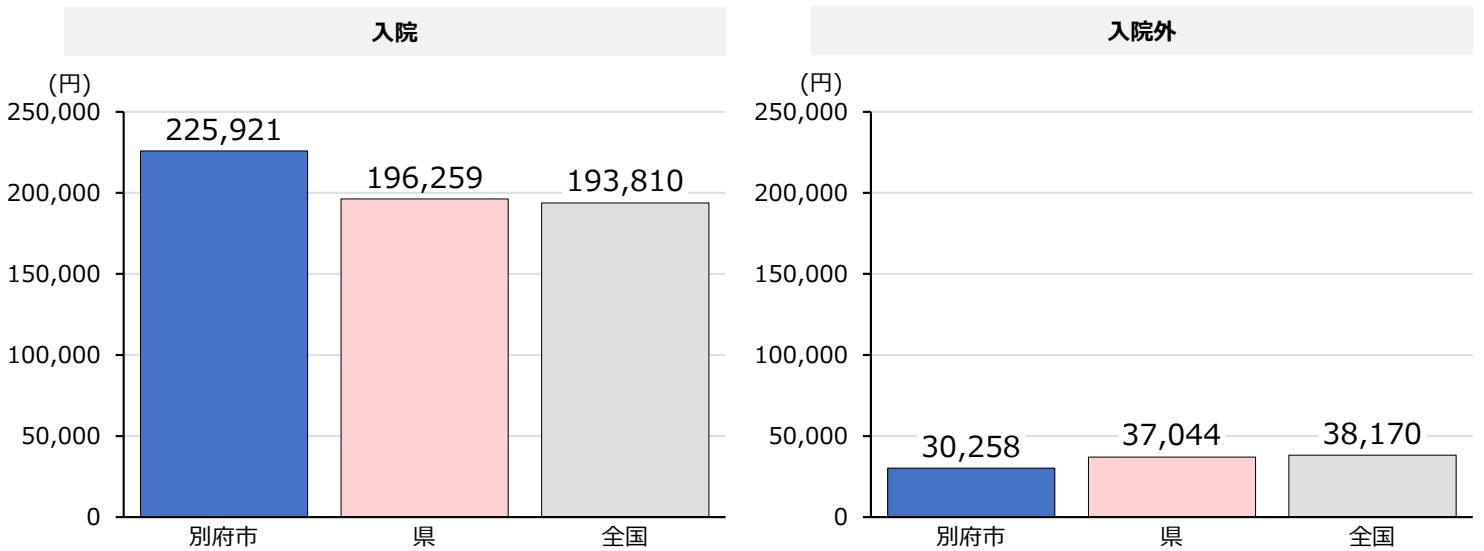


性年齢階層別医療費（経年比較）

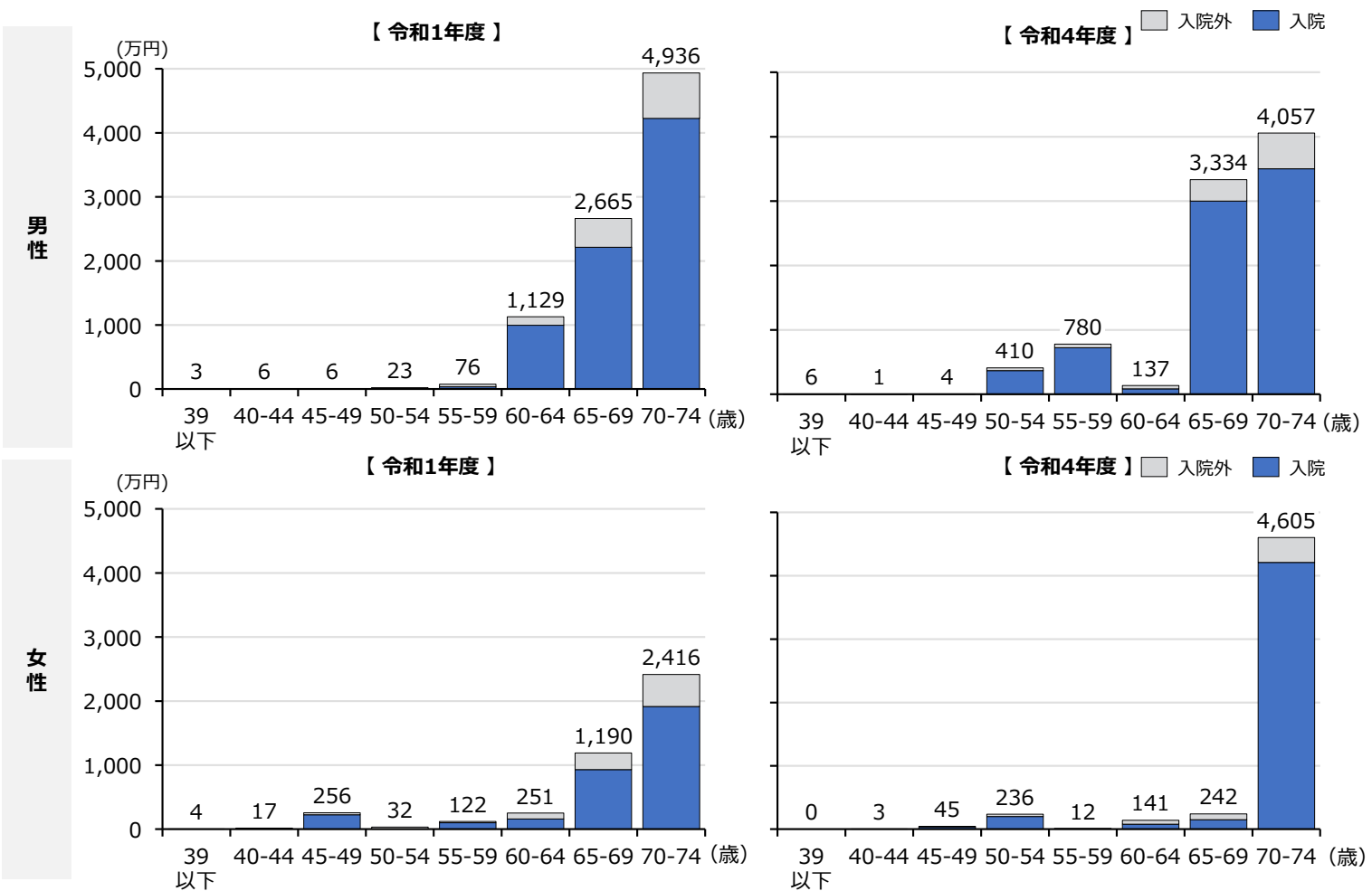


図表16	生活習慣関連疾患（脳梗塞） 1人当たり医療費 性年齢階層別医療費	出典	KDB_S23_001_医療費分析(1)細小分類【平成30年度・令和4年度】
データ分析の結果	「脳梗塞」の1人当たり医療費は入院で225,921円と県196,259円と比較して29,662円高く、全国193,810円と比較して32,111円高い。		

患者1人当たり医療費（令和4年度）

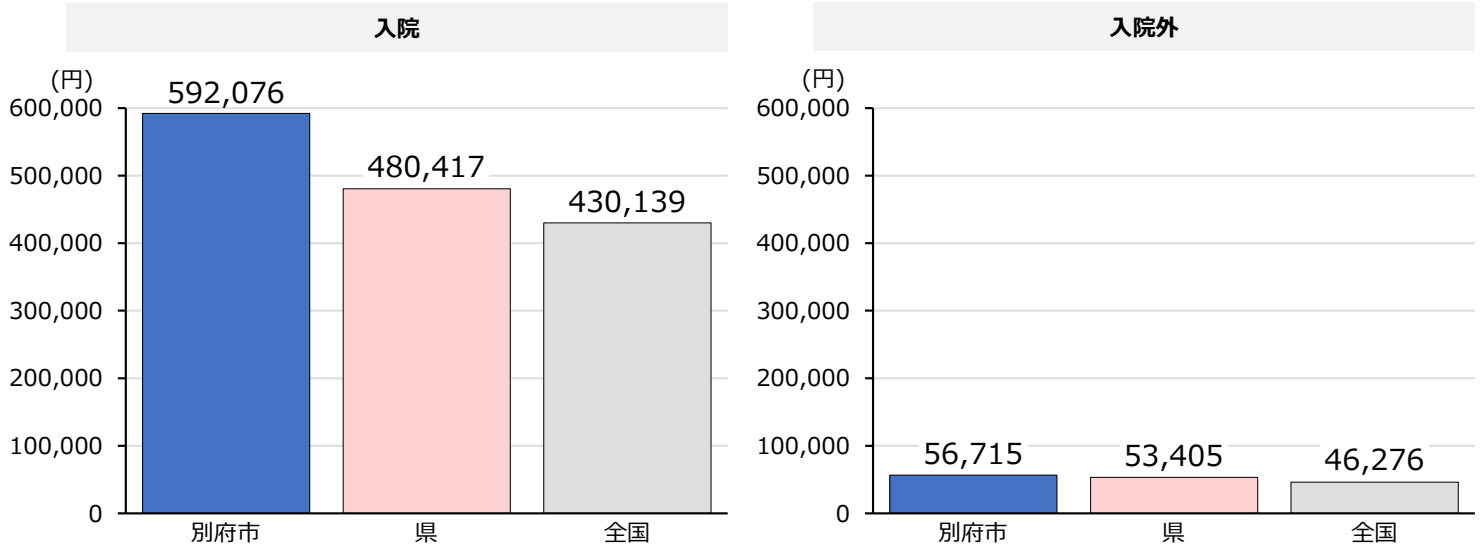


性年齢階層別医療費（経年比較）

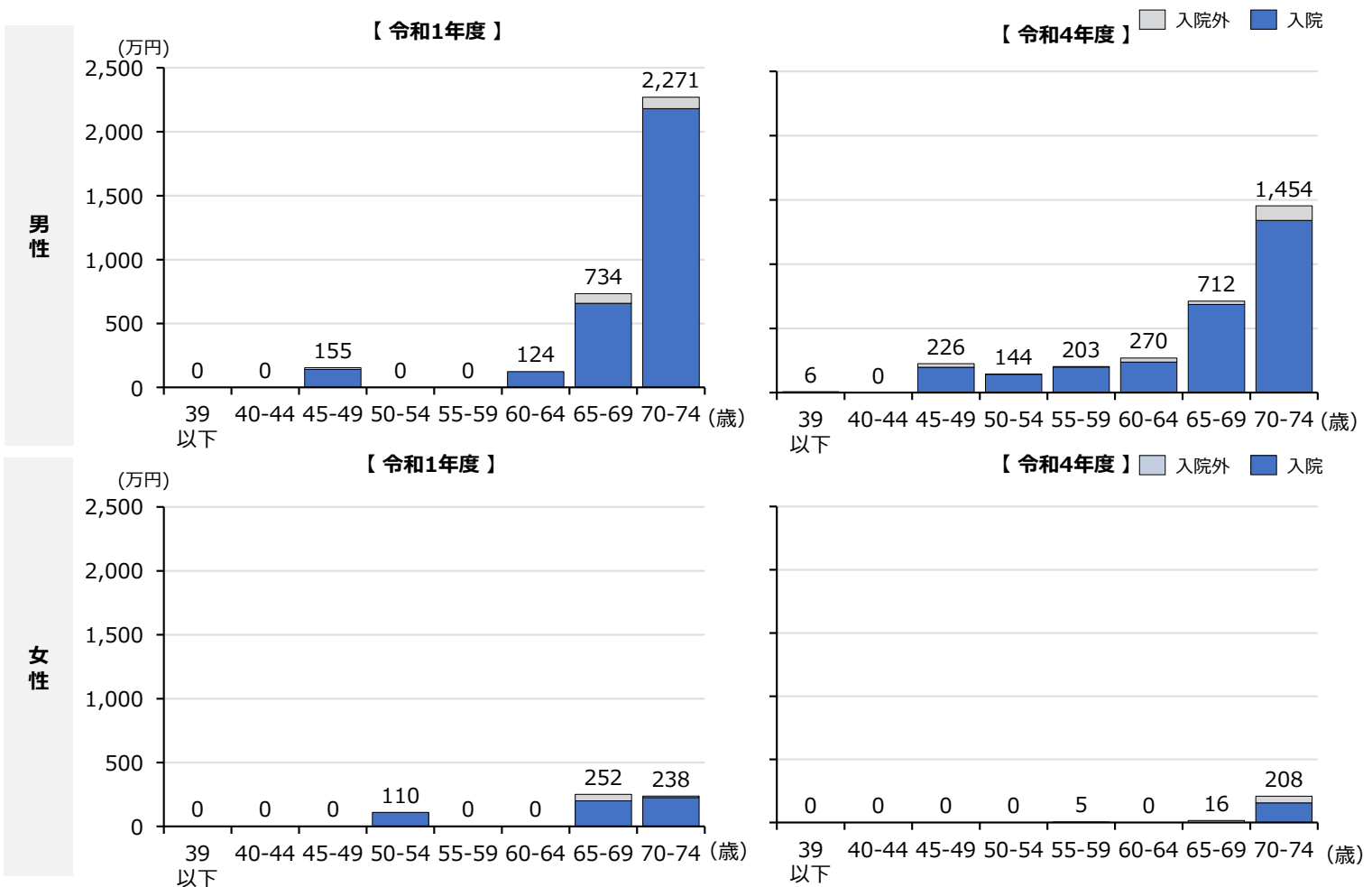


図表17	生活習慣関連疾患（心筋梗塞） 1人当たり医療費 性年齢階層別医療費	出典	KDB_S23_001_医療費分析(1)細小分類【平成30年度・令和4年度】
データ分析の結果	「心筋梗塞」の1人当たり医療費は入院で592,076円と県480,417円と比較して111,659円高い。全国430,139円と比較して161,937円高い。入院外でも56,715円と県53,405円と比較して3,310円高く、全国46,276円と比較して10,439円高い。		

患者1人当たり医療費（令和4年度）



性年齢階層別医療費（経年比較）

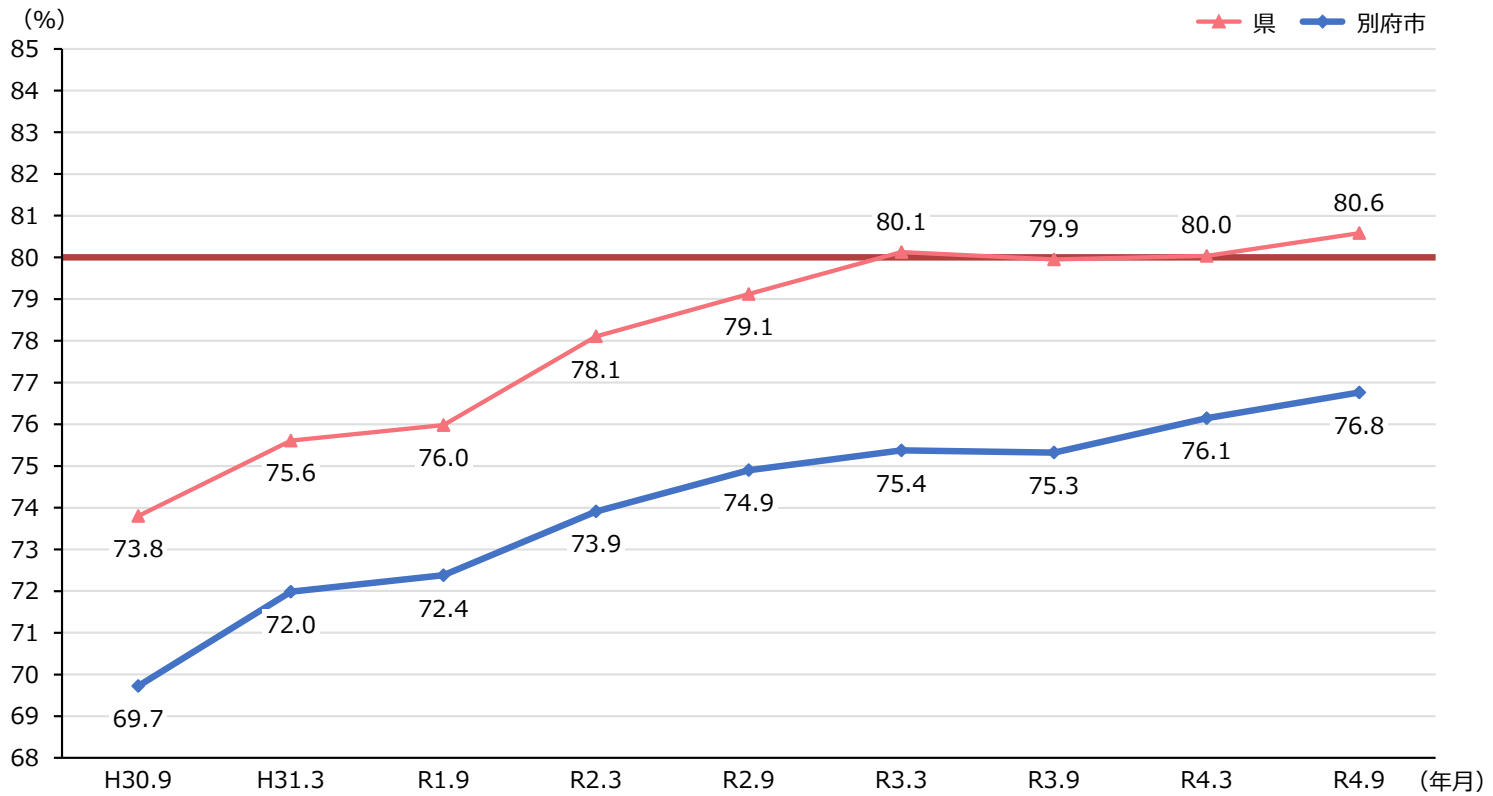


図表18	疾病分類（細小分類）医療費上位10位	出典	KDB_S23_001_医療費分析（1）細小分類【平成30年度～令和4年度】
データ分析の結果	入院では2位に「骨折」約1.9億円、4位に「関節疾患」約1.8億円とロコモティブシンドローム関連疾患が上位になっている。 入院外では1位に「糖尿病」で令和4年度医療費は約3.6億円となっている。		

単位：万円

最大医療資源傷病名		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位
入院	統合失調症	35,580	1	34,887	1	35,141	1	31,225	1
	骨折	21,129	2	19,352	2	14,006	5	19,248	2
	慢性腎臓病（透析あり）	17,345	5	15,233	5	19,693	3	18,624	3
	関節疾患	17,532	4	15,237	4	18,272	4	18,520	4
	うつ病	18,475	3	18,966	3	19,803	2	18,057	5
	脳梗塞	10,814	8	10,646	7	10,330	6	12,358	6
	不整脈	10,952	7	9,089	9	8,250	8	9,629	7
	肺がん	10,594	9	11,155	6	6,799	12	7,072	8
	大腸がん	8,159	10	9,553	8	8,492	7	6,706	9
	狭心症	8,035	11	6,039	11	6,873	11	6,583	10
入院外	糖尿病	38,549	1	37,671	1	38,400	1	36,393	1
	慢性腎臓病（透析あり）	29,385	2	26,366	2	27,203	2	27,863	2
	高血圧症	26,851	3	24,816	3	23,770	3	22,516	3
	関節疾患	23,183	4	22,143	4	22,975	4	21,064	4
	統合失調症	17,847	6	16,478	7	16,801	6	15,508	5
	うつ病	16,104	7	15,972	8	15,717	7	15,393	6
	脂質異常症	19,983	5	18,173	6	17,270	5	14,839	7
	肺がん	13,401	8	20,531	5	14,155	8	11,552	8
	乳がん	12,384	9	12,890	9	11,446	9	11,496	9
	不整脈	9,985	10	10,260	10	9,977	10	8,795	10

図表19	後発医薬品の使用割合（数量シェア）	出典	厚生労働省「保険者別の後発医薬品の使用割合」
データ分析の結果	後発医薬品の使用割合は、増加傾向にあるが、令和4年9月時点では76.8%と県の使用割合80.6%より低く、国の目標値である80%を下回っている。		



図表20	重複・多剤処方の状況	出典	KDB_S27_013_重複・多剤処方の状況
データ分析の結果	重複多剤の状況は、6剤以上処方者が3,619人で全体の14.8%、10剤以上では1,247人で全体の5.1%、15剤以上では293人で全体の1.2%となっている。		

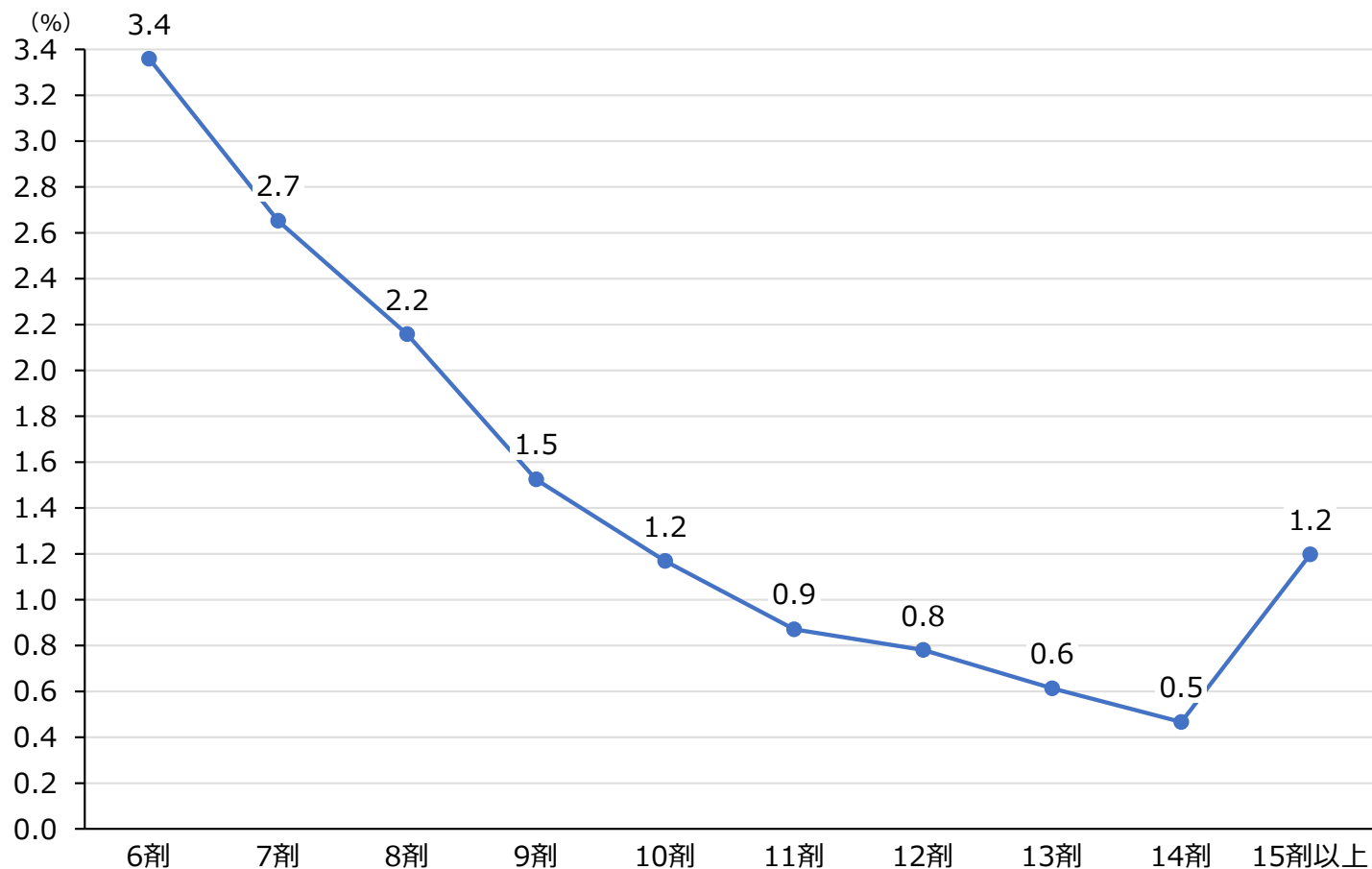
■ 重複・多剤処方の状況（処方日数14日以上該当者）

被保険者数	24,470人
-------	---------

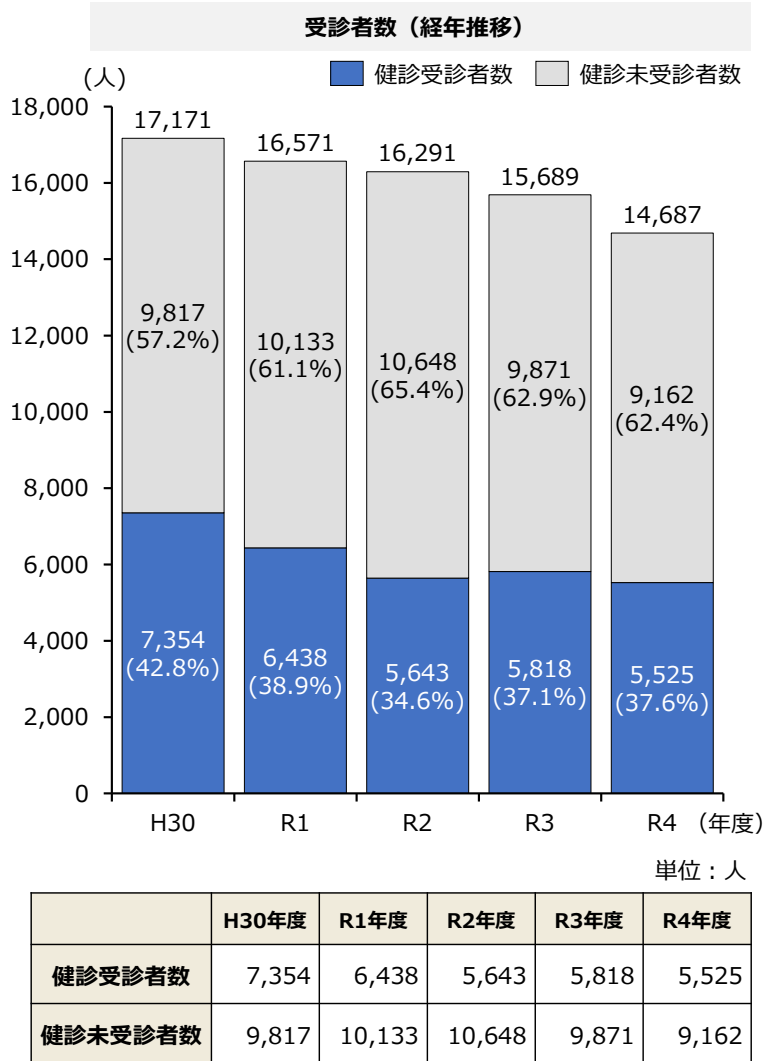
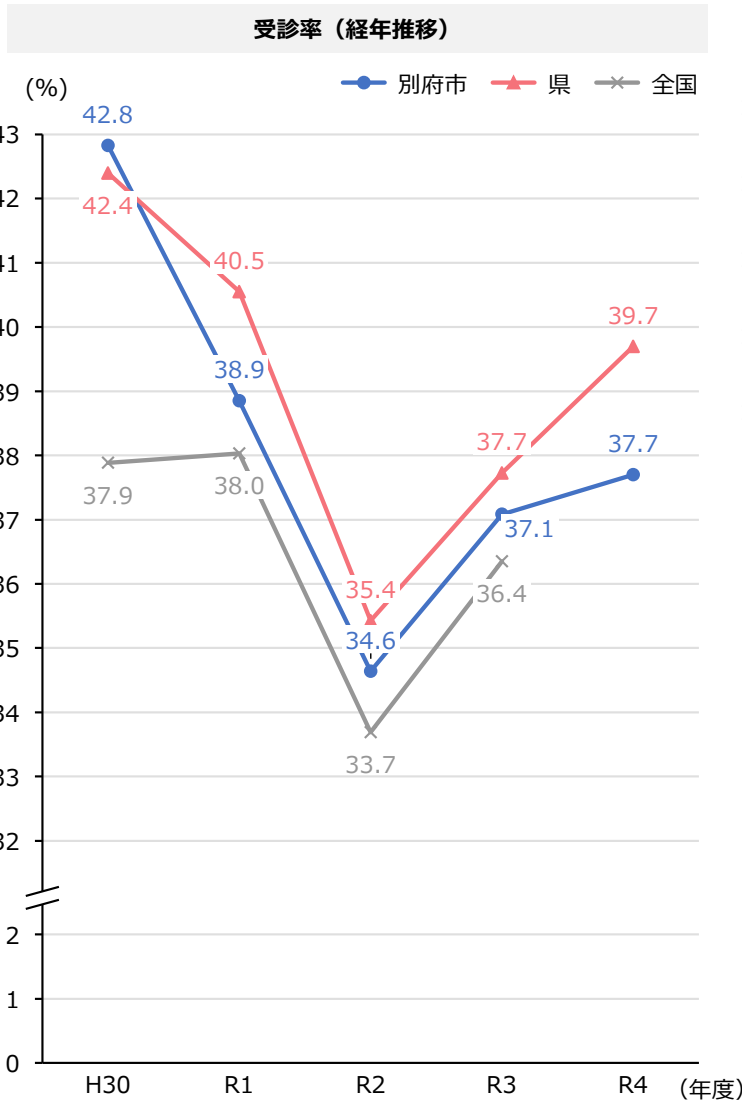
薬剤数	該当者数(人)	割合(%)
6剤	822	3.4
7剤	649	2.7
8剤	528	2.2
9剤	373	1.5
10剤	286	1.2
11剤	213	0.9
12剤	191	0.8
13剤	150	0.6
14剤	114	0.5
15剤以上	293	1.2

合計		
薬剤数	該当者数(人)	割合(%)

6剤以上	3,619	14.8%
10剤以上	1,247	5.1%
15剤以上	293	1.2%

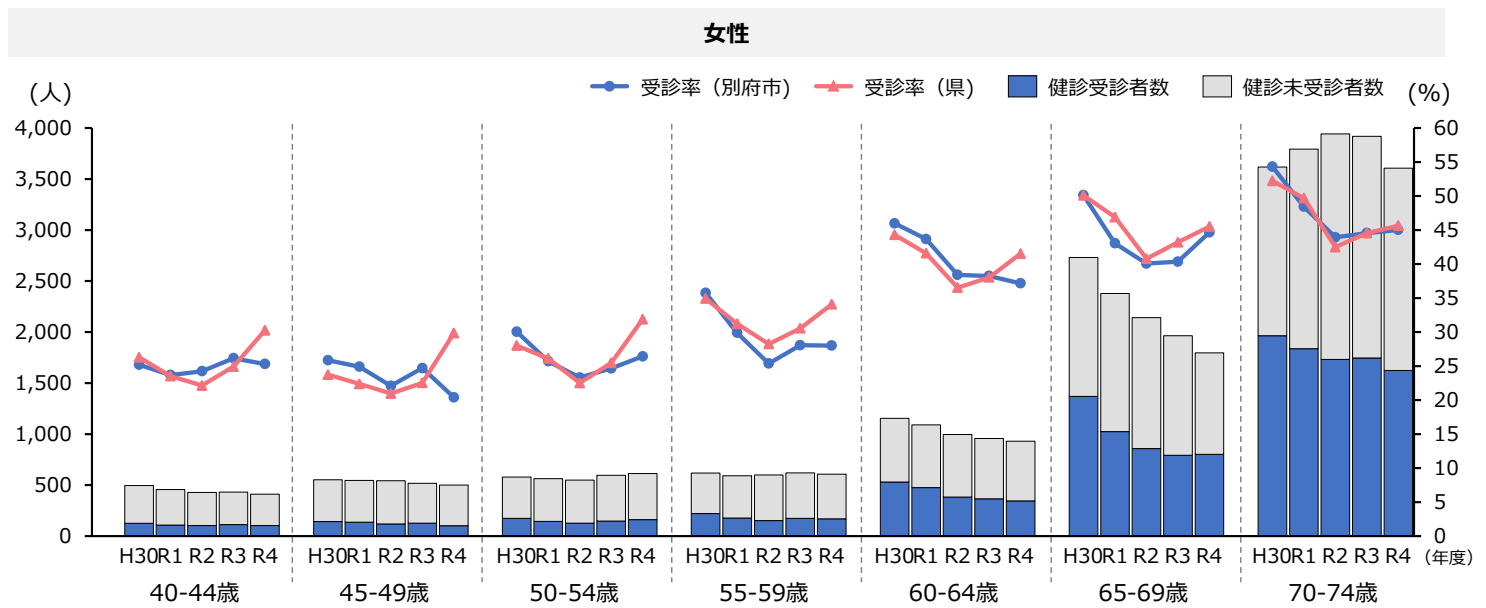
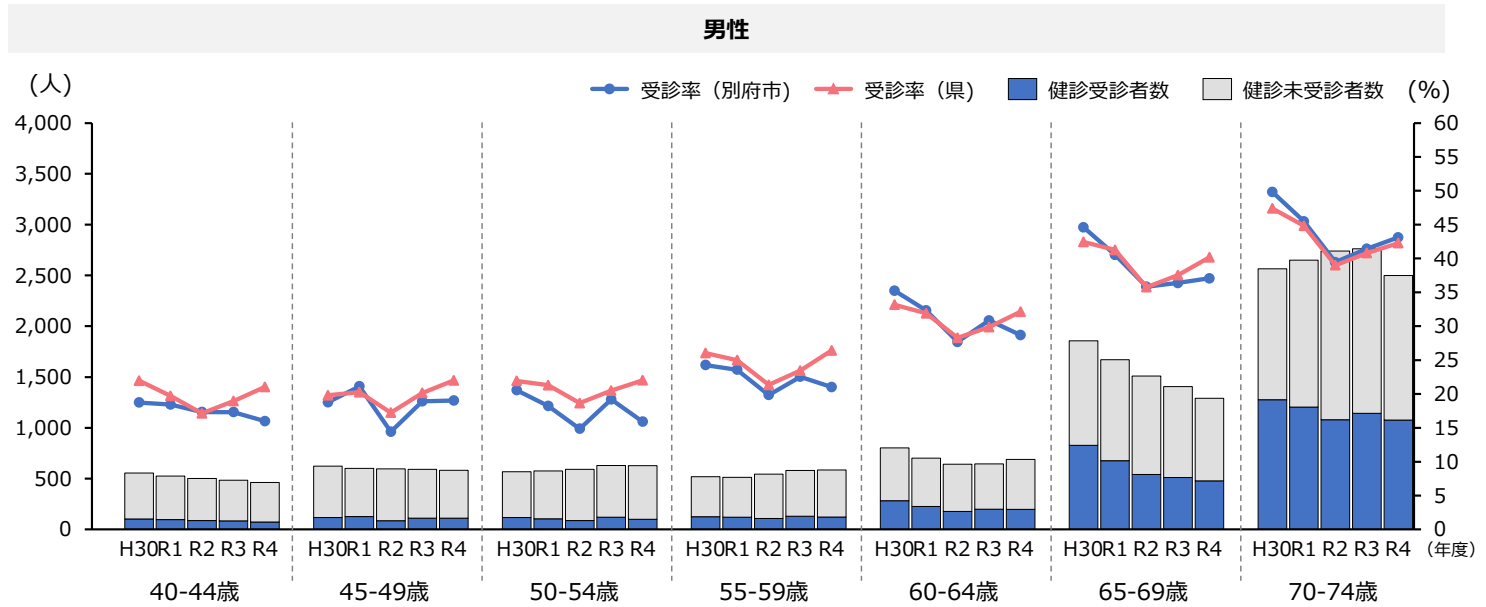


図表21	特定健康診査 受診率及び受診者数	出典	厚生労働省「2018年度～2021年度 特定健康診査・特定保健指導の実施状況」
データ分析の結果	特定健診受診率は令和4年度37.7%と、令和2年度34.6%の新型コロナウイルスの影響からは、回復しているもののそれ以前の水準である平成30年度42.8%程度には戻っておらず、県39.7%と比較しても2.0%低くなっている。国の目標値60%には届いていない。		



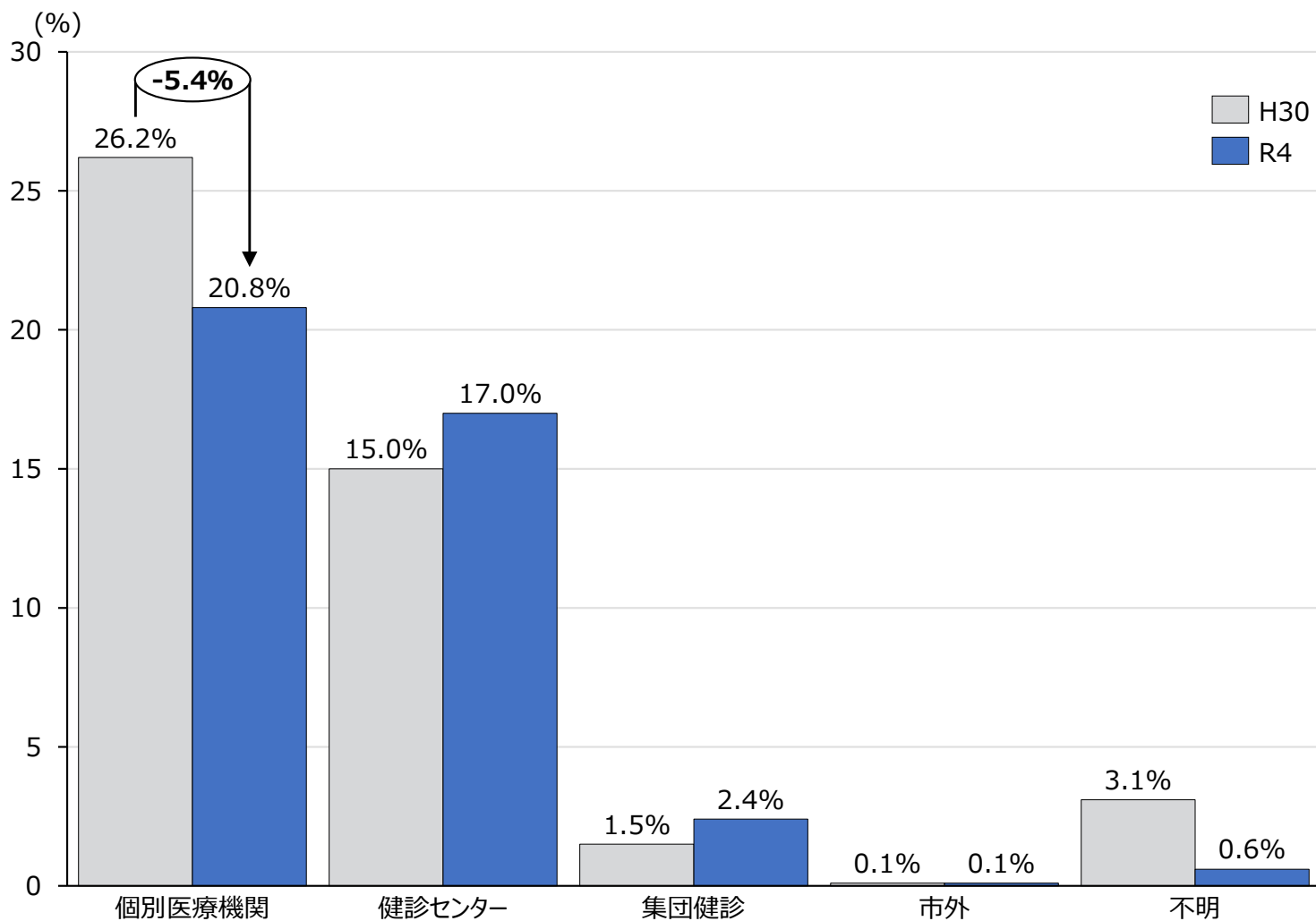
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
健診受診者数	7,354	6,438	5,643	5,818	5,525
健診未受診者数	9,817	10,133	10,648	9,871	9,162

図表22	特定健康診査 受診率及び受診者数・未受診者数 性年齢階層別	出典	KDB_S21_008_健診の状況【令和4年度】
データ分析の結果	年齢階層が上がるにつれて健診受診率は高くなっているが、男性70-74歳以外、どの年齢層でも県よりも低くなっている。		



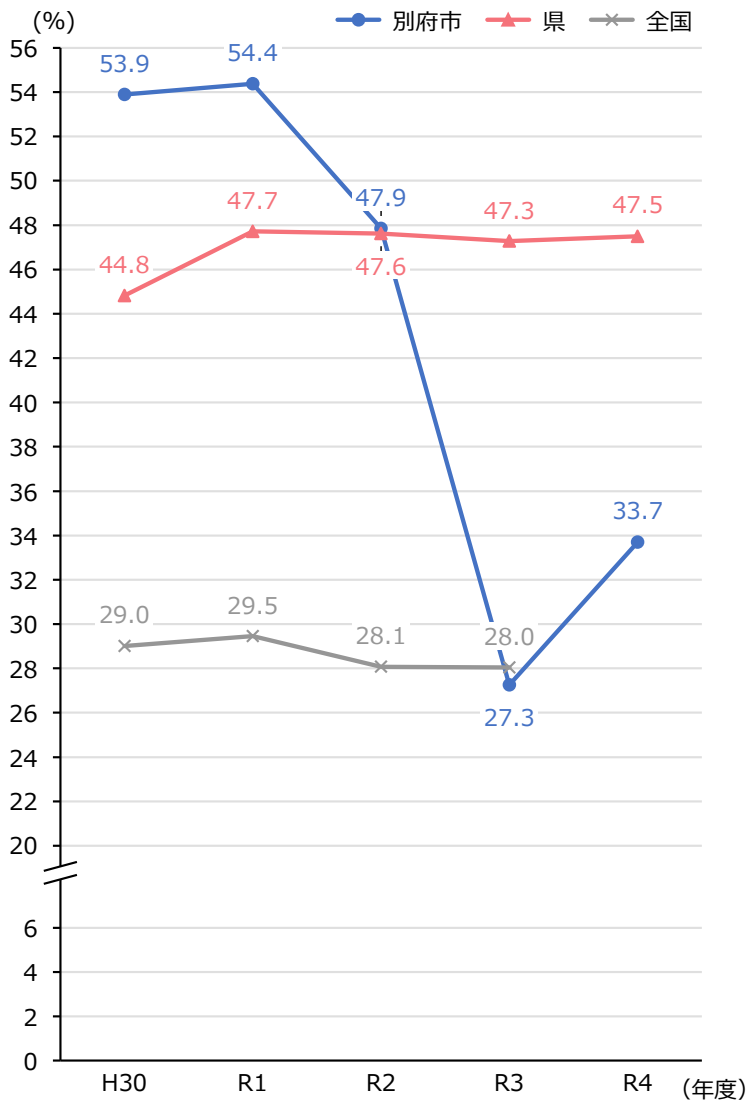
図表23	特定健康診査 受診機関別受診率	出典	健康推進課集計
データ分析の結果	受診機関別受診率を平成30年度と令和4年度を比較すると、個別医療機関の受診率は5.4%減少している。		

受診機関別受診率

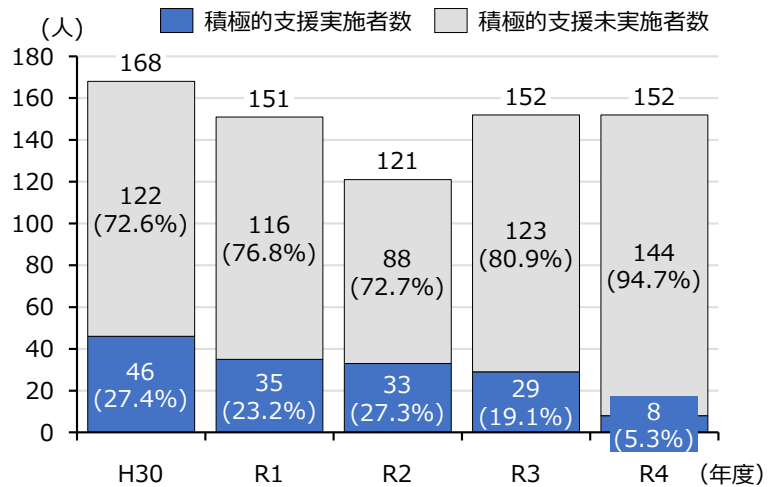


図表24	特定保健指導 実施率及び実施者数	出典	厚生労働省、2018～2021年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況（保険者別）/KDB_S21_008_健診の状況【平成30年度～令和4年度】
データ分析の結果	特定保健指導実施率は、令和4年度33.7%と令和1年度の54.4%と比較すると減少傾向にあり、令和1年度から令和4年度では20.7%減と大幅に減少している。国の目標値60%にはまだ届いていない。		

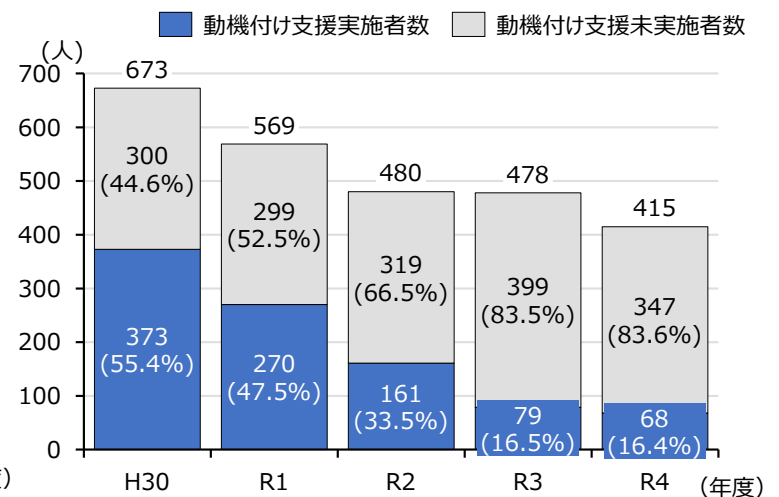
実施率（経年推移）



積極的支援実施者数（経年推移）



動機付け支援実施者数（経年推移）



図表25	指標 6 ① メタリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者及び予備群の減少率	出典	国保連合会資料「特定健診・特定保健指導実施結果報告（年齢階層別・保険者別）」
データ分析の結果	令和4年度の40歳～64歳の減少率は全体、男女ともに県の減少率を下回っている。		

H30年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	減少率	人数	減少率	人数	減少率		
別府市	58	13.9	229	13.5	287	13.5	99.4	0.939
県	575	13.7	2,210	13.6	2,785	13.6	100	-
別府市(男性)	33	10.9	114	11.0	147	11.0	91.0	0.267
県(男性)	353	12.2	1,248	12.0	1,601	12.0	100	-
別府市(女性)	25	21.6	115	17.4	140	18.0	109.0	0.329
県(女性)	222	16.9	962	16.5	1,184	16.5	100	-

R1年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	減少率	人数	減少率	人数	減少率		
別府市	57	13.5	243	15.0	300	14.7	114.9	0.017
県	521	12.6	2,093	12.8	2,614	12.8	100	-
別府市(男性)	35	11.7	121	12.4	156	12.2	111.6	0.183
県(男性)	324	11.2	1,143	10.9	1,467	10.9	100	-
別府市(女性)	22	18.0	122	18.9	144	18.8	115.0	0.103
県(女性)	197	15.6	950	16.5	1,147	16.3	100	-

R2年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	減少率	人数	減少率	人数	減少率		
別府市	45	12.2	176	12.3	221	12.3	113.5	0.064
県	419	10.9	1,729	10.7	2,148	10.7	100	-
別府市(男性)	21	8.1	85	9.4	106	9.1	99.0	0.954
県(男性)	276	10.1	932	8.9	1,208	9.1	100	-
別府市(女性)	24	21.8	91	17.2	115	18.0	128.9	0.008
県(女性)	143	12.7	797	14.1	940	13.9	100	-

R3年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	減少率	人数	減少率	人数	減少率		
別府市	47	15.7	186	14.5	233	14.8	114.1	0.047
県	428	12.8	1,832	13.0	2,260	13.0	100	-
別府市(男性)	22	9.9	98	12.2	120	11.7	105.1	0.618
県(男性)	284	12.1	1,000	10.9	1,284	11.1	100	-
別府市(女性)	25	32.1	88	18.6	113	20.5	123.2	0.030
県(女性)	144	14.6	832	17.0	976	16.6	100	-

R4年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	減少率	人数	減少率	人数	減少率		
別府市	39	11.5	195	16.5	234	15.4	114.8	0.038
県	453	12.9	1,827	13.5	2,280	13.3	100	-
別府市(男性)	24	9.7	103	13.6	127	12.6	108.8	0.366
県(男性)	283	11.4	1,030	11.6	1,313	11.6	100	-
別府市(女性)	15	16.1	92	21.7	107	20.7	122.1	0.044
県(女性)	170	16.4	797	17.0	967	16.9	100	-

図表26	指標6② メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者及び予備群の減少率	出典	国保連合会資料「特定健診・特定保健指導実施結果報告（年齢階層別・保険者別）」
データ分析の結果	メタボ該当者及び予備群の減少率は、令和1年度以降、県の減少率を上回っており、令和4年度の減少率では県13.3%に対し、15.4%の減少率と2.1%上回った。		

※標準化比：平成30年度の県の減少率を100とした場合の標準化比

40-74歳合計

全体	H30			R1			R2			R3			R4		
	人数	減少率	標準化比	人数	減少率	標準化比	人数	減少率	標準化比	人数	減少率	標準化比	人数	減少率	標準化比
別府市	287	13.5	99.4	300	14.7	107.7	221	12.3	89.9	233	14.8	108.3	234	15.4	112.8
県	2,785	13.6	100	2,614	12.8	93.8	2,148	10.7	78.9	2,260	13.0	95.2	2,280	13.3	98.0
別府市(男性)	147	11.0	91.0	156	12.2	101.0	106	9.1	75.3	120	11.7	96.6	127	12.6	104.6
県(男性)	1,601	12.0	100	1,467	10.9	90.7	1,208	9.1	75.6	1,284	11.1	92.0	1,313	11.6	95.6
別府市(女性)	140	18.0	109.0	144	18.8	114.2	115	18.0	109.5	113	20.5	125.4	107	20.7	125.4
県(女性)	1,184	16.5	100	1,147	16.3	98.8	940	13.9	84.4	976	16.6	100.8	967	16.9	102.2

図表27	指標 7 ① メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者の割合	出典	国保連合会資料「特定健診・特定保健指導実施結果報告（年齢階層別・保険者別）」
データ分析の結果	男性の40～64歳の令和4年度メタボ該当者割合は30.5%となっており、県25.6%と比較し、該当者割合が4.9%高い。		

H30年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	286	14.8	1,185	21.9	1,471	20.0	111.2	0.000
県	2,783	13.8	10,914	19.4	13,697	17.9	100	-
別府市(男性)	205	27.6	710	34.0	915	32.3	115.1	0.000
県(男性)	1,964	24.0	6,999	29.6	8,963	28.1	100	-
別府市(女性)	81	6.8	475	14.3	556	12.3	114.7	0.001
県(女性)	819	6.8	3,915	12.0	4,734	10.6	100	-

R1年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	244	14.3	1,050	22.2	1,294	20.1	105.8	0.044
県	2,615	14.5	10,925	20.6	13,540	19.1	100	-
別府市(男性)	174	25.9	648	34.7	822	32.3	109.8	0.008
県(男性)	1,843	24.5	7,096	31.4	8,939	29.7	100	-
別府市(女性)	70	6.7	402	14.1	472	12.1	107.8	0.106
県(女性)	772	7.4	3,829	12.6	4,601	11.2	100	-

R2年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	200	14.0	963	22.9	1,163	20.6	102.5	0.400
県	2,286	15.1	10,098	21.8	12,384	20.1	100	-
別府市(男性)	142	26.1	590	36.4	732	33.8	108.6	0.026
県(男性)	1,622	25.7	6,551	33.0	8,173	31.3	100	-
別府市(女性)	58	6.5	373	14.4	431	12.4	103.9	0.442
県(女性)	664	7.5	3,547	13.4	4,211	11.9	100	-

R3年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	220	13.9	987	23.3	1,207	20.7	103.7	0.211
県	2,384	15.0	10,383	21.8	12,767	20.1	100	-
別府市(男性)	164	25.5	621	37.1	785	33.9	108.7	0.021
県(男性)	1,695	25.2	6,779	33.4	8,474	31.4	100	-
別府市(女性)	56	6.0	366	14.3	422	12.1	102.9	0.576
県(女性)	689	7.5	3,604	13.1	4,293	11.7	100	-

R4年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	241	16.2	893	22.2	1,134	20.5	102.4	0.434
県	2,397	15.2	10,066	21.8	12,463	20.1	100	-
別府市(男性)	186	30.5	565	35.7	751	34.3	110.0	0.009
県(男性)	1,741	25.6	6,533	33.3	8,274	31.3	100	-
別府市(女性)	55	6.2	328	13.4	383	11.5	97.8	0.687
県(女性)	656	7.3	3,533	13.3	4,189	11.8	100	-

図表28	指標7② メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者の割合	出典	国保連合会資料「特定健診・特定保健指導実施結果報告（年齢階層別・保険者別）」
データ分析の結果	別府市のメタボ該当者標準化比は令和4年度113.8と高く、平成30年度111.2と比較すると、2.6増加している 別府市の男性メタボ該当者標準化比は令和4年度122.6と平成30年度115.1と比較して7.5増加しており、該当者割合は平成30年度32.3%から令和4年度34.3%に増加している。		

※標準化比：平成30年度の県の割合を100とした場合の標準化比

40-74歳合計

全体	H30			R1			R2			R3			R4		
	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比
別府市	1,471	20.0	111.2	1,294	20.1	111.5	1,163	20.6	113.7	1,207	20.7	115.0	1,134	20.5	113.8
県	13,697	17.9	100	13,540	19.1	105.5	12,384	20.1	111.0	12,767	20.1	110.9	12,463	20.1	111.2
別府市(男性)	915	32.3	115.1	822	32.3	115.6	732	33.8	120.3	785	33.9	121.2	751	34.3	122.6
県(男性)	8,963	28.1	100	8,939	29.7	105.4	8,173	31.3	110.8	8,474	31.4	111.6	8,274	31.3	111.6
別府市(女性)	556	12.3	114.7	472	12.1	112.0	431	12.4	113.6	422	12.1	111.1	383	11.5	106.0
県(女性)	4,734	10.6	100	4,601	11.2	104.0	4,211	11.9	109.5	4,293	11.7	108.0	4,189	11.8	108.6

図表29	指標 8 ① メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）予備群の割合	出典	国保連合会資料「特定健診・特定保健指導実施結果報告（年齢階層別・保険者別）」
データ分析の結果	男性の40～64歳のメタボ予備群該当者割合は平成30年度以降常に県より高く、令和4年度では19.8%と県の18.5%より1.3%高い。		

H30年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	226	11.7	622	11.5	848	11.5	97.2	0.411
県	2,359	11.7	6,679	11.9	9,038	11.8	100	-
別府市(男性)	155	20.9	371	17.8	526	18.6	100.8	0.865
県(男性)	1,563	19.1	4,295	18.2	5,858	18.4	100	-
別府市(女性)	71	6.0	251	7.5	322	7.1	99.8	0.987
県(女性)	796	6.6	2,384	7.3	3,180	7.1	100	-

R1年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	210	12.3	515	10.9	725	11.3	96.1	0.293
県	2,113	11.7	6,175	11.6	8,288	11.7	100	-
別府市(男性)	140	20.8	329	17.6	469	18.5	101.2	0.808
県(男性)	1,447	19.2	4,015	17.8	5,462	18.1	100	-
別府市(女性)	70	6.7	186	6.5	256	6.6	95.4	0.475
県(女性)	666	6.3	2,160	7.1	2,826	6.9	100	-

R2年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	168	11.7	436	10.4	604	10.7	90.8	0.019
県	1,795	11.8	5,456	11.8	7,251	11.8	100	-
別府市(男性)	119	21.8	282	17.4	401	18.5	100.9	0.880
県(男性)	1,215	19.3	3,575	18.0	4,790	18.3	100	-
別府市(女性)	49	5.5	154	5.9	203	5.8	84.6	0.018
県(女性)	580	6.6	1,881	7.1	2,461	7.0	100	-

R3年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	191	12.1	443	10.4	634	10.9	94.6	0.166
県	1,924	12.1	5,355	11.2	7,279	11.5	100	-
別府市(男性)	133	20.7	292	17.4	425	18.3	101.7	0.741
県(男性)	1,302	19.4	3,541	17.5	4,843	17.9	100	-
別府市(女性)	58	6.2	151	5.9	209	6.0	89.4	0.114
県(女性)	622	6.8	1,814	6.6	2,436	6.7	100	-

R4年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	170	11.4	377	9.4	547	9.9	90.7	0.023
県	1,842	11.7	4,908	10.6	6,750	10.9	100	-
別府市(男性)	121	19.8	231	14.6	352	16.1	94.0	0.253
県(男性)	1,259	18.5	3,252	16.6	4,511	17.1	100	-
別府市(女性)	49	5.6	146	6.0	195	5.9	92.8	0.313
県(女性)	583	6.5	1,656	6.2	2,239	6.3	100	-

図表30	指標 8 ② メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）予備群の割合	出典	国保連合会資料「特定健診・特定保健指導実施結果報告（年齢階層別・保険者別）」
データ分析の結果	メタボ予備群該当者割合は令和4年度9.9%と県10.9%より1.0%低い。		

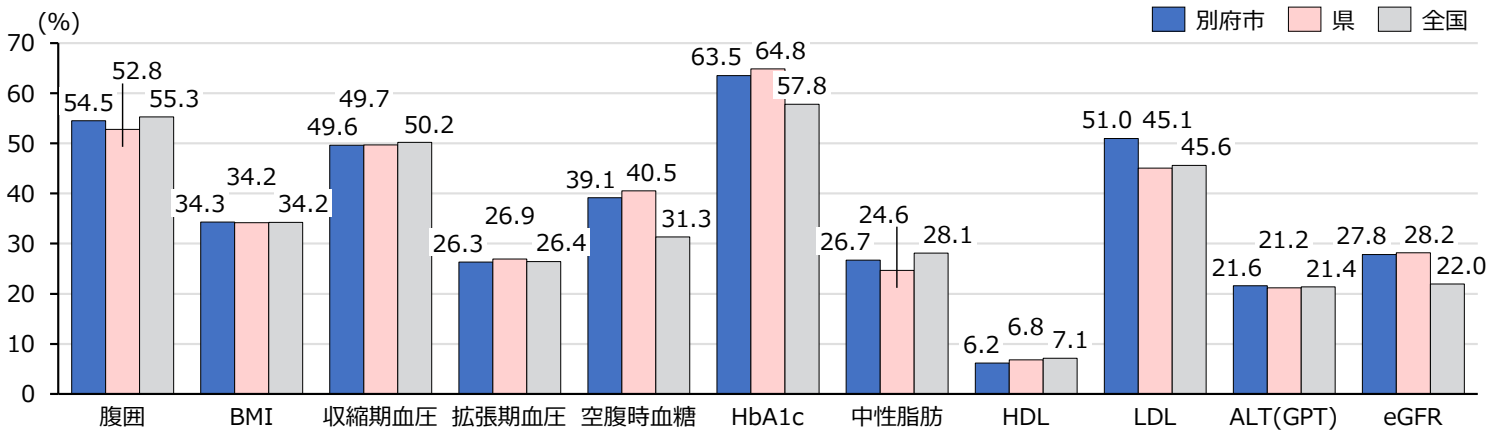
※標準化比：平成30年度の県の割合を100とした場合の標準化比

40-74歳合計

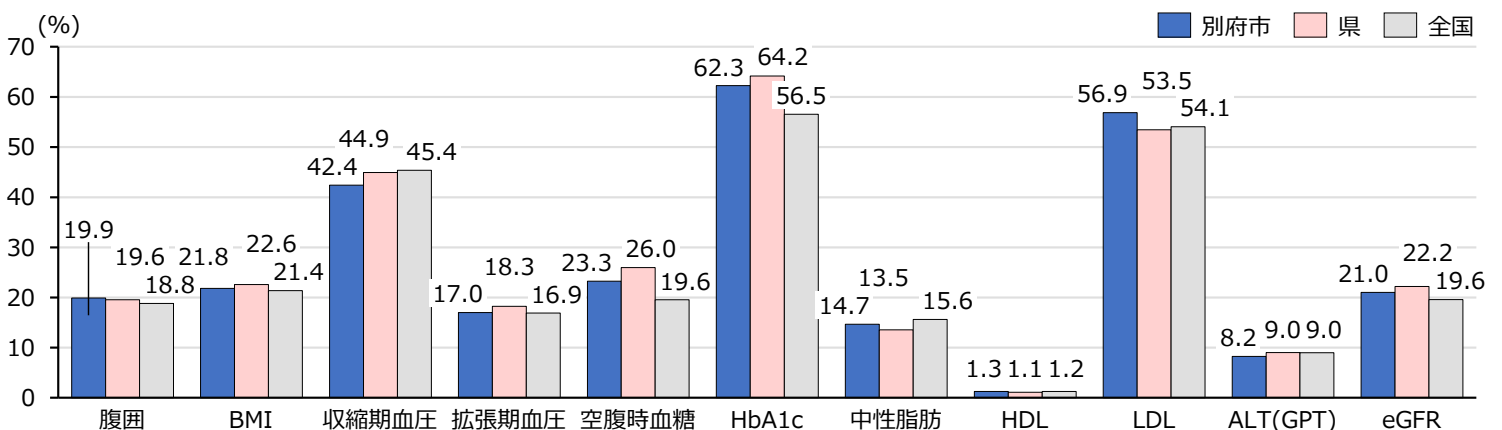
全体	H30			R1			R2			R3			R4		
	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比
別府市	848	11.5	97.2	725	11.3	94.8	604	10.7	90.0	634	10.9	91.5	547	9.9	83.2
県	9,038	11.8	100	8,288	11.7	98.4	7,251	11.8	99.3	7,279	11.5	96.4	6,750	10.9	91.7
別府市(男性)	526	18.6	100.8	469	18.5	100.2	401	18.5	100.5	425	18.3	99.3	352	16.1	87.1
県(男性)	5,858	18.4	100	5,462	18.1	98.6	4,790	18.3	99.6	4,843	17.9	97.4	4,511	17.1	92.7
別府市(女性)	322	7.1	99.8	256	6.6	92.0	203	5.8	81.8	209	6.0	83.8	195	5.9	82.0
県(女性)	3,180	7.1	100	2,826	6.9	96.3	2,461	7.0	97.2	2,436	6.7	93.2	2,239	6.3	88.1

図表31	特定健康診査 有所見の状況 全体	出典	KDB_S21_24_厚生労働省様式（様式5-2：健診有所見者状況）【令和4年度】
データ分析の結果	<p>全体で見ると、HbA1c、収縮期血圧、LDLコレステロールの有所見がある割合が高くなっている。特にLDLコレステロールの割合は県、全国と比較しても高い傾向にある。</p> <p>LDL有所見該当者率は男性51.0%、女性56.9%、全体54.6%と、男性は県45.1%より5.9%高く、全国45.6%より5.4%高い。女性は県53.5%より3.4%高く、全国54.1%より2.8%高い。全体では、県49.9%より4.7%高く、全国50.3%より4.3%高かった。</p>		

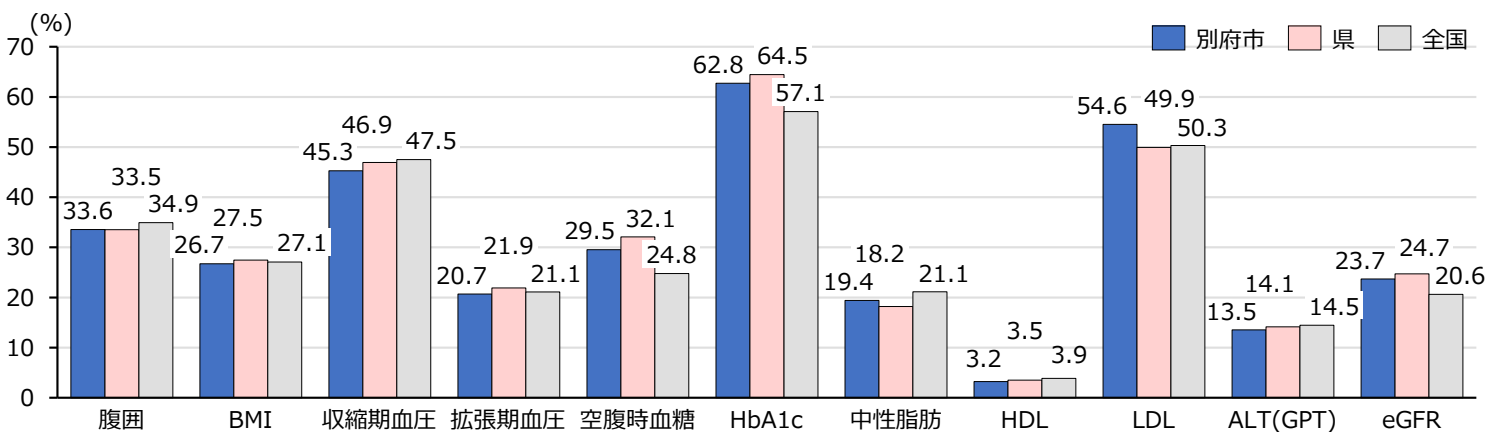
男性（令和4年度）



女性（令和4年度）



全体（令和4年度）



図表32	特定健康診査 有所見の状況 全体推移	出典	KDB_S21_24_厚生労働省様式（様式5-2：健診有所見者状況）【平成30年度～令和4年度】
データ分析の結果	平成30年度から令和4年度の経年推移をみると、「HbA1c」に有所見のある人は全体で10.2%減少しており、男女ともに減少傾向である。		

単位：%

有所見			H30	R1	R2	R3	R4	H30-R4増減
			割合	割合	割合	割合	割合	
肥満	腹囲	全体	35.0	34.6	34.2	35.0	33.6	-1.4
		男性	55.6	55.2	56.2	57.2	54.5	-1.1
		女性	22.0	21.1	20.4	20.3	19.9	-2.1
	BMI	全体	27.9	27.5	27.3	27.6	26.7	-1.2
		男性	34.8	34.9	34.5	35.2	34.3	-0.5
		女性	23.5	22.7	22.8	22.6	21.8	-1.7
血圧	収縮期血圧	全体	46.0	47.1	48.9	47.2	45.3	-0.7
		男性	50.1	51.7	53.4	50.2	49.6	-0.5
		女性	43.5	44.0	46.0	45.1	42.4	-1.1
	拡張期血圧	全体	17.5	18.6	20.8	19.9	20.7	3.2
		男性	23.3	25.3	26.8	25.7	26.3	3.0
		女性	13.8	14.2	17.1	16.0	17.0	3.2
血糖	空腹時血糖	全体	25.6	28.1	31.1	30.7	29.5	3.9
		男性	33.4	36.0	38.2	38.8	39.1	5.7
		女性	20.8	23.0	26.7	25.3	23.3	2.5
	HbA1c	全体	73.0	75.9	77.0	61.3	62.8	-10.2
		男性	71.7	74.8	75.1	62.6	63.5	-8.2
		女性	73.7	76.7	78.1	60.5	62.3	-11.4
脂質	中性脂肪	全体	21.8	20.4	20.3	20.4	19.4	-2.4
		男性	30.8	28.6	29.4	27.9	26.7	-4.1
		女性	16.2	15.0	14.6	15.5	14.7	-1.5
	HDL	全体	3.3	3.4	2.9	3.6	3.2	-0.1
		男性	6.5	6.8	6.1	7.2	6.2	-0.3
		女性	1.2	1.1	0.9	1.2	1.3	0.1
	LDL	全体	56.0	55.5	55.9	56.9	54.6	-1.4
		男性	49.7	49.4	51.0	53.3	51.0	1.3
		女性	59.9	59.4	59.0	59.3	56.9	-3.0
肝・腎機能	ALT (GPT)	全体	14.3	12.9	15.3	15.2	13.5	-0.8
		男性	23.0	20.6	24.8	24.5	21.6	-1.4
		女性	8.9	7.9	9.5	9.1	8.2	-0.7
	eGFR	全体	23.8	20.1	29.0	19.2	23.7	-0.1
		男性	24.8	22.5	29.7	22.4	27.8	3.0
		女性	23.2	18.5	28.6	17.1	21.0	-2.2

図表33	指標 3 ① 高血圧症有病率（5月診療分）	出典	「地区統計情報 - 生活習慣病の状況 （厚労省様式3-1～7）」
データ分析 の結果	高血圧症有病率は、令和4年度では各年代で県の有病率より低くなっている。		

H30年度	0～39歳		40～64歳		65～74歳		(合計) 0～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	36	0.4	1,146	14.0	4,597	37.8	5,779	19.7	97.2	0.031
県	332	0.6	12,778	15.8	48,073	38.2	61,183	23.0	100	-
別府市(男性)	21	0.5	605	15.8	2,070	41.1	2,696	20.1	97.8	0.250
県(男性)	206	0.7	6,909	18.0	23,578	41.1	30,693	24.4	100	-
別府市(女性)	15	0.3	541	12.4	2,527	35.4	3,083	19.3	97.7	0.201
県(女性)	126	0.4	5,869	13.8	24,495	35.8	30,490	21.8	100	-

R1年度	0～39歳		40～64歳		65～74歳		(合計) 0～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	33	0.4	1,075	14.0	4,363	37.2	5,471	19.6	97.9	0.123
県	316	0.6	11,838	15.5	46,382	37.4	58,536	22.9	100	-
別府市(男性)	19	0.4	573	16.1	2,000	41.3	2,592	20.4	99.4	0.774
県(男性)	186	0.7	6,452	17.8	22,987	40.7	29,625	24.5	100	-
別府市(女性)	14	0.3	502	12.3	2,363	34.4	2,879	19.0	97.8	0.004
県(女性)	130	0.5	5,386	13.4	23,395	34.7	28,911	21.5	100	-

R2年度	0～39歳		40～64歳		65～74歳		(合計) 0～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	28	0.4	959	13.0	3,975	34.7	4,962	18.7	96.8	0.022
県	310	0.6	10,731	14.8	43,059	35.1	54,100	21.9	100	-
別府市(男性)	16	0.4	526	15.2	1,836	38.6	2,378	19.6	98.2	0.387
県(男性)	201	0.8	5,947	17.1	21,542	38.5	27,690	23.6	100	-
別府市(女性)	12	0.3	433	11.0	2,139	31.9	2,584	17.9	96.8	0.096
県(女性)	109	0.4	4,784	12.6	21,517	32.2	26,410	20.3	100	-

R3年度	0～39歳		40～64歳		65～74歳		(合計) 0～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	27	0.4	988	13.5	4,088	36.1	5,103	20.1	95.4	0.001
県	349	0.7	10,670	15.2	46,455	37.3	57,474	23.5	100	-
別府市(男性)	12	0.3	547	15.7	1,875	39.9	2,434	20.9	96.3	0.068
県(男性)	211	0.8	5,914	17.4	23,141	40.8	29,266	25.3	100	-
別府市(女性)	15	0.5	441	11.5	2,213	33.5	2,669	19.4	95.6	0.022
県(女性)	138	0.6	4,756	13.1	23,314	34.3	28,208	22.0	100	-

R4年度	0～39歳		40～64歳		65～74歳		(合計) 0～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	35	0.5	1,016	14.1	4,019	37.2	5,070	20.2	96.9	0.024
県	340	0.7	10,540	15.5	45,662	37.8	56,542	23.9	100	-
別府市(男性)	17	0.5	564	16.5	1,859	41.6	2,440	21.3	98.1	0.352
県(男性)	203	0.8	5,843	17.8	22,836	41.8	28,882	25.8	100	-
別府市(女性)	18	0.5	452	11.9	2,160	34.2	2,630	19.3	96.9	0.109
県(女性)	137	0.6	4,697	13.5	22,826	34.5	27,660	22.2	100	-

図表34	指標 3 ② 高血圧症有病率（5月診療分）	出典	「地区統計情報 - 生活習慣病の状況 （厚労省様式3-1～7）」
データ分析 の結果	高血圧症有病率は、平成30年度以降、県の有病率より低く推移しており、令和4年度の有病率は、県23.9%に対し、別府市は20.2%と3.7%低い。		

※標準化比：平成30年度の県の割合を100とした場合の標準化比

0-74歳合計

全体	H30			R1			R2			R3			R4		
	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比
別府市	5,779	19.7	97.2	5,471	19.6	95.5	4,962	18.7	88.4	5,103	20.1	91.6	5,070	20.2	94.5
県	61,183	23.0	100	58,536	22.9	97.5	54,100	21.9	91.2	57,474	23.5	95.9	56,542	23.9	97.4
別府市(男性)	2,696	20.1	97.8	2,592	20.4	98.1	2,378	19.6	91.9	2,434	20.9	94.5	2,440	21.3	98.6
県(男性)	30,693	24.4	100	29,625	24.5	98.7	27,690	23.6	93.4	29,266	25.3	98.0	28,882	25.8	100.2
別府市(女性)	3,083	19.3	97.7	2,879	19.0	94.2	2,584	17.9	86.2	2,669	19.4	89.8	2,630	19.3	91.8
県(女性)	30,490	21.8	100	28,911	21.5	96.4	26,410	20.3	89.1	28,208	22.0	93.8	27,660	22.2	94.7

図表35	指標14① 特定健康診査受診者のうち、収縮期血 圧160以上の者の割合	出典	「地区統計情報－有所見者の状況（厚労 省様式5-2）_年齢階層別」
データ分析 の結果	令和4年度の収縮期血圧160以上該当者割合は5.1%と県4.8%より0.3%高い。特に男性の 該当者割合は、平成30年度以降どの年度でも県より高い。		

H30年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	58	3.1	302	5.6	360	5.0	108.2	0.143
県	545	2.8	2,881	5.2	3,426	4.6	100	-
別府市(男性)	35	4.8	136	6.6	171	6.1	118.1	0.033
県(男性)	281	3.5	1,325	5.7	1,606	5.2	100	-
別府市(女性)	23	2.0	166	5.0	189	4.3	101.8	0.834
県(女性)	264	2.3	1,556	4.9	1,820	4.2	100	-

R1年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	51	3.1	280	6.0	331	5.2	108.9	0.128
県	549	3.1	2,827	5.4	3,376	4.8	100	-
別府市(男性)	31	4.7	126	6.8	157	6.3	119.6	0.028
県(男性)	265	3.6	1,291	5.8	1,556	5.3	100	-
別府市(女性)	20	2.0	154	5.5	174	4.6	101.6	0.866
県(女性)	284	2.8	1,536	5.1	1,820	4.5	100	-

R2年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	38	2.7	275	6.7	313	5.7	114.3	0.019
県	391	2.6	2,624	5.8	3,015	5.0	100	-
別府市(男性)	20	3.8	111	7.0	131	6.2	115.0	0.120
県(男性)	190	3.1	1,205	6.2	1,395	5.5	100	-
別府市(女性)	18	2.1	164	6.5	182	5.4	114.8	0.068
県(女性)	201	2.3	1,419	5.4	1,620	4.7	100	-

R3年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	41	2.7	253	6.1	294	5.2	109.7	0.121
県	456	2.9	2,518	5.4	2,974	4.8	100	-
別府市(男性)	28	4.5	105	6.5	133	5.9	121.4	0.028
県(男性)	225	3.4	1,076	5.4	1,301	4.9	100	-
別府市(女性)	13	1.4	148	5.9	161	4.7	101.7	0.860
県(女性)	231	2.6	1,442	5.3	1,673	4.7	100	-

R4年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	38	2.6	235	6.0	273	5.1	107.2	0.265
県	425	2.7	2,488	5.5	2,913	4.8	100	0
別府市(男性)	18	3.0	97	6.4	115	5.5	116.5	0.112
県(男性)	199	3.0	1,024	5.3	1,223	4.7	100	0
別府市(女性)	20	2.3	138	5.8	158	4.9	101.1	0.924
県(女性)	226	2.5	1,464	5.6	1,690	4.8	100	0

図表36	指標14② 特定健康診査受診者のうち、収縮期血 圧160以上の者の割合	出典	「地区統計情報－有所見者の状況（厚労 省様式5-2）_年齢階層別」
データ分析 の結果	収縮期血圧160以上該当者割合は令和4年度5.1%と県4.8%より0.3%高く、特に男性が 5.5%と高くなっている。 別府市の収縮期血圧160以上該当者標準化比は令和4年度110.8と平成30年度の108.2と 比較して2.6増加している。		

※標準化比：平成30年度の県の割合を100とした場合の標準化比

40-74歳合計

全体	H30			R1			R2			R3			R4		
	人数	割合	標準化 比	人数	割合	標準化 比	人数	割合	標準化 比	人数	割合	標準化 比	人数	割合	標準化 比
別府市	360	5.0	108.2	331	5.2	113.8	313	5.7	122.8	294	5.2	113.1	273	5.1	110.8
県	3,426	4.6	100	3,376	4.8	104.8	3,015	5.0	107.5	2,974	4.8	102.9	2,913	4.8	103.3
別府市(男性)	171	6.1	118.1	157	6.3	121.0	131	6.2	119.2	133	5.9	114.4	115	5.5	105.4
県(男性)	1,606	5.2	100	1,556	5.3	101.7	1,395	5.5	104.5	1,301	4.9	94.6	1,223	4.7	90.8
別府市(女性)	189	4.3	101.8	174	4.6	108.9	182	5.4	127.4	161	4.7	112.9	158	4.9	116.0
県(女性)	1,820	4.2	100	1,820	4.5	107.3	1,620	4.7	110.1	1,673	4.7	110.2	1,690	4.8	114.3

図表37	指標 2 ① 脂質異常症有病率（5月診療分）	出典	「地区統計情報－生活習慣病の状況（厚労省様式3-1～7）」
データ分析の結果	脂質異常症有病率は平成30年度以降各年代で県の有病率より低くなっている。		

H30年度	0～39歳		40～64歳		65～74歳		(合計) 0～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	45	0.5	1,029	12.5	3,859	31.7	4,933	16.8	97.4	0.064
県	491	0.8	11,489	14.2	40,085	31.9	52,065	19.6	100	-
別府市(男性)	30	0.7	498	13.0	1,443	28.6	1,971	14.7	98.8	0.587
県(男性)	292	1.0	5,375	14.0	16,410	28.6	22,077	17.6	100	-
別府市(女性)	15	0.3	531	12.1	2,416	33.9	2,962	18.5	95.6	0.015
県(女性)	199	0.7	6,114	14.3	23,675	34.6	29,988	21.5	100	-

R1年度	0～39歳		40～64歳		65～74歳		(合計) 0～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	48	0.6	972	12.7	3,611	30.8	4,631	16.6	96.3	0.011
県	491	0.9	10,749	14.1	39,059	31.5	50,299	19.7	100	-
別府市(男性)	26	0.6	484	13.6	1,359	28.1	1,869	14.7	97.6	0.293
県(男性)	285	1.0	5,111	14.1	16,213	28.7	21,609	17.9	100	-
別府市(女性)	22	0.5	488	11.9	2,252	32.7	2,762	18.2	94.7	0.004
県(女性)	206	0.8	5,638	14.1	22,846	33.9	28,690	21.3	100	-

R2年度	0～39歳		40～64歳		65～74歳		(合計) 0～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	47	0.6	876	11.9	3,280	28.6	4,203	15.8	94.7	0.000
県	481	0.9	9,654	13.3	36,579	29.8	46,714	18.9	100	-
別府市(男性)	28	0.7	435	12.6	1,283	27.0	1,746	14.4	96.8	0.173
県(男性)	288	1.1	4,746	13.6	15,427	27.6	20,461	17.5	100	-
別府市(女性)	19	0.5	441	11.2	1,997	29.8	2,457	17.0	92.7	0.000
県(女性)	193	0.8	4,908	13.0	21,152	31.7	26,253	20.2	100	-

R3年度	0～39歳		40～64歳		65～74歳		(合計) 0～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	40	0.6	931	12.7	3,404	30.1	4,375	17.2	93.5	0.000
県	508	1.0	9,979	14.2	39,653	31.8	50,140	20.5	100	-
別府市(男性)	25	0.7	471	13.5	1,338	28.5	1,834	15.8	96.2	0.098
県(男性)	311	1.2	4,918	14.5	16,628	29.3	21,857	18.9	100	-
別府市(女性)	15	0.5	460	12.0	2,066	31.2	2,541	18.5	90.9	0.000
県(女性)	197	0.8	5,061	13.9	23,025	33.9	28,283	22.0	100	-

R4年度	0～39歳		40～64歳		65～74歳		(合計) 0～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	45	0.6	950	13.2	3,345	31.0	4,340	17.3	94.0	0.000
県	533	1.1	10,002	14.7	39,166	32.4	49,701	21.0	100	-
別府市(男性)	29	0.8	488	14.3	1,318	29.5	1,835	16.0	95.9	0.076
県(男性)	320	1.3	5,004	15.2	16,645	30.5	21,969	19.6	100	-
別府市(女性)	16	0.5	462	12.2	2,027	32.1	2,505	18.4	92.1	0.000
県(女性)	213	0.9	4,998	14.3	22,521	34.1	27,732	22.3	100	-

図表38	指標 2 ② 脂質異常症有病率（5月診療分）	出典	「地区統計情報－生活習慣病の状況（厚 労省様式3-1～7）」
データ分析 の結果	脂質異常症有病率は、平成30年度以降、県の有病率より低く推移しており、令和4年度の有病率は、県21.0%に対し、別府市は17.3%と3.7%低い。		

※標準化比：平成30年度の県の割合を100とした場合の標準化比

0-74歳合計

全体	H30			R1			R2			R3			R4		
	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比
別府市	4,933	16.8	97.4	4,631	16.6	95.0	4,203	15.8	88.1	4,375	17.2	92.5	4,340	17.3	95.3
県	52,065	19.6	100	50,299	19.7	98.7	46,714	18.9	92.9	50,140	20.5	98.8	49,701	21.0	101.2
別府市(男性)	1,971	14.7	98.8	1,869	14.7	97.9	1,746	14.4	93.3	1,834	15.8	98.4	1,835	16.0	102.4
県(男性)	22,077	17.6	100	21,609	17.9	100.3	20,461	17.5	96.2	21,857	18.9	102.1	21,969	19.6	106.3
別府市(女性)	2,962	18.5	95.6	2,762	18.2	92.3	2,457	17.0	83.9	2,541	18.5	87.8	2,505	18.4	89.8
県(女性)	29,988	21.5	100	28,690	21.3	97.5	26,253	20.2	90.5	28,283	22.0	96.5	27,732	22.3	97.4

図表39	指標15① 特定健康診査受診者のうち、LDLコレステロール140以上の者（受診勧奨判定値を超える者）の割合	出典	「地区統計情報－有所見者の状況（厚労省様式5-2）_年齢階層別」
データ分析の結果	LDLコレステロール140以上の者の該当者割合は令和4年度では、各年代県の該当者割合より高くなっている。		

H30年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	609	32.4	1,626	30.3	2,235	30.9	104.0	0.062
県	6,577	33.4	15,793	28.6	22,370	29.9	100	-
別府市(男性)	216	29.7	501	24.1	717	25.6	101.0	0.803
県(男性)	2,519	31.6	5,375	23.2	7,894	25.3	100	-
別府市(女性)	393	34.1	1,125	34.2	1,518	34.2	104.5	0.088
県(女性)	4,058	34.7	10,418	32.6	14,476	33.1	100	-

R1年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	549	33.0	1,417	30.4	1,966	31.1	105.3	0.022
県	5,948	33.8	14,768	28.3	20,716	29.7	100	-
別府市(男性)	198	30.0	449	24.3	647	25.8	101.7	0.681
県(男性)	2,369	32.2	5,074	22.9	7,443	25.3	100	-
別府市(女性)	351	35.0	968	34.5	1,319	34.6	106.1	0.032
県(女性)	3,579	35.0	9,694	32.3	13,273	33.0	100	-

R2年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	494	35.6	1,270	30.9	1,764	32.1	108.3	0.001
県	5,038	34.1	12,930	28.4	17,968	29.8	100	-
別府市(男性)	182	34.3	378	23.9	560	26.5	105.3	0.227
県(男性)	1,959	31.9	4,448	23.0	6,407	25.1	100	-
別府市(女性)	312	36.4	892	35.2	1,204	35.5	108.0	0.008
県(女性)	3,079	35.7	8,482	32.4	11,561	33.2	100	-

R3年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	512	33.3	1,272	30.9	1,784	31.5	111.0	0.000
県	5,050	32.6	12,694	27.1	17,744	28.5	100	-
別府市(男性)	216	34.3	415	25.7	631	28.1	114.5	0.001
県(男性)	2,043	31.1	4,368	22.1	6,411	24.3	100	-
別府市(女性)	296	32.5	857	34.2	1,153	33.8	108.2	0.007
県(女性)	3,007	33.6	8,326	30.8	11,333	31.5	100	-

R4年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	465	32.0	1,058	27.1	1,523	28.4	111.3	0.000
県	4,635	29.9	10,968	24.1	15,603	25.6	100	-
別府市(男性)	186	31.4	338	22.3	524	24.9	114.5	0.002
県(男性)	1,916	28.8	3,676	19.1	5,592	21.6	100	-
別府市(女性)	279	32.4	720	30.1	999	30.7	108.5	0.011
県(女性)	2,719	30.7	7,292	27.8	10,011	28.5	100	-

図表40	指標15② 特定健康診査受診者のうち、LDLコレステロール140以上の者（受診勧奨判定値を超える者）の割合	出典	「地区統計情報－有所見者の状況（厚労省様式5-2）_年齢階層別」
データ分析の結果	LDL140以上の該当者割合は平成30年度30.9%から令和4年度28.4%と減少傾向であるものの、常に県より高い状況である。 また、別府市のLDL140以上該当者標準化比は令和4年度96.8と県86.9と比較して9.9高い。男性のLDL140以上該当者割合は平成30年度25.6%から令和4年度24.9%と0.7%減少しているが、常に県より高い状況である。 女性のLDL140以上該当者割合は平成30年度34.2%から令和4年度30.7%と3.5%減少しているが、常に県より高い状況である。		

※標準化比：平成30年度の県の割合を100とした場合の標準化比

40－74歳合計

全体	H30			R1			R2			R3			R4		
	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比
別府市	2,235	30.9	104.0	1,966	31.1	105.5	1,764	32.1	109.6	1,784	31.5	107.6	1,523	28.4	96.8
県	22,370	29.9	100	20,716	29.7	100.1	17,968	29.8	101.0	17,744	28.5	96.8	15,603	25.6	86.9
別府市(男性)	717	25.6	101.0	647	25.8	101.7	560	26.5	105.4	631	28.1	110.8	524	24.9	98.2
県(男性)	7,894	25.3	100	7,443	25.3	100.1	6,407	25.1	100.1	6,411	24.3	96.7	5,592	21.6	85.7
別府市(女性)	1,518	34.2	104.5	1,319	34.6	106.6	1,204	35.5	110.4	1,153	33.8	105.3	999	30.7	95.2
県(女性)	14,476	33.1	100	13,273	33.0	100.2	11,561	33.2	101.8	11,333	31.5	97.0	10,011	28.5	87.7

図表41	指標16① 特定健康診査受診者のうち、LDLコレステロール160以上の者の割合	出典	「地区統計情報－有所見者の状況（厚労省様式5-2）_年齢階層別」
データ分析の結果	LDLコレステロール160以上該当者割合は令和4年度では各年代、県の該当者割合より高くなっている。		

H30年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	280	14.9	699	13.0	979	13.5	107.7	0.021
県	2,977	15.1	6,509	11.8	9,486	12.7	100	-
別府市(男性)	84	11.5	184	8.9	268	9.6	96.9	0.626
県(男性)	1,081	13.6	1,986	8.6	3,067	9.8	100	-
別府市(女性)	196	17.0	515	15.7	711	16.0	110.9	0.006
県(女性)	1,896	16.2	4,523	14.1	6,419	14.7	100	-

R1年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	249	15.0	590	12.7	839	13.3	105.0	0.165
県	2,757	15.7	6,135	11.8	8,892	12.7	100	-
別府市(男性)	89	13.4	159	8.6	248	9.9	99.7	0.985
県(男性)	1,029	14.0	1,870	8.5	2,899	9.8	100	-
別府市(女性)	160	16.0	431	15.3	591	15.5	105.8	0.176
県(女性)	1,728	16.9	4,265	14.2	5,993	14.9	100	-

R2年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	219	15.8	518	12.6	737	13.4	107.7	0.045
県	2,361	16.0	5,202	11.4	7,563	12.5	100	-
別府市(男性)	73	13.8	146	9.2	219	10.4	104.7	0.521
県(男性)	900	14.6	1,616	8.3	2,516	9.9	100	-
別府市(女性)	146	17.1	372	14.7	518	15.3	107.0	0.127
県(女性)	1,461	16.9	3,586	13.7	5,047	14.5	100	-

R3年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	237	15.4	526	12.8	763	13.5	112.4	0.001
県	2,353	15.2	5,146	11.0	7,499	12.0	100	-
別府市(男性)	106	16.9	146	9.0	252	11.2	115.5	0.024
県(男性)	955	14.5	1,567	7.9	2,522	9.6	100	-
別府市(女性)	131	14.4	380	15.1	511	14.9	109.7	0.038
県(女性)	1,398	15.6	3,579	13.2	4,977	13.8	100	-

R4年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	218	15.0	437	11.2	655	12.2	119.6	0.000
県	2,019	13.0	4,227	9.3	6,246	10.2	100	-
別府市(男性)	90	15.2	138	9.1	228	10.8	130.1	0.000
県(男性)	855	12.9	1,268	6.6	2,123	8.2	100	-
別府市(女性)	128	14.9	299	12.5	427	13.1	113.0	0.012
県(女性)	1,164	13.1	2,959	11.3	4,123	11.7	100	-

図表42	指標16② 特定健康診査受診者のうち、LDLコレステロール160以上の者の割合	出典	「地区統計情報－有所見者の状況（厚労省様式5-2）_年齢階層別」
データ分析の結果	<p>LDL160以上該当者割合は平成30年度13.5%から令和4年度12.2%と減少傾向であるものの、常に県より高い状況である。</p> <p>男性のLDL160以上該当者割合は平成30年度9.6%から令和4年度10.8%と1.2%増加しており、令和1年度以降常に県より高い状況である。</p> <p>女性のLDL160以上該当者割合は平成30年度16.0%から令和4年度13.1%と2.9%減少しているが、常に県より高い状況である。</p> <p>別府市のLDL160以上該当者標準化比は令和4年度98.6と県の標準化比82.4と比較して16.2高い。</p> <p>別府市男性のLDL160以上該当者標準化比は平成30年度96.9から令和4年度108.9と12増加している。</p>		

※標準化比：平成30年度の県の割合を100とした場合の標準化比

40-74歳合計

全体	H30			R1			R2			R3			R4		
	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比
別府市	979	13.5	107.7	839	13.3	106.6	737	13.4	108.6	763	13.5	109.0	655	12.2	98.6
県	9,486	12.7	100	8,892	12.7	101.6	7,563	12.5	100.8	7,499	12.0	96.9	6,246	10.2	82.4
別府市(男性)	268	9.6	96.9	248	9.9	99.6	219	10.4	105.6	252	11.2	112.6	228	10.8	108.9
県(男性)	3,067	9.8	100	2,899	9.8	100.3	2,516	9.9	101.2	2,522	9.6	97.5	2,123	8.2	83.4
別府市(女性)	711	16.0	110.9	591	15.5	108.5	518	15.3	108.2	511	14.9	106.5	427	13.1	92.8
県(女性)	6,419	14.7	100	5,993	14.9	102.4	5,047	14.5	100.8	4,977	13.8	96.8	4,123	11.7	82.1

図表43	指標 1 ① 糖尿病有病率（5月診療分）	出典	「地区統計情報－生活習慣病の状況（厚 労省様式3-1～7）」
データ分析 の結果	糖尿病有病率は平成30年度以降、各年代で県の有病率より低くなっている。		

H30年度	0～39歳		40～64歳		65～74歳		(合計) 0～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	39	0.4	630	7.7	2,310	19.0	2,979	10.1	92.6	0.000
県	404	0.7	7,328	9.0	25,264	20.1	32,996	12.4	100-	
別府市(男性)	20	0.4	370	9.6	1,197	23.8	1,587	11.9	96.5	0.160
県(男性)	232	0.8	4,268	11.1	13,707	23.9	18,207	14.5	100-	
別府市(女性)	19	0.4	260	5.9	1,113	15.6	1,392	8.7	90.8	0.000
県(女性)	172	0.6	3,060	7.2	11,557	16.9	14,789	10.6	100-	

R1年度	0～39歳		40～64歳		65～74歳		(合計) 0～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	36	0.4	624	8.2	2,202	18.8	2,862	10.3	92.8	0.000
県	381	0.7	6,821	8.9	24,961	20.1	32,163	12.6	100-	
別府市(男性)	15	0.4	363	10.2	1,149	23.7	1,527	12.0	97.6	0.341
県(男性)	206	0.7	3,948	10.9	13,535	24.0	17,689	14.6	100-	
別府市(女性)	21	0.5	261	6.4	1,053	15.3	1,335	8.8	90.3	0.000
県(女性)	175	0.6	2,873	7.2	11,426	16.9	14,474	10.7	100-	

R2年度	0～39歳		40～64歳		65～74歳		(合計) 0～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	40	0.5	532	7.2	1,987	17.3	2,559	9.6	90.9	0.000
県	345	0.7	6,199	8.5	22,994	18.7	29,538	12.0	100-	
別府市(男性)	19	0.5	310	9.0	1,048	22.0	1,377	11.3	95.1	0.062
県(男性)	194	0.7	3,670	10.5	12,603	22.5	16,467	14.1	100-	
別府市(女性)	21	0.5	222	5.7	939	14.0	1,182	8.2	89.1	0.000
県(女性)	151	0.6	2,529	6.7	10,391	15.6	13,071	10.1	100-	

R3年度	0～39歳		40～64歳		65～74歳		(合計) 0～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	39	0.6	542	7.4	2,110	18.6	2,691	10.6	90.8	0.000
県	397	0.8	6,276	8.9	24,991	20.1	31,664	13.0	100-	
別府市(男性)	22	0.6	322	9.3	1,121	23.8	1,465	12.6	95.8	0.102
県(男性)	219	0.9	3,730	11.0	13,649	24.1	17,598	15.2	100-	
別府市(女性)	17	0.5	220	5.7	989	15.0	1,226	8.9	87.8	0.000
県(女性)	178	0.7	2,546	7.0	11,342	16.7	14,066	11.0	100-	

R4年度	0～39歳		40～64歳		65～74歳		(合計) 0～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	36	0.5	569	7.9	2,059	19.1	2,664	10.6	91.6	0.000
県	348	0.7	6,245	9.2	24,644	20.4	31,237	13.2	100-	
別府市(男性)	22	0.6	348	10.2	1,093	24.5	1,463	12.8	96.8	0.222
県(男性)	188	0.8	3,709	11.3	13,542	24.8	17,439	15.6	100-	
別府市(女性)	14	0.4	221	5.8	966	15.3	1,201	8.8	88.3	0.000
県(女性)	160	0.7	2,536	7.3	11,102	16.8	13,798	11.1	100-	

図表44	指標 1 ② 糖尿病有病率（5月診療分）	出典	「地区統計情報－生活習慣病の状況（厚 労省様式3-1～7）」
データ分析 の結果	糖尿病有病率は、平成30年度以降、県の有病率より低く推移しており、令和4年度の有病率は、 県13.2%に対して、別府市は10.6%と2.6%低い。		

※標準化比：平成30年度の県の割合を100とした場合の標準化比

0-74歳合計

全体	H30			R1			R2			R3			R4		
	人数	割合	標準化 比	人数	割合	標準化 比	人数	割合	標準化 比	人数	割合	標準化 比	人数	割合	標準化 比
別府市	2,979	10.1	92.6	2,862	10.3	92.4	2,559	9.6	84.4	2,691	10.6	89.5	2,664	10.6	92.0
県	32,996	12.4	100	32,163	12.6	99.5	29,538	12.0	92.6	31,664	13.0	98.4	31,237	13.2	100.2
別府市(男性)	1,587	11.9	96.5	1,527	12.0	96.9	1,377	11.3	89.2	1,465	12.6	95.3	1,463	12.8	99.0
県(男性)	18,207	14.5	100	17,689	14.6	99.4	16,467	14.1	93.7	17,598	15.2	99.4	17,439	15.6	102.1
別府市(女性)	1,392	8.7	90.8	1,335	8.8	90.1	1,182	8.2	81.4	1,226	8.9	85.3	1,201	8.8	86.7
県(女性)	14,789	10.6	100	14,474	10.7	99.7	13,071	10.1	91.2	14,066	11.0	97.0	13,798	11.1	98.0

図表45	指標11① 特定健康診査受診者のうち、 HbA1c6.5以上の者の割合	出典	「地区統計情報－有所見者の状況（厚労省様式5-2）_年齢階層別」
データ分析の結果	令和4年度の65歳～74歳のHbA1c6.5以上該当者割合は、男性16.7%と県16.3%より0.4%高くなっている。		

H30年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	133	7.1	709	13.2	842	11.6	117.7	0.000
県	1,226	6.2	6,152	11.2	7,378	9.9	100-	
別府市(男性)	88	12.1	393	18.9	481	17.2	129.0	0.000
県(男性)	719	9.0	3,433	14.8	4,152	13.3	100-	
別府市(女性)	45	3.9	316	9.6	361	8.1	109.6	0.085
県(女性)	507	4.3	2,719	8.5	3,226	7.4	100-	

R1年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	114	6.8	619	13.3	733	11.6	116.6	0.000
県	1,142	6.5	5,812	11.1	6,954	10.0	100-	
別府市(男性)	63	9.5	334	18.1	397	15.8	121.3	0.000
県(男性)	660	9.0	3,220	14.6	3,880	13.2	100-	
別府市(女性)	51	5.1	285	10.1	336	8.8	115.2	0.010
県(女性)	482	4.7	2,592	8.6	3,074	7.6	100-	

R2年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	92	6.6	537	13.1	629	11.4	107.9	0.060
県	987	6.7	5,424	11.9	6,411	10.6	100-	
別府市(男性)	49	9.2	271	17.1	320	15.2	106.9	0.246
県(男性)	605	9.8	3,051	15.7	3,656	14.3	100-	
別府市(女性)	43	5.0	266	10.5	309	9.1	114.7	0.017
県(女性)	382	4.4	2,373	9.1	2,755	7.9	100-	

R3年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	89	5.8	470	11.4	559	9.9	95.4	0.278
県	1,014	6.5	5,477	11.7	6,491	10.4	100-	
別府市(男性)	53	8.4	265	16.4	318	14.2	101.1	0.868
県(男性)	613	9.3	3,126	15.8	3,739	14.2	100-	
別府市(女性)	36	4.0	205	8.2	241	7.1	92.3	0.227
県(女性)	401	4.5	2,351	8.7	2,752	7.7	100-	

R4年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	89	6.1	436	11.2	525	9.8	92.5	0.078
県	1,005	6.5	5,476	12.1	6,481	10.6	100	0
別府市(男性)	54	9.1	253	16.7	307	14.6	101.7	0.793
県(男性)	617	9.3	3,126	16.3	3,743	14.5	100	0
別府市(女性)	35	4.1	183	7.6	218	6.7	86.1	0.029
県(女性)	388	4.4	2,350	9.0	2,738	7.8	100	0

図表46	指標11② 特定健康診査受診者のうち、 HbA1c6.5以上の者の割合	出典	「地区統計情報－有所見者の状況（厚労省様式5-2）_年齢階層別」
データ分析の結果	HbA1c6.5以上該当者割合は、平成30年度から令和2年度までは、県より高くなっていたが、令和3年度以降県より低くなっていた。別府市の令和4年度のHbA1c6.5以上該当者標準化比は99.3で県の標準化比107.0より7.7低くなっていた。		

※標準化比：平成30年度の県の割合を100とした場合の標準化比

40-74歳合計

全体	H30			R1			R2			R3			R4		
	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比
別府市	842	11.6	117.7	733	11.6	117.2	629	11.4	114.9	559	9.9	100.2	525	9.8	99.3
県	7,378	9.9	100.0	6,954	10.0	100.3	6,411	10.6	106.4	6,491	10.4	104.6	6,481	10.6	107.0
別府市(男性)	481	17.2	129.0	397	15.8	119.5	320	15.2	113.7	318	14.2	107.4	307	14.6	110.4
県(男性)	4,152	13.3	100.0	3,880	13.2	98.4	3,656	14.3	106.6	3,739	14.2	106.1	3,743	14.5	108.6
別府市(女性)	361	8.1	109.6	336	8.8	118.2	309	9.1	121.5	241	7.1	94.9	218	6.7	90.1
県(女性)	3,226	7.4	100.0	3,074	7.6	102.1	2,755	7.9	105.4	2,752	7.7	102.1	2,738	7.8	104.3

図表47	指標12① 特定健康診査受診者のうち、 HbA1c8.0以上の者の割合	出典	「地区統計情報－有所見者の状況（厚労省様式5-2）_年齢階層別」
データ分析の結果	令和4年度では、40～64歳女性のHbA1c8.0以上該当者割合は0.7%と県0.6%より0.1%高く、65歳～74歳の該当者割合は、全体、男女で県と同等または高くなっている。		

H30年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	35	1.9	86	1.6	121	1.7	141.9	0.000
県	245	1.2	637	1.2	882	1.2	100	-
別府市(男性)	27	3.7	59	2.8	86	3.1	172.7	0.000
県(男性)	167	2.1	387	1.7	554	1.8	100	-
別府市(女性)	8	0.7	27	0.8	35	0.8	105.4	0.823
県(女性)	78	0.7	250	0.8	328	0.8	100	-

R1年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	20	1.2	57	1.2	77	1.2	102.7	0.857
県	233	1.3	595	1.1	828	1.2	100	-
別府市(男性)	16	2.4	39	2.1	55	2.2	123.9	0.130
県(男性)	153	2.1	368	1.7	521	1.8	100	-
別府市(女性)	4	0.4	18	0.6	22	0.6	76.6	0.247
県(女性)	80	0.8	227	0.8	307	0.8	100	-

R2年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	25	1.8	61	1.5	86	1.6	124.1	0.052
県	211	1.4	554	1.2	765	1.3	100	-
別府市(男性)	16	3.0	37	2.3	53	2.5	131.5	0.054
県(男性)	135	2.2	355	1.8	490	1.9	100	-
別府市(女性)	9	1.1	24	0.9	33	1.0	124.8	0.239
県(女性)	76	0.9	199	0.8	275	0.8	100	-

R3年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	19	1.2	48	1.2	67	1.2	101.2	0.972
県	195	1.3	529	1.1	724	1.2	100	-
別府市(男性)	11	1.7	30	1.9	41	1.8	103.3	0.899
県(男性)	133	2.0	328	1.7	461	1.7	100	-
別府市(女性)	8	0.9	18	0.7	26	0.8	104.1	0.915
県(女性)	62	0.7	201	0.7	263	0.7	100	-

R4年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	17	1.2	47	1.2	64	1.2	105.8	0.699
県	185	1.2	504	1.1	689	1.1	100	-
別府市(男性)	11	1.9	26	1.7	37	1.8	102.2	0.960
県(男性)	128	1.9	318	1.7	446	1.7	100	-
別府市(女性)	6	0.7	21	0.9	27	0.8	120.4	0.390
県(女性)	57	0.6	186	0.7	243	0.7	100	-

図表48	指標12② 特定健康診査受診者のうち、 HbA1c8.0以上の者の割合	出典	「地区統計情報－有所見者の状況（厚労省様式5-2）_年齢階層別」
データ分析の結果	特定健診受診者でHbA1c8.0以上該当者割合は、平成30年度以降、県と同等又は高くなっており、より値が悪い人が多い状況であった。 別府市の令和4年度のHbA1c8.0以上該当者標準化比は101.2で県の標準化比96.0より5.2高く、年度によって増減はあるものの、常に県の標準化比より高い。		

※標準化比：平成30年度の県の割合を100とした場合の標準化比

40-74歳合計

全体	H30			R1			R2			R3			R4		
	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比
別府市	121	1.7	141.9	77	1.2	103.5	86	1.6	133.2	67	1.2	100.4	64	1.2	101.2
県	882	1.2	100	828	1.2	100.8	765	1.3	107.8	724	1.2	98.7	689	1.1	96.0
別府市(男性)	86	3.1	172.7	55	2.2	123.3	53	2.5	142.1	41	1.8	102.1	37	1.8	98.1
県(男性)	554	1.8	100	521	1.8	99.6	490	1.9	108.6	461	1.7	98.7	446	1.7	97.1
別府市(女性)	35	0.8	105.4	22	0.6	77.3	33	1.0	130.5	26	0.8	102.4	27	0.8	111.3
県(女性)	328	0.8	100	307	0.8	101.4	275	0.8	105.3	263	0.7	97.6	243	0.7	92.5

図表49	指標21① 特定健康診査受診者でHbA1c6.5%以上の者のうち、糖尿病の治療を受けている者の割合	出典	保険者データヘルス支援システム 自由作表
データ分析の結果	令和4年度の65～74歳の特定健康診査受診者でHbA1c6.5%以上の者のうち、糖尿病の治療を受けている者の該当者割合は、全体、男女で県より低くなっている。		

H30年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	121	79.1	609	82.7	730	82.1	95.5	0.223
県	1,076	80.5	5,565	86.9	6,641	85.8	100	-
別府市(男性)	79	79.0	344	84.3	423	83.3	97.1	0.564
県(男性)	637	80.8	3,104	86.6	3,741	85.6	100	-
別府市(女性)	42	79.2	265	80.8	307	80.6	93.3	0.235
県(女性)	439	80.0	2,461	87.3	2,900	86.1	100	-

R1年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	102	82.3	533	82.9	635	82.8	95.9	0.300
県	1,006	81.1	5,267	87.1	6,273	86.1	100	-
別府市(男性)	53	81.5	294	84.5	347	84.0	97.1	0.600
県(男性)	578	81.1	2,947	87.4	3,525	86.3	100	-
別府市(女性)	49	83.1	239	81.0	288	81.4	94.6	0.360
県(女性)	428	81.2	2,320	86.8	2,748	85.8	100	-

R2年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	84	80.8	471	83.5	555	83.1	97.1	0.500
県	881	81.6	4,865	86.2	5,746	85.4	100	-
別府市(男性)	46	80.7	243	83.8	289	83.3	97.8	0.724
県(男性)	531	80.5	2,751	86.0	3,282	85.1	100	-
別府市(女性)	38	80.9	228	83.2	266	82.9	96.3	0.556
県(女性)	350	83.3	2,114	86.3	2,464	85.9	100	-

R3年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	77	77.0	424	85.1	501	83.8	98.1	0.681
県	918	81.4	4,930	86.2	5,848	85.4	100	-
別府市(男性)	47	75.8	237	83.5	284	82.1	96.4	0.559
県(男性)	557	81.6	2,823	86.0	3,380	85.2	100	-
別府市(女性)	30	78.9	187	87.4	217	86.1	100.2	0.992
県(女性)	361	81.1	2,107	86.6	2,468	85.7	100	-

R4年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	81	83.5	376	80.9	457	81.3	95.6	0.350
県	901	81.3	4,890	85.6	5,791	84.9	100	-
別府市(男性)	48	77.4	223	81.4	271	80.7	95.1	0.427
県(男性)	550	80.3	2,804	85.6	3,354	84.7	100	-
別府市(女性)	33	94.3	153	80.1	186	82.3	96.3	0.633
県(女性)	351	83.0	2,086	85.7	2,437	85.3	100	-

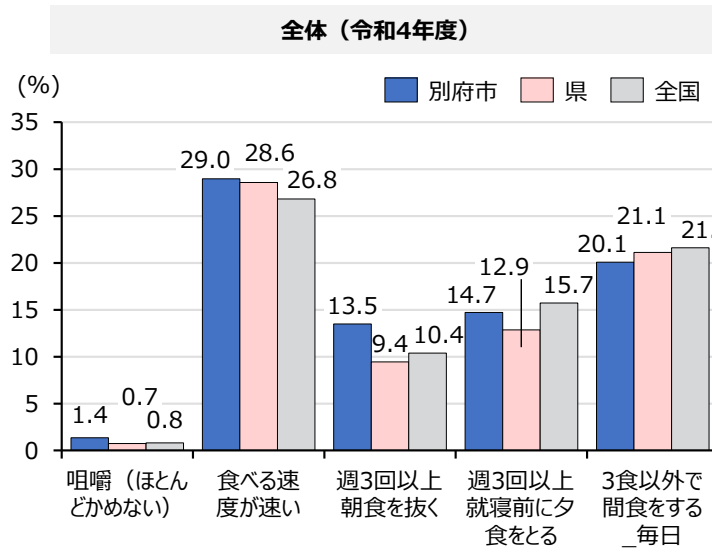
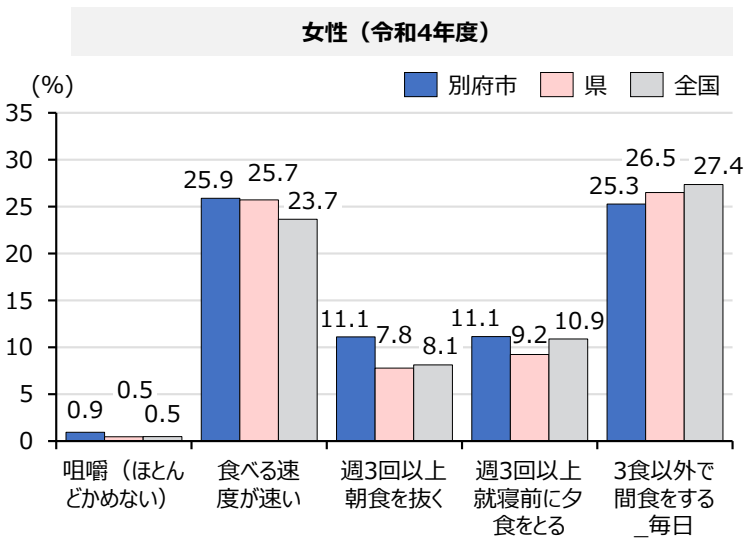
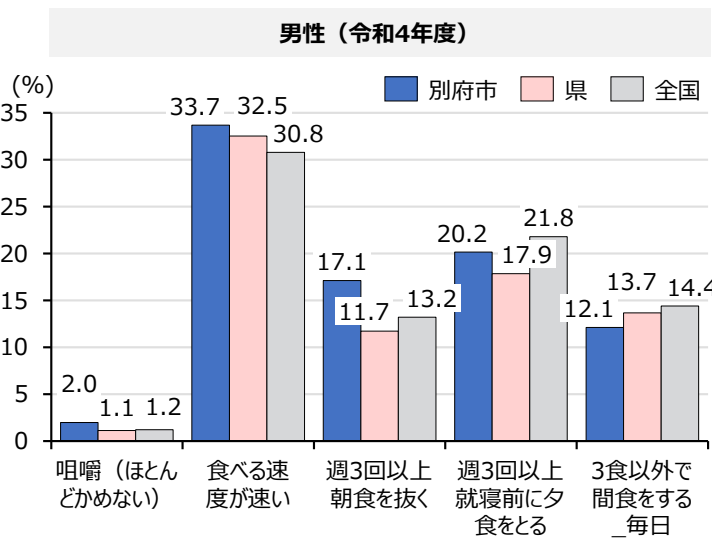
図表50	指標21② 特定健康診査受診者でHbA1c6.5%以上の者のうち、糖尿病の治療を受けている者の割合	出典	保険者データヘルス支援システム 自由作表
データ分析の結果	特定健診受診者でHbA1c6.5%以上のうち糖尿病の治療を受けている者の該当者割合は、平成30年度以降常に県の該当者割合より低く、令和4年度では、別府市は81.3%と県84.9%より3.6%低い。		

※標準化比：平成30年度の県の割合を100とした場合の標準化比

40-74歳合計

全体	H30			R1			R2			R3			R4		
	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比
別府市	730	82.1	95.5	635	82.8	96.0	555	83.1	96.3	501	83.8	97.2	457	81.3	94.3
県	6,641	85.8	100	6,273	86.1	100.2	5,746	85.4	99.2	5,848	85.4	99.2	5,791	84.9	98.6
別府市(男性)	423	83.3	97.1	347	84.0	97.6	289	83.3	96.9	284	82.1	95.6	271	80.7	93.8
県(男性)	3,741	85.6	100	3,525	86.3	100.7	3,282	85.1	99.1	3,380	85.2	99.3	3,354	84.7	98.6
別府市(女性)	307	80.6	93.3	288	81.4	95.6	266	82.9	95.6	217	86.1	99.5	186	82.3	95.0
県(女性)	2,900	86.1	100	2,748	85.8	99.3	2,464	85.9	99.3	2,468	85.7	99.2	2,437	85.3	98.6

図表51	特定健康診査 問診の状況（食事）	出典	KDB_S21_007_質問票調査の状況【平成30年度～令和4年度】
データ分析の結果	<p>県と比較すると、男女ともに「人と比べて食べる速度が速い」「朝食を抜くことが週に3回以上ある」「週3回以上就寝前2時間以内に夕食をとる」と回答した割合が高かった。</p> <p>平成30年度から令和4年度の経年で見ると、「夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上ある」が1.2%増、「朝食を抜くことが週に3回以上ある」が1.4%増となっている。</p> <p>「朝食を抜くことが週に3回以上ある」「人と比べて食べる速度が速い」と回答した割合は女性よりも男性の方が高い。</p> <p>「人と比べて食べる速度が速い」と回答した者の割合は男性33.7%、女性25.9%、全体29.0%と、男性は県32.5%より1.2%高く、全国30.8%より2.9%高い。女性は県25.7%より0.2%高く、全国23.7%より2.2%高い。全体は、県28.6%より0.4%高く、全国26.8%より2.2%高い。</p> <p>「朝食を抜くことが週に3回以上ある」と回答した者の割合は男性17.1%、女性11.1%、全体13.5%と、男性は県11.7%より5.4%高く、全国13.2%より3.9%高い。女性は県7.8%より3.3%高く、全国8.1%より3.0%高い。全体は、県9.4%より4.1%高く、全国10.4%より3.1%高い。</p> <p>「週3回以上就寝前2時間以内に夕食をとる」と回答した者の割合は男性20.2%、女性11.1%、全体14.7%と、男性は県17.9%より2.3%高い。女性は県9.2%より1.9%高く、全国10.9%より0.2%高くなっている。全体は県12.9%より1.8%高かった。</p>		



問診の状況（経年推移） 単位：%

有所見		H30	R1	R2	R3	R4	H30-R4
		割合	割合	割合	割合	割合	増減
咀嚼（ほとんどかめない）	全体	1.9	2.0	2.1	2.1	1.4	-0.5
	男	2.8	2.4	2.6	3.0	2.0	-0.8
	女	1.3	1.7	1.8	1.5	0.9	-0.4
食べる速度が速い	全体	31.1	30.3	30.2	30.1	29.0	-2.1
	男	35.2	33.7	33.2	32.8	33.7	-1.5
	女	28.5	28.1	28.3	28.2	25.9	-2.6
週3回以上朝食を抜く	全体	12.1	12.0	12.3	13.4	13.5	1.4
	男	16.0	16.1	15.6	17.3	17.1	1.1
	女	9.6	9.3	10.3	10.8	11.1	1.5
週3回以上就寝前に夕食をとる	全体	15.9	16.1	14.7	14.7	14.7	-1.2
	男	20.9	22.5	19.8	20.7	20.2	-0.7
	女	12.7	11.8	11.6	10.8	11.1	-1.6
3食以外で間食をする_毎日	全体	18.9	19.5	19.3	20.3	20.1	1.2
	男	12.5	11.8	12.2	13.5	12.1	-0.4
	女	22.9	24.6	23.7	24.9	25.3	2.4

図表52	指標22① 【栄養・食事】週3回以上就寝前2時間以内に夕食をとる人の割合	出典	「地区統計情報－質問票調査の状況（年齢階層別）」
データ分析の結果	平成30年度以降、週3回以上就寝前2時間以内に夕食をとる人の該当者割合は、全体、男女すべてで各年代県の該当者割合を上回っている。		

H30年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	403	21.8	714	13.6	1,117	15.7	120.7	0.000
県	3,188	17.4	5,820	11.3	9,008	12.9	100	-
別府市(男性)	205	28.5	367	18.1	572	20.8	114.8	0.001
県(男性)	1,872	25.3	3,340	15.5	5,212	18.0	100	-
別府市(女性)	198	17.6	347	10.8	545	12.5	132.9	0.000
県(女性)	1,316	12.1	2,480	8.3	3,796	9.3	100	-

R1年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	373	22.5	632	13.7	1,005	16.0	121.0	0.000
県	2,874	17.6	5,585	11.5	8,459	13.0	100	-
別府市(男性)	205	31.0	356	19.4	561	22.4	122.3	0.000
県(男性)	1,667	24.4	3,314	16.1	4,981	18.2	100	-
別府市(女性)	168	16.9	276	9.9	444	11.7	124.1	0.000
県(女性)	1,207	12.7	2,271	8.1	3,478	9.3	100	-

R2年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	304	22.0	499	12.2	803	14.7	114.9	0.000
県	2,434	17.4	4,768	11.1	7,202	12.6	100	-
別府市(男性)	163	30.8	260	16.5	423	20.1	112.7	0.015
県(男性)	1,411	24.3	2,844	15.6	4,255	17.7	100	-
別府市(女性)	141	16.6	239	9.5	380	11.3	124.3	0.000
県(女性)	1,023	12.5	1,924	7.8	2,947	8.9	100	-

R3年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	325	21.4	493	12.1	818	14.6	113.6	0.000
県	2,735	18.0	4,976	10.9	7,711	12.6	100	-
別府市(男性)	184	29.5	276	17.3	460	20.8	114.7	0.003
県(男性)	1,611	25.1	2,977	15.4	4,588	17.8	100	-
別府市(女性)	141	15.7	217	8.8	358	10.6	116.4	0.004
県(女性)	1,124	12.8	1,999	7.6	3,123	8.9	100	-

R4年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	329	22.8	446	11.6	775	14.6	114.2	0.000
県	2,775	18.1	4,801	10.7	7,576	12.6	100	-
別府市(男性)	180	30.6	238	16.0	418	20.1	111.9	0.023
県(男性)	1,624	24.8	2,896	15.4	4,520	17.8	100	-
別府市(女性)	149	17.4	208	8.8	357	11.1	122.6	0.000
県(女性)	1,151	13.1	1,905	7.4	3,056	8.8	100	-

図表53	指標22② 【栄養・食事】週3回以上就寝前2時間以内に夕食をとる人の割合	出典	「地区統計情報－質問票調査の状況（年齢階層別）」
データ分析の結果	週3回以上就寝2時間前に夕食をとる人の該当者割合は、令和4年度で14.6%と県12.6%より2.0%高く、平成30年度以降全体、男女すべてで常に県より高い。		

※標準化比：平成30年度の県の割合を100とした場合の標準化比

40-74歳合計

全体	H30			R1			R2			R3			R4		
	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比
別府市	1,117	15.7	120.7	1,005	16.0	122.1	803	14.7	112.1	818	14.6	110.2	775	14.6	110.3
県	9,008	12.9	100	8,459	13.0	101.1	7,202	12.6	97.6	7,711	12.6	97.1	7,576	12.6	96.7
別府市(男性)	572	20.8	114.8	561	22.4	123.1	423	20.1	110.9	460	20.8	112.9	418	20.1	109.5
県(男性)	5,212	18.0	100	4,981	18.2	101.2	4,255	17.7	98.6	4,588	17.8	98.8	4,520	17.8	98.2
別府市(女性)	545	12.5	132.9	444	11.7	124.2	380	11.3	119.0	358	10.6	110.1	357	11.1	115.3
県(女性)	3,796	9.3	100	3,478	9.3	99.8	2,947	8.9	95.6	3,123	8.9	94.0	3,056	8.8	93.7

図表54	指標24① 【栄養・食事】人と比べて食べる速度が 速い人の割合	出典	「地区統計情報－質問票調査の状況（年 齢階層別）」
データ分析 の結果	令和4年度の人と比べて食べる速度が速い人の該当者割合は、全体、男女すべてで各年代県の 該当者割合を上回っている。		

H30年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	651	35.2	1,561	29.7	2,212	31.1	103.7	0.093
県	6,401	33.2	15,662	28.9	22,063	30.1	100	-
別府市(男性)	297	41.3	674	33.2	971	35.3	102.3	0.486
県(男性)	3,108	39.9	7,413	32.6	10,521	34.5	100	-
別府市(女性)	354	31.4	887	27.5	1,241	28.5	106.2	0.034
県(女性)	3,293	28.7	8,249	26.3	11,542	26.9	100	-

R1年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	559	33.8	1,348	29.1	1,907	30.4	101.7	0.480
県	5,704	33.0	14,721	28.8	20,425	29.8	100	-
別府市(男性)	254	38.4	588	32.0	842	33.7	98.8	0.747
県(男性)	2,878	39.9	6,923	32.0	9,801	33.9	100	-
別府市(女性)	305	30.7	760	27.3	1,065	28.2	105.2	0.102
県(女性)	2,826	28.0	7,798	26.5	10,624	26.9	100	-

R2年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	475	34.4	1,174	28.7	1,649	30.2	102.4	0.336
県	4,756	32.7	12,664	28.3	17,420	29.4	100	-
別府市(男性)	218	41.1	482	30.6	700	33.3	99.7	0.949
県(男性)	2,365	39.3	5,935	31.3	8,300	33.2	100	-
別府市(女性)	257	30.3	692	27.5	949	28.2	106.2	0.067
県(女性)	2,391	28.1	6,729	26.2	9,120	26.6	100	-

R3年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	499	32.8	1,176	28.9	1,675	30.0	104.0	0.115
県	4,923	32.3	12,659	27.6	17,582	28.8	100	-
別府市(男性)	230	36.9	495	31.1	725	32.7	100.1	0.998
県(男性)	2,483	38.6	5,892	30.5	8,375	32.5	100	-
別府市(女性)	269	29.9	681	27.5	950	28.2	108.4	0.014
県(女性)	2,440	27.7	6,767	25.5	9,207	26.1	100	-

R4年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	482	33.4	1,060	27.5	1,542	29.1	102.2	0.393
県	4,978	32.5	12,077	27.0	17,055	28.4	100	-
別府市(男性)	242	41.2	461	31.0	703	33.9	104.5	0.251
県(男性)	2,608	39.9	5,579	29.6	8,187	32.2	100	-
別府市(女性)	240	28.0	599	25.3	839	26.0	101.8	0.610
県(女性)	2,370	27.0	6,498	25.2	8,868	25.6	100	-

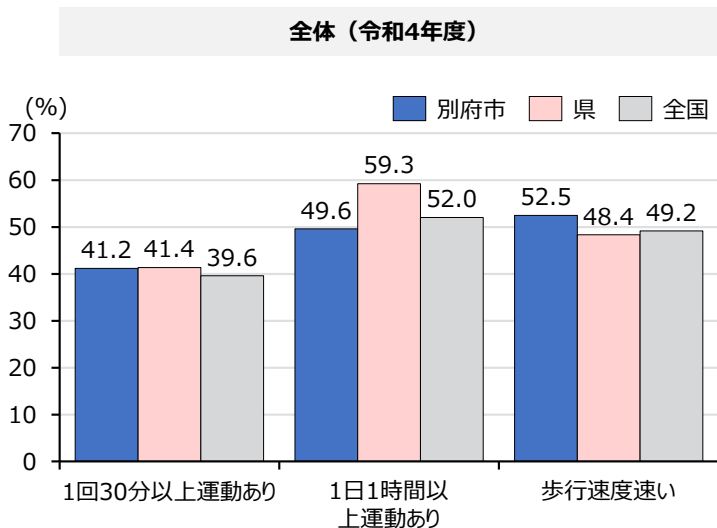
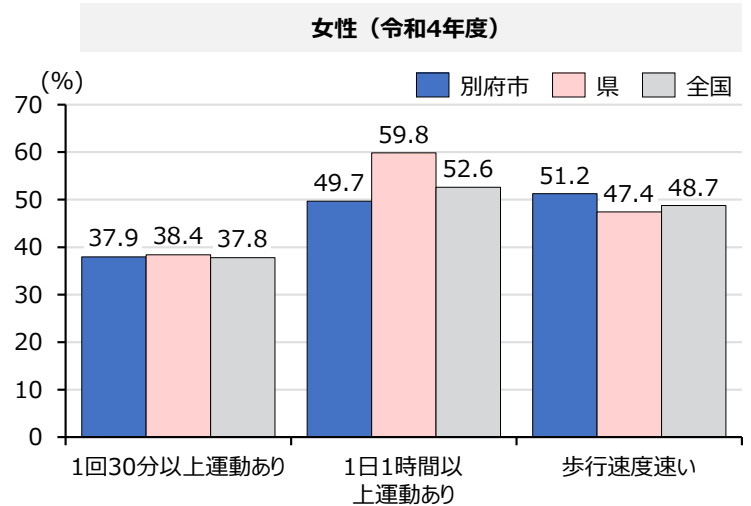
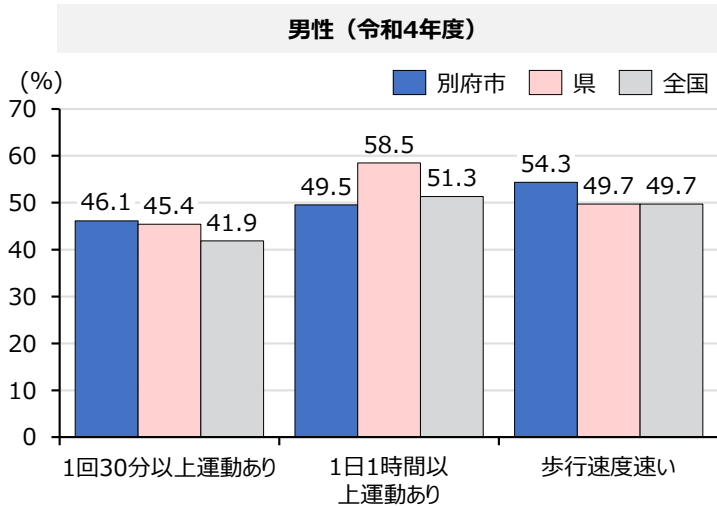
図表55	指標24② 【栄養・食事】人と比べて食べる速度が 速い人の割合	出典	「地区統計情報－質問票調査の状況（年 齢階層別）」
データ分析 の結果	人と比べて食べる速度が速い人の該当者割合は、平成30年度以降常に県より高く、令和4年度 は29.1%と県28.4%より、0.7%高い。		

※標準化比：平成30年度の県の割合を100とした場合の標準化比

40－74歳合計

全体	H30			R1			R2			R3			R4		
	人数	割合	標準化 比	人数	割合	標準化 比	人数	割合	標準化 比	人数	割合	標準化 比	人数	割合	標準化 比
別府市	2,212	31.1	103.7	1,907	30.4	101.2	1,649	30.2	100.7	1,675	30.0	99.9	1,542	29.1	96.9
県	22,063	30.1	100	20,425	29.8	99.6	17,420	29.4	98.3	17,582	28.8	96.1	17,055	28.4	94.8
別府市(男性)	971	35.3	102.3	842	33.7	97.4	700	33.3	96.6	725	32.7	94.6	703	33.9	97.8
県(男性)	10,521	34.5	100	9,801	33.9	98.6	8,300	33.2	96.8	8,375	32.5	94.5	8,187	32.2	93.5
別府市(女性)	1,241	28.5	106.2	1,065	28.2	105.2	949	28.2	105.7	950	28.2	105.6	839	26.0	97.4
県(女性)	11,542	26.9	100	10,624	26.9	100.1	9,120	26.6	99.6	9,207	26.1	97.5	8,868	25.6	95.8

図表56	特定健康診査 問診の状況（運動）	出典	KDB_S21_007_質問票調査の状況【平成30年度～令和4年度】
データ分析の結果	<p>運動習慣の質問票回答のうち、平成30年度から令和4年度の経年で増減が大きい項目は、女性の「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い」が2.2%減、女性の「1回30分以上の軽汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施」が2.1%減となっている。</p> <p>「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施」と回答した者の割合は男性49.5%、女性49.7%、全体49.6%と、男性は県58.5%より9.0%低く、全国51.3%より1.8%低い。女性は県59.8%より10.1%低く、全国52.6%より2.9%低い。全体は、県59.3%より9.7%低く、全国52.0%より2.4%低い。</p>		



質問票の状況（経年推移）

単位：%

有所見		H30	R1	R2	R3	R4	H30-R4
		割合	割合	割合	割合	割合	増減
1回30分以上運動あり	全体	42.4	43.1	42.6	41	41.2	-1.2
	男性	46.1	46.0	48.2	45.5	46.1	0
	女性	40.0	41.2	39.1	38.0	37.9	-2.1
1日1時間以上運動あり	全体	48.8	49.2	49.5	48.9	49.6	0.8
	男性	49.3	48.6	50.6	49.5	49.5	0.2
	女性	48.4	49.7	48.9	48.5	49.7	1.3
歩行速度速い	全体	53.8	54.0	53.3	52.5	52.5	-1.3
	男性	54.4	54.4	54.2	54.3	54.3	-0.1
	女性	53.4	53.7	52.8	51.4	51.2	-2.2

図表57	指標25① 【運動】日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施する人の割合	出典	「地区統計情報－質問票調査の状況（年齢階層別）」
データ分析の結果	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施する人の該当者割合は、平成30年度以降、全体、男女すべてで各年代常に県より低い。		

H30年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	819	44.3	2,654	50.4	3,473	48.8	80.4	0.000
県	10,959	56.9	33,572	62.0	44,531	60.7	100	-
別府市(男性)	321	44.6	1,036	50.9	1,357	49.3	81.8	0.000
県(男性)	4,432	56.9	13,902	61.2	18,334	60.1	100	-
別府市(女性)	498	44.1	1,618	50.1	2,116	48.6	79.4	0.000
県(女性)	6,527	56.9	19,670	62.6	26,197	61.1	100	-

R1年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	759	45.8	2,342	50.5	3,101	49.3	82.0	0.000
県	9,933	57.4	31,171	60.9	41,104	60.0	100	-
別府市(男性)	298	45.0	920	49.9	1,218	48.6	81.9	0.000
県(男性)	4,093	56.7	13,024	60.1	17,117	59.3	100	-
別府市(女性)	461	46.4	1,422	50.9	1,883	49.7	81.9	0.000
県(女性)	5,840	57.9	18,147	61.5	23,987	60.6	100	-

R2年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	611	44.3	2,101	51.3	2,712	49.6	82.5	0.000
県	8,257	56.7	27,305	61.1	35,562	60.0	100	-
別府市(男性)	231	43.6	837	53.2	1,068	50.8	85.5	0.000
県(男性)	3,357	55.7	11,466	60.4	14,823	59.3	100	-
別府市(女性)	380	44.8	1,264	50.2	1,644	48.8	80.5	0.000
県(女性)	4,900	57.5	15,839	61.6	20,739	60.6	100	-

R3年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	712	46.7	2,027	49.9	2,739	49.0	82.1	0.000
県	8,706	57.0	27,725	60.5	36,431	59.6	100	-
別府市(男性)	291	46.6	806	50.7	1,097	49.5	84.0	0.000
県(男性)	3,672	57.0	11,523	59.6	15,195	58.9	100	-
別府市(女性)	421	46.8	1,221	49.3	1,642	48.7	80.9	0.000
県(女性)	5,034	57.0	16,202	61.2	21,236	60.1	100	-

R4年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	641	44.4	1,988	51.6	2,629	49.6	82.7	0.000
県	8,863	57.9	27,132	60.7	35,995	60.0	100	-
別府市(男性)	268	45.6	759	51.0	1,027	49.5	83.7	0.000
県(男性)	3,776	57.7	11,217	59.4	14,993	59.0	100	-
別府市(女性)	373	43.6	1,229	51.9	1,602	49.7	81.9	0.000
県(女性)	5,087	58.0	15,915	61.6	21,002	60.7	100	-

図表58	指標25② 【運動】日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施する人の割合	出典	「地区統計情報－質問票調査の状況（年齢階層別）」
データ分析の結果	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施する人の該当者割合は、平成30年度以降、常に県より低く、令和4年度は49.6%と県60.0%より、10.4%低い。		

※標準化比：平成30年度の県の割合を100とした場合の標準化比

40-74歳合計

全体	H30			R1			R2			R3			R4		
	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比
別府市	3,473	48.8	80.4	3,101	49.3	81.0	2,712	49.6	81.3	2,739	49.0	80.4	2,629	49.6	81.5
県	44,531	60.7	100	41,104	60.0	98.7	35,562	60.0	98.5	36,431	59.6	97.8	35,995	60.0	98.5
別府市(男性)	1,357	49.3	81.8	1,218	48.6	80.7	1,068	50.8	84.0	1,097	49.5	82.1	1,027	49.5	82.0
県(男性)	18,334	60.1	100	17,117	59.3	98.4	14,823	59.3	98.2	15,195	58.9	97.6	14,993	59.0	97.7
別府市(女性)	2,116	48.6	79.4	1,883	49.7	81.1	1,644	48.8	79.6	1,642	48.7	79.4	1,602	49.7	81.1
県(女性)	26,197	61.1	100	23,987	60.6	99.0	20,739	60.6	98.8	21,236	60.1	98.1	21,002	60.7	99.0

図表59	指標26① 【運動】1回30分以上、週2日以上、1年以上運動を実施している人の割合	出典	「地区統計情報－質問票調査の状況（年齢階層別）」
データ分析の結果	令和4年度の1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人の該当者割合は全体でみると各年代県より低くなっており、特に女性の該当者割合が低かった。		

H30年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	567	30.7	2,455	46.6	3,022	42.5	99.6	0.820
県	5,866	30.3	25,438	46.8	31,304	42.5	100-	
別府市(男性)	244	33.9	1,028	50.5	1,272	46.2	101.6	0.582
県(男性)	2,577	32.9	11,318	49.6	13,895	45.4	100-	
別府市(女性)	323	28.6	1,427	44.2	1,750	40.1	98.8	0.619
県(女性)	3,289	28.6	14,120	44.8	17,409	40.5	100-	

R1年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	545	32.9	2,171	46.8	2,716	43.2	101.7	0.389
県	5,324	30.6	23,862	46.4	29,186	42.4	100-	
別府市(男性)	230	34.7	924	50.1	1,154	46.1	102.5	0.405
県(男性)	2,392	33.0	10,680	49.1	13,072	45.0	100-	
別府市(女性)	315	31.7	1,247	44.6	1,562	41.2	101.5	0.553
県(女性)	2,932	29.0	13,182	44.5	16,114	40.5	100-	

R2年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	444	32.2	1,892	46.2	2,336	42.7	100.2	0.935
県	4,465	30.7	20,716	46.4	25,181	42.5	100-	
別府市(男性)	189	35.7	828	52.6	1,017	48.3	104.5	0.165
県(男性)	2,059	34.2	9,517	50.2	11,576	46.3	100-	
別府市(女性)	255	30.1	1,064	42.2	1,319	39.2	98.1	0.492
県(女性)	2,406	28.2	11,199	43.6	13,605	39.8	100-	

R3年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	460	30.2	1,846	45.4	2,306	41.3	98.4	0.454
県	4,692	30.7	21,000	45.8	25,692	42.0	100-	
別府市(男性)	215	34.5	798	50.2	1,013	45.7	100.7	0.835
県(男性)	2,216	34.4	9,581	49.5	11,797	45.7	100-	
別府市(女性)	245	27.3	1,048	42.3	1,293	38.3	97.6	0.380
県(女性)	2,476	28.1	11,419	43.1	13,895	39.3	100-	

R4年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	444	30.7	1,738	45.1	2,182	41.2	98.0	0.348
県	4,828	31.5	20,440	45.7	25,268	42.1	100.0-	
別府市(男性)	214	36.4	748	50.3	962	46.3	101.9	0.564
県(男性)	2,289	35.0	9,305	49.3	11,594	45.6	100.0-	
別府市(女性)	230	26.9	990	41.8	1,220	37.9	95.9	0.151
県(女性)	2,539	29.0	11,135	43.1	13,674	39.5	100.0-	

図表60	指標26② 【運動】1回30分以上、週2日以上、1年以上運動を実施している人の割合	出典	「地区統計情報－質問票調査の状況（年齢階層別）」
データ分析の結果	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人の該当者割合は、平成30年度42.5%で県と同等であったが、令和4年度は41.2%と減少しており、県42.1%より低くなっている。		

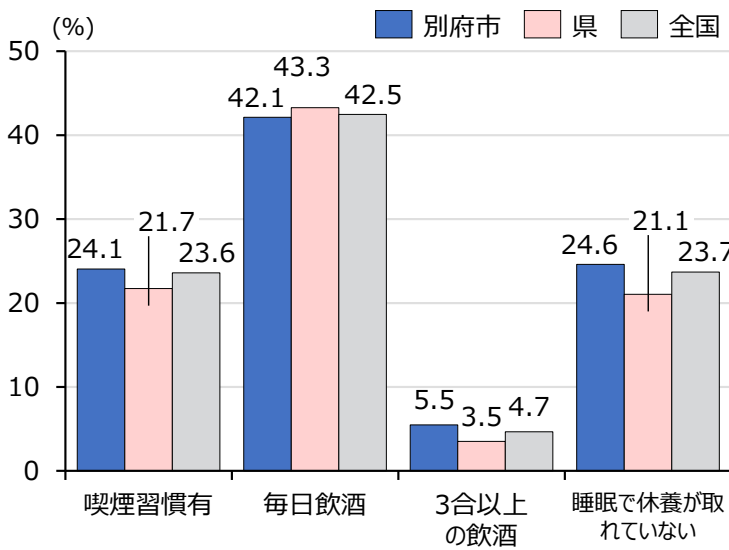
※標準化比：平成30年度の県の割合を100とした場合の標準化比

40-74歳合計

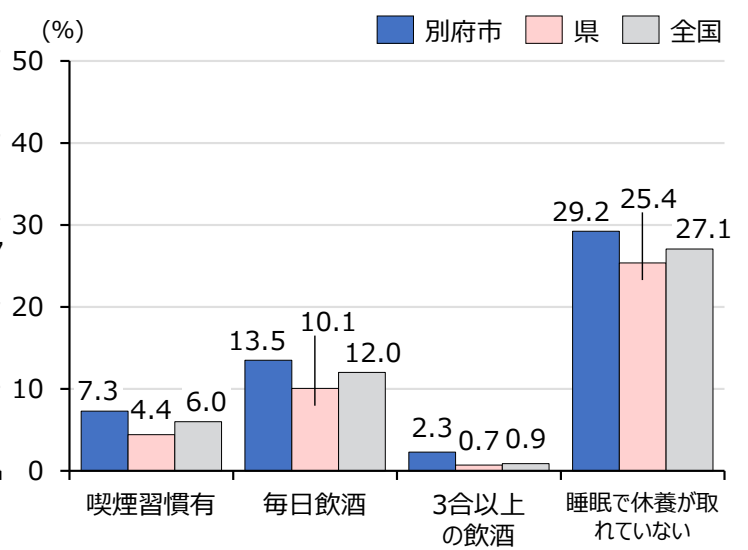
全体	H30			R1			R2			R3			R4		
	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比
別府市	3,022	42.5	99.6	2,716	43.2	100.8	2,336	42.7	99.1	2,306	41.3	96.5	2,182	41.2	96.3
県	31,304	42.5	100.0	29,186	42.4	99.1	25,181	42.5	98.8	25,692	42.0	97.8	25,268	42.1	98.1
別府市(男性)	1,272	46.2	101.6	1,154	46.1	101.2	1,017	48.3	105.4	1,013	45.7	100.7	962	46.3	102.0
県(男性)	13,895	45.4	100.0	13,072	45.0	98.8	11,576	46.3	100.8	11,797	45.7	99.8	11,594	45.6	99.8
別府市(女性)	1,750	40.1	98.8	1,562	41.2	101.0	1,319	39.2	95.5	1,293	38.3	94.0	1,220	37.9	92.9
県(女性)	17,409	40.5	100.0	16,114	40.5	99.3	13,605	39.8	97.0	13,895	39.3	96.1	13,674	39.5	96.7

図表61	特定健康診査 問診の状況（喫煙、飲酒、睡眠）	出典	KDB_S21_007_質問票調査の状況【平成30年度～令和4年度】
データ分析の結果	<p>「現在、たばこを習慣的に吸っている」と回答した者の割合は男性24.1%、女性7.3%、全体13.9%と男性は県21.7%より2.4%高く、全国23.6%より0.5%高い。女性は県4.4%より2.9%高く、全国6.0%より1.3%高い。全体は、県11.7%より2.2%高く、全国13.8%より0.1%高い。</p> <p>「お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度_毎日」と回答した女性の割合は13.5%と県10.1%より3.4%高く、全国12.0%と比較して1.5%高い。全体で見ると、24.8%と県24.0%より0.8%高い。</p> <p>「飲酒日の1日当たりの飲酒量_3合以上」と回答した者の割合は男性5.5%、女性2.3%、全体4.0%と男性は県3.5%より2.0%高く、全国4.7%より0.8%高い。女性は県0.7%より1.6%高く、全国0.9%より1.4%高い。全体は、県2.1%より1.9%高く、全国2.8%より1.2%高い。</p> <p>「睡眠で休養が十分とれている_いいえ」と回答した者の割合は男性24.6%、女性29.2%、全体27.4%と男性は県21.1%より3.5%高く、全国23.7%より0.9%高く、女性は県25.4%より3.8%高く、全国27.1%より2.1%高い。全体は、県23.6%より3.8%高く、全国25.6%より1.8%高い。</p> <p>その他の問診回答のうち、経年での増減が大きい項目は、女性の「お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度_毎日」が2.0%増と変化が大きくなっている。</p> <p>男性の「飲酒日の1日当たりの飲酒量_3合以上」「お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度_毎日」「現在、たばこを習慣的に吸っている」と回答した割合は男性が女性を大きく上回っている。</p>		

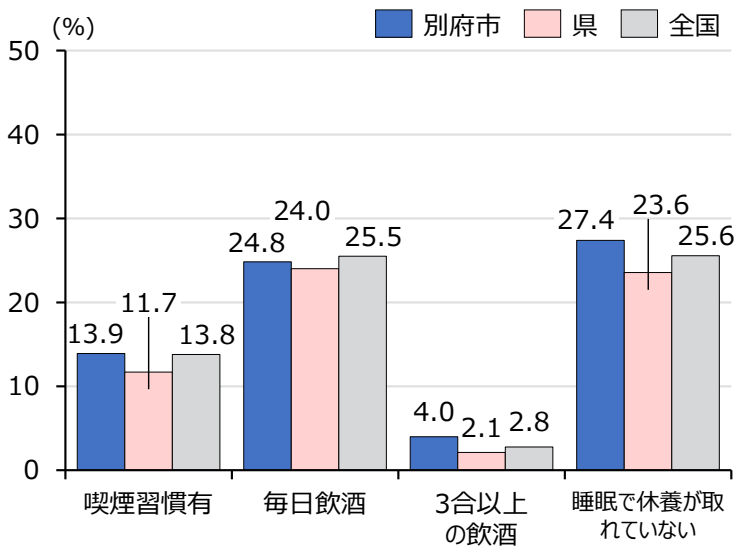
男性（令和4年度）



女性（令和4年度）



全体（令和4年度）



質問票の状況（経年推移）

単位：%

有所見		H30	R1	R2	R3	R4	H30-R4 増減
		割合	割合	割合	割合	割合	
喫煙習慣あり	全体	14.4	14.5	13.5	14.2	13.9	-0.5
	男性	24.7	24.7	22.5	24.4	24.1	-0.6
	女性	8.0	7.8	7.8	7.5	7.3	-0.7
毎日飲酒	全体	22.9	23.8	23.1	23.9	24.8	1.9
	男性	41.1	41.5	40.9	41.3	42.1	1
	女性	11.5	12.1	12	12.3	13.5	2
3合以上の飲酒	全体	2.8	2.5	3.3	3.9	4.0	1.2
	男性	3.7	3.6	4.4	5.4	5.5	1.8
	女性	1.8	1.5	2.1	1.9	2.3	0.5
睡眠不足で休息がとれていない	全体	28.9	27.1	27.1	27.2	27.4	-1.5
	男性	25.8	23.8	24.0	25.6	24.6	-1.2
	女性	30.9	29.3	29.0	28.3	29.2	-1.7

図表62	指標27① 【喫煙】たばこを習慣的に吸っている人の割合	出典	「地区統計情報－質問票調査の状況（年齢階層別）」
データ分析の結果	平成30年度以降、たばこを習慣的に吸っている人の該当者割合は、全体、男女すべてで各年代県より高かった。		

H30年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	388	20.6	658	12.3	1,046	14.4	121.1	0.000
県	3,400	17.3	5,520	10.0	8,920	11.9	100-	
別府市(男性)	239	32.8	456	22.0	695	24.8	110.0	0.013
県(男性)	2,503	31.4	4,548	19.6	7,051	22.6	100-	
別府市(女性)	149	12.9	202	6.1	351	7.9	182.9	0.000
県(女性)	897	7.7	972	3.0	1,869	4.3	100-	

R1年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	362	21.7	558	12.0	920	14.5	120.2	0.000
県	3,165	18.0	5,183	9.9	8,348	12.0	100-	
別府市(男性)	225	34.0	402	21.7	627	25.0	109.8	0.021
県(男性)	2,356	32.0	4,313	19.5	6,669	22.6	100-	
別府市(女性)	137	13.7	156	5.5	293	7.7	179.8	0.000
県(女性)	809	7.9	870	2.9	1,679	4.2	100-	

R2年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	286	20.7	457	11.1	743	13.5	116.9	0.000
県	2,586	17.5	4,337	9.5	6,923	11.5	100-	
別府市(男性)	168	31.7	312	19.7	480	22.7	105.9	0.215
県(男性)	1,878	30.5	3,586	18.5	5,464	21.4	100-	
別府市(女性)	118	13.8	145	5.7	263	7.8	181.9	0.000
県(女性)	708	8.2	751	2.9	1,459	4.2	100-	

R3年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	313	20.3	480	11.6	793	14.0	116.9	0.000
県	2,858	18.4	4,480	9.6	7,338	11.8	100-	
別府市(男性)	207	32.9	333	20.6	540	24.1	109.0	0.047
県(男性)	2,057	31.3	3,686	18.6	5,743	21.8	100-	
別府市(女性)	106	11.6	147	5.9	253	7.4	160.9	0.000
県(女性)	801	8.9	794	2.9	1,595	4.4	100-	

R4年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳		標準化 該当比	P値
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
別府市	296	20.4	446	11.4	742	13.8	116.2	0.000
県	2,812	18.1	4,357	9.6	7,169	11.8	100-	
別府市(男性)	193	32.6	311	20.5	504	23.9	109.1	0.055
県(男性)	2,044	30.8	3,586	18.7	5,630	21.8	100-	
別府市(女性)	103	12.0	135	5.6	238	7.3	162.4	0.000
県(女性)	768	8.7	771	2.9	1,539	4.4	100-	

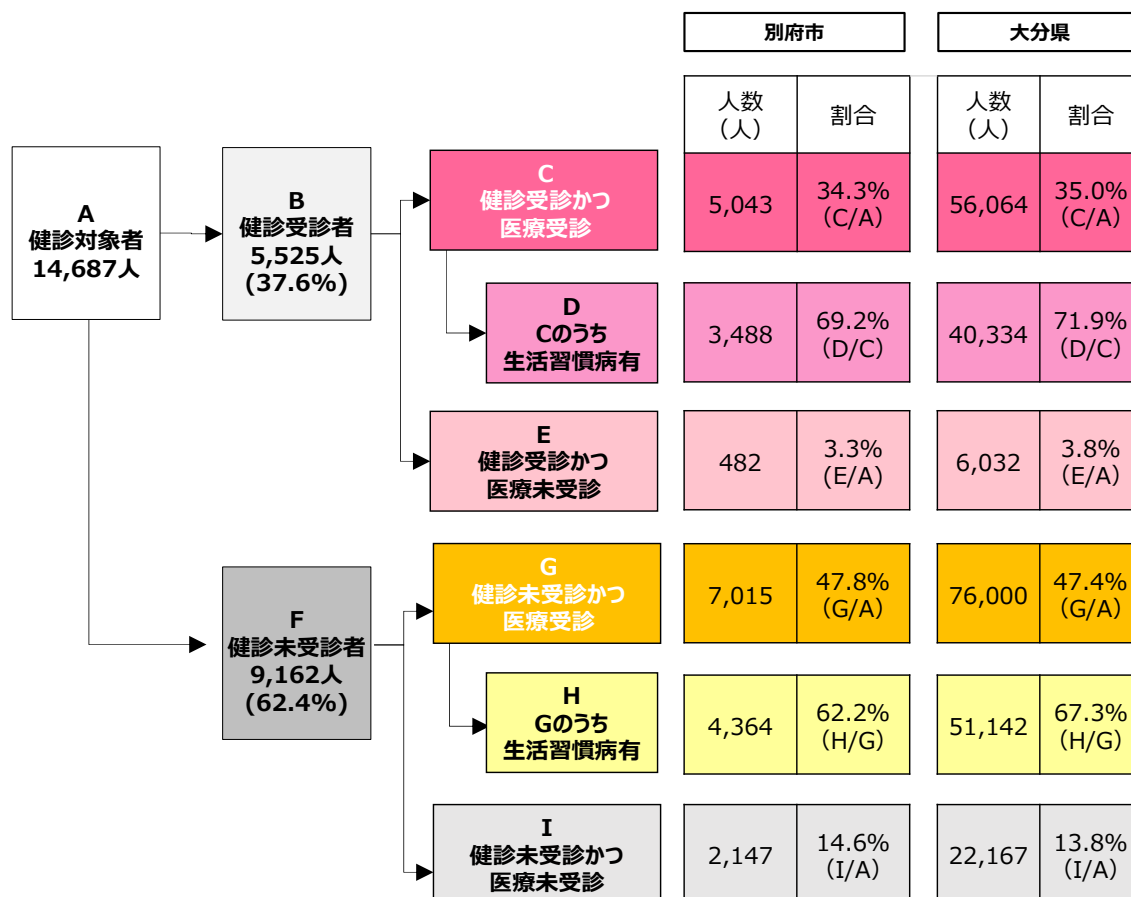
図表63	指標27② 【喫煙】たばこを習慣的に吸っている人の割合	出典	「地区統計情報－質問票調査の状況（年齢階層別）」
データ分析の結果	たばこを習慣的に吸っている人の該当者割合は、平成30年度以降、常に県より高く、令和4年度は13.8%と県11.8%より、2.0%高い。		

※標準化比：平成30年度の県の割合を100とした場合の標準化比

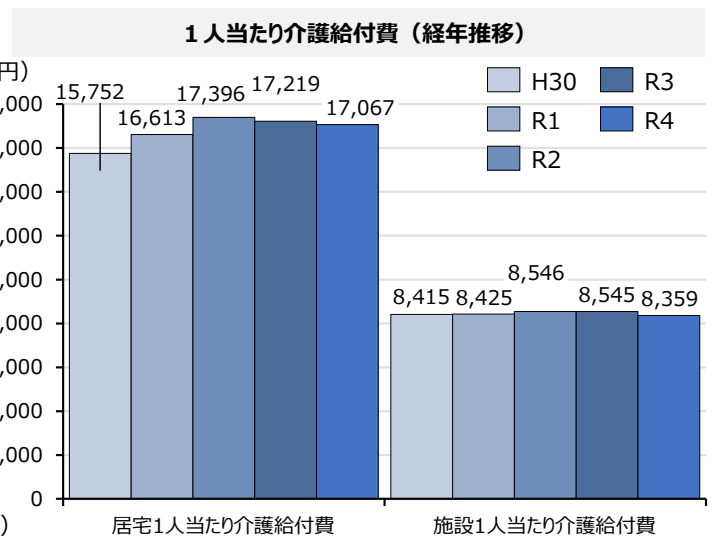
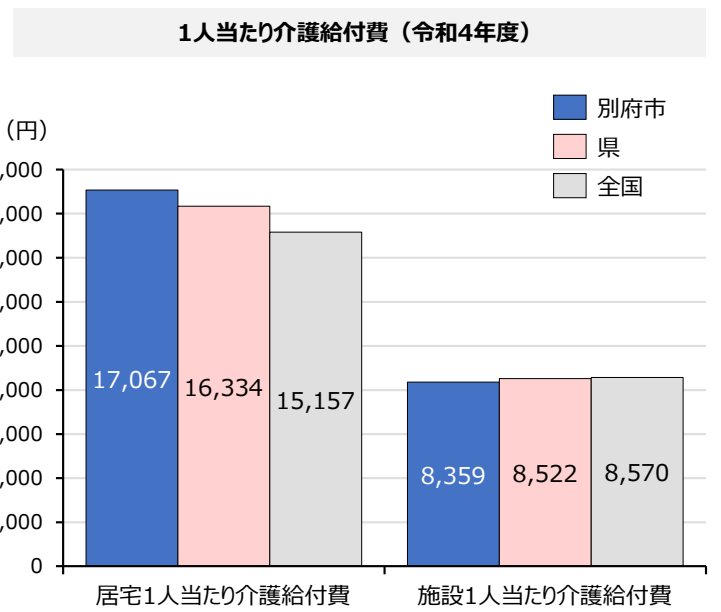
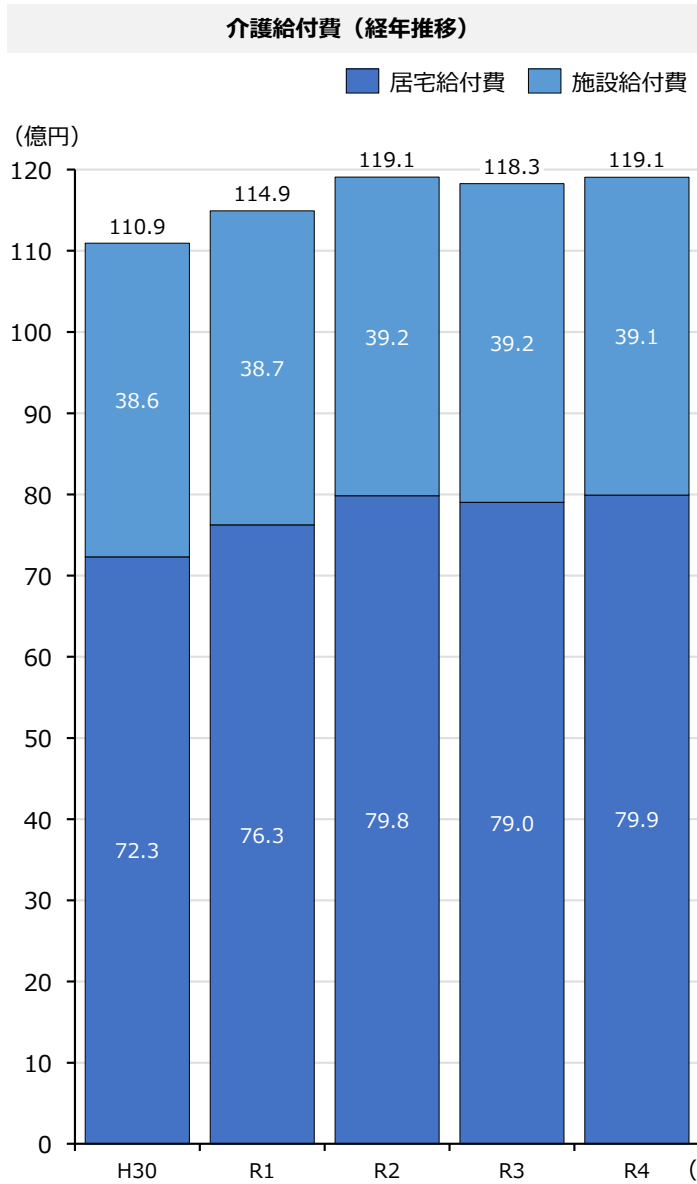
40－74歳合計

全体	H30			R1			R2			R3			R4		
	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比	人数	割合	標準化比
別府市	1,046	14.4	121.1	920	14.5	122.1	743	13.5	114.3	793	14.0	116.8	742	13.8	115.6
県	8,920	11.9	100	8,348	12.0	101.5	6,923	11.5	97.8	7,338	11.8	99.7	7,169	11.8	99.3
別府市(男性)	695	24.8	110.0	627	25.0	110.8	480	22.7	102.1	540	24.1	106.8	504	23.9	106.3
県(男性)	7,051	22.6	100	6,669	22.6	100.9	5,464	21.4	96.5	5,743	21.8	97.8	5,630	21.8	97.5
別府市(女性)	351	7.9	182.9	293	7.7	179.1	263	7.8	181.7	253	7.4	168.2	238	7.3	166.8
県(女性)	1,869	4.3	100	1,679	4.2	99.4	1,459	4.2	99.8	1,595	4.4	104.4	1,539	4.4	102.7

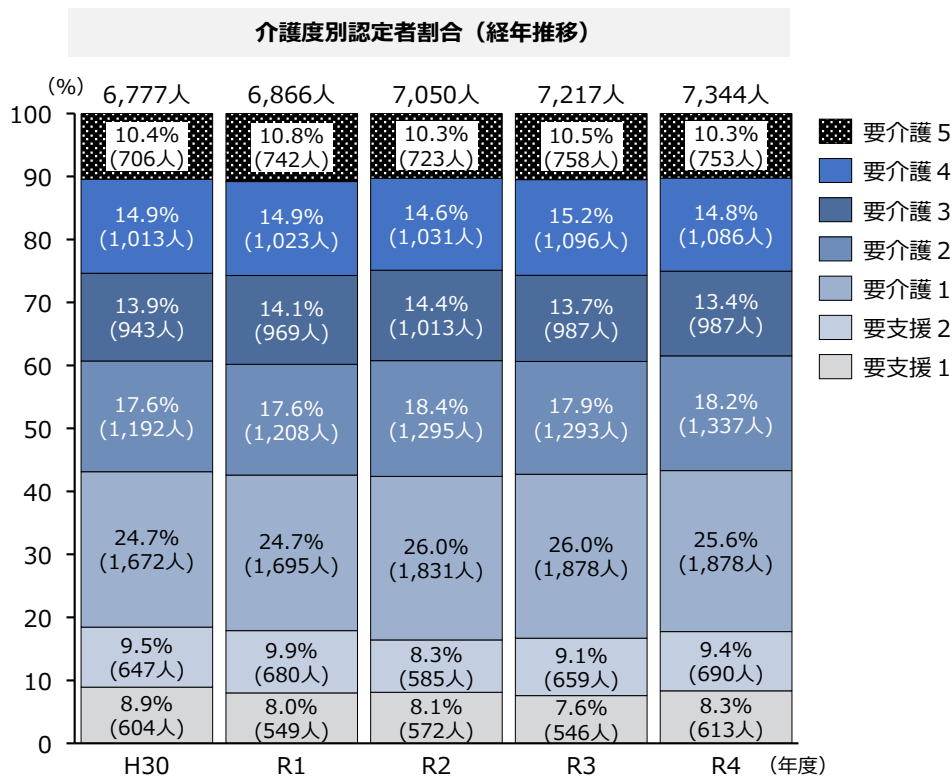
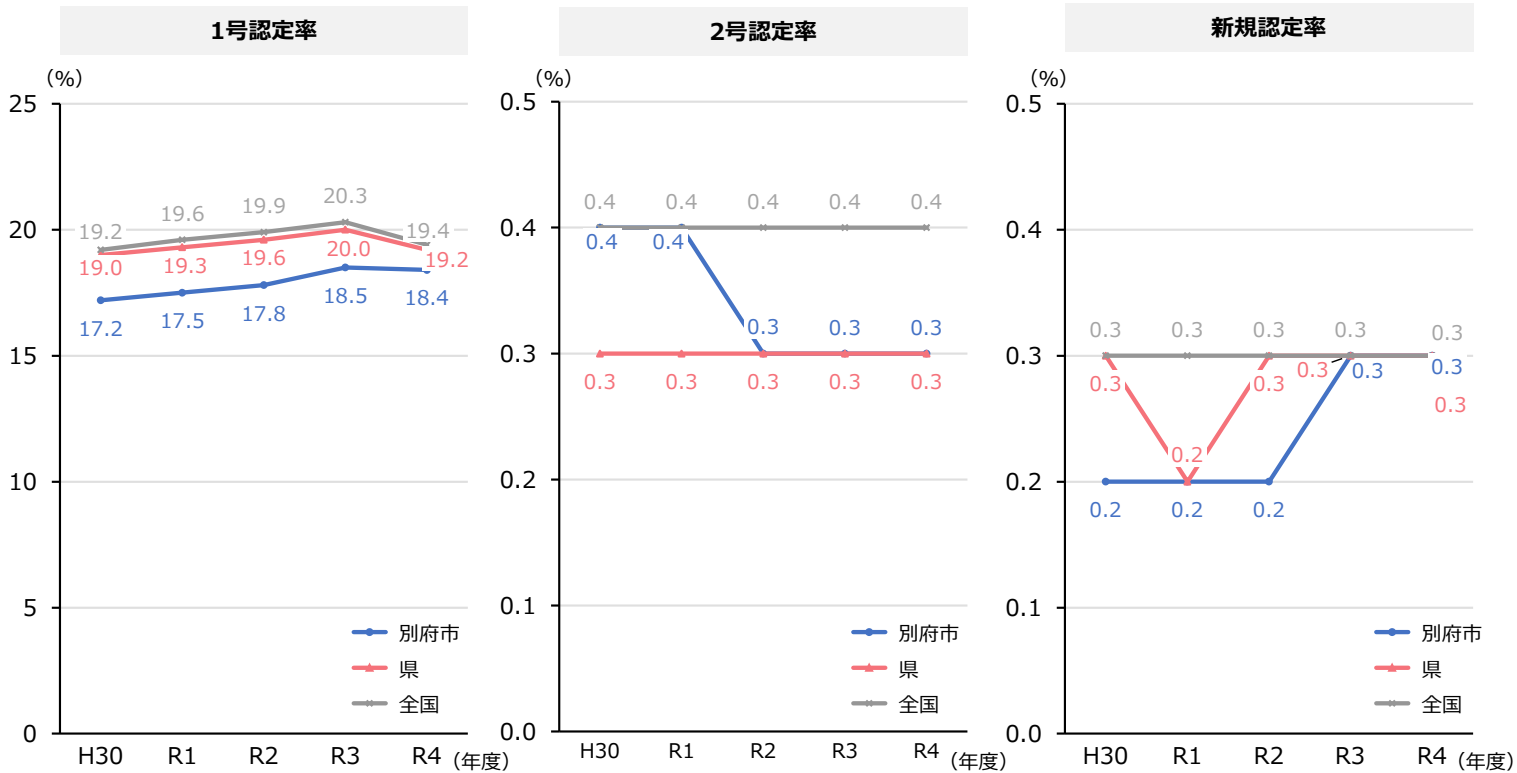
図表64	健診・レセプトの突合分析	出典	KDB_保健事業介入支援管理_医療機関受診と健診受診の関係表
データ分析の結果	<p>(C)健診受診者のうち医療受診がある人は5,043人・34.3%いる。 (G)健診未受診かつ医療機関での医療受診がある人は7,015人・47.8%いる。そのうち、(H)生活習慣病がある人は4,364人で、健診未受診かつ医療受診がある人のうち62.2%であった。 (I)診未受診かつ医療機関での医療未受診の人（健康状態不明者）は2,147名・14.6%で、県22,167人・13.8%と比較して0.8%高い。</p>		



図表65	介護給付費の状況	出典	KDB_S29_003_健康スコアリング（介護）【平成30年度～令和4年度】
データ分析の結果	介護給付費は令和4年度で約119.1億円と増加傾向となっており、居宅と施設の割合はおよそ2：1となっている。1人当たり介護給付費は居宅では県、全国と比較して高く、施設では県、全国より低くなっている。		

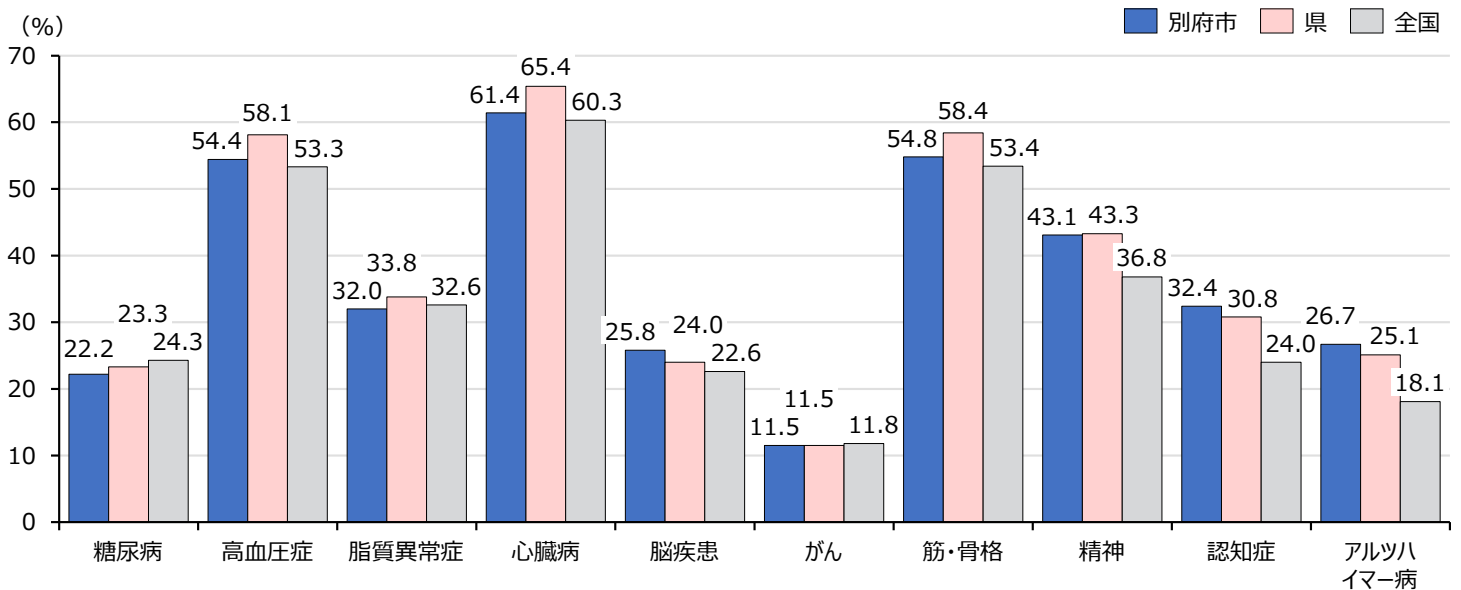


図表66	介護認定率、介護度別認定者数割合	出典	介護認定率：KDB_S21_001(地域の全体像の把握) / 介護度別認定率：KDB_S24_001(要介護(支援)者認定状況)
データ分析の結果	1号認定率は18.4%で、県19.2%、全国19.4%と比較して低い。介護認定者は7,344人で増加傾向であった。		



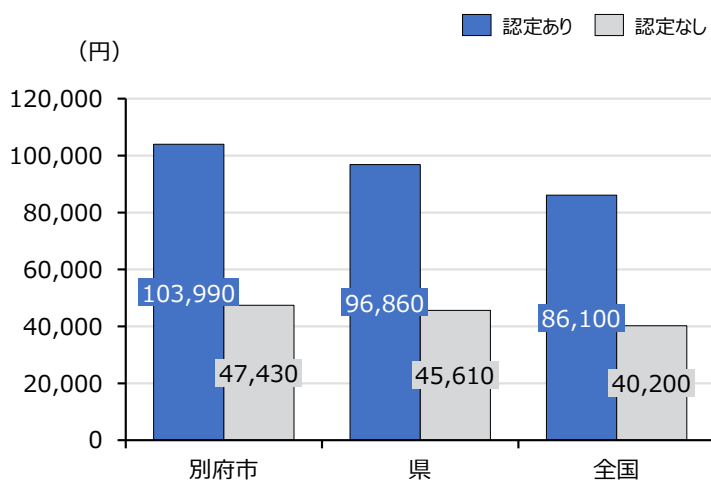
図表67	要介護認定者の状況	出典	KDB_S21_001_地域の全体像の把握【平成30年度～令和4年度】
データ分析の結果	介護認定者の有病状況は「心臓病」61.4%、「筋・骨格」54.8%、「高血圧症」54.4%、「精神」43.1%の順で高くなっている。 レセプト1件当たりの医療費は、「認定あり」が103,990円、「認定なし」が47,430円と2倍以上の差があった。		

有病状況（令和4年度）

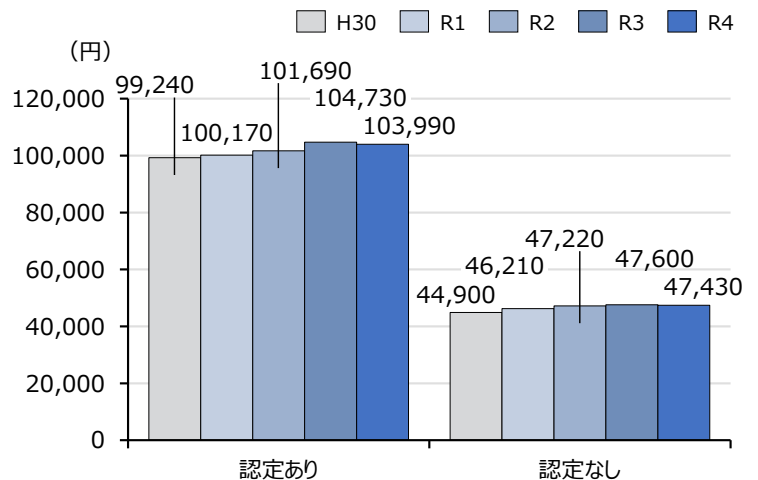


※有病状況「心臓病」は、「傷病関連コード一覧」の「5. レセプト表記区分の設定条件一覧」の「レセ表記_心臓病」を満たすレセプト（I01：心臓併発症を伴うリウマチ熱～I020：心臓併発症を伴うリウマチ性舞蹈病、I05～I09：慢性リウマチ性心疾患、I10～I15：高血圧性疾患、I20～I25：虚血性心疾患、I27：その他の肺性心疾患、I30～I52：その他の型の心疾患）を集計していることから、高血圧性疾患が含まれている。

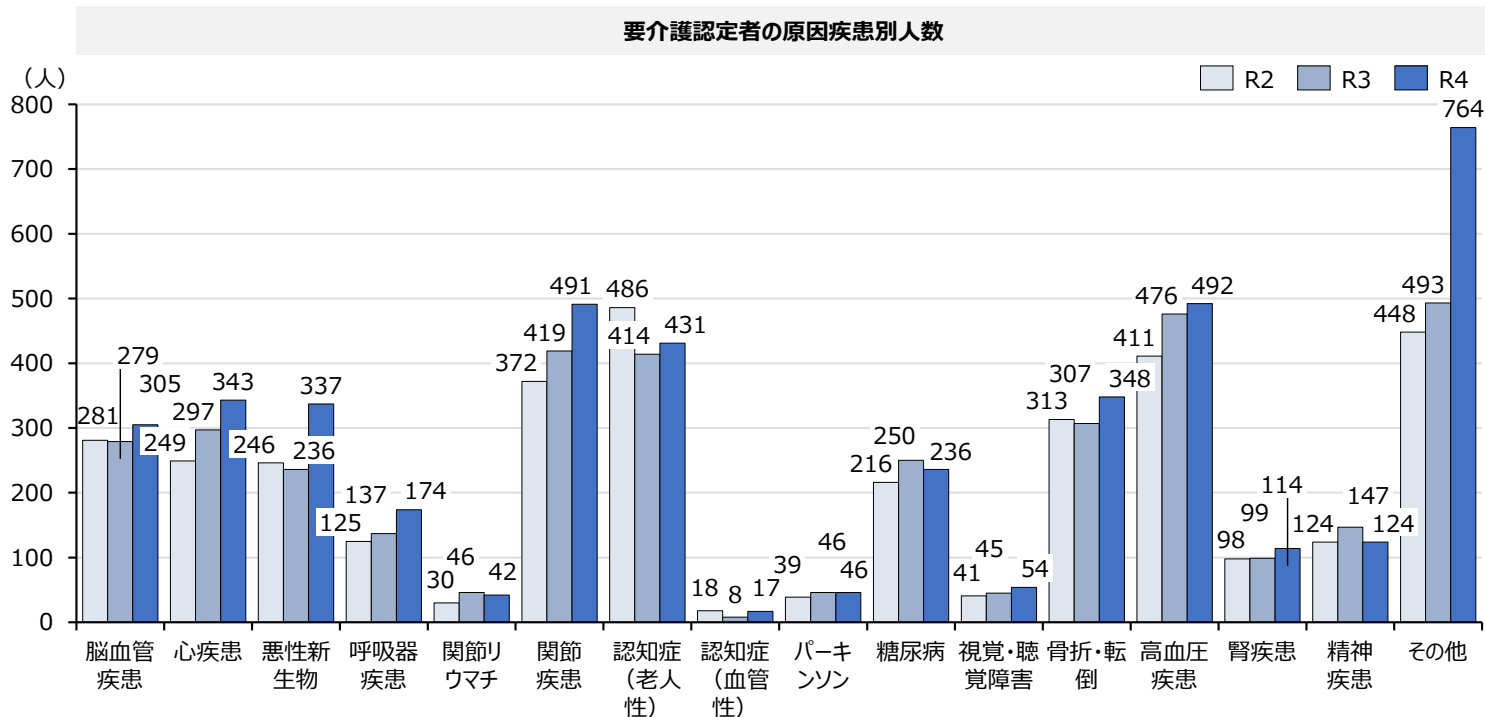
レセプト1件当たり医療費（令和4年度）



レセプト1件当たり医療費（経年推移）



図表68	要介護認定者の原因疾患別人数	出典	介護保険課集計データ
データ分析の結果	要介護新規認定者の原因疾患別人数は、令和4年度で「高血圧疾患」492人、「関節疾患」491人、「認知症（老人性）」431人の順に多かった。また「高血圧疾患」「脳血管疾患」「心疾患」の生活習慣病関連が原因疾患となっている人が増加傾向にある。		



	R2	R3	R4
要介護認定新規認定者	1,606人	1,060人	1,826人
診断名	診断数 (人)	診断数 (人)	診断数 (人)
脳血管疾患	281	279	305
心疾患	249	297	343
悪性新生物	246	236	337
呼吸器疾患	125	137	174
関節リウマチ	30	46	42
関節疾患	372	419	491
認知症（老人性）	486	414	431
認知症（血管性）	18	8	17
パーキンソン	39	46	46
糖尿病	216	250	236
視覚・聴覚障害	41	45	54
骨折・転倒	313	307	348
高血圧疾患	411	476	492
腎疾患	98	99	114
精神疾患	124	147	124
その他	448	493	764

図表69	指標 5 新規人工透析患者数	出典	「保健指導支援 新・とよ助 - 厚労省様式 4 検索 - 様式4-2 新規透析患者と健 診・保健指導の関係」
データ分析 の結果	新規人工透析患者数は平成30年度以降増減はあるものの平成30年度14人であったのに対し、令和4年度は19人と増加傾向である。		

H30年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
別府市	5	0.1	9	0.1	14	0.1
県	78	0.1	115	0.1	193	0.1
別府市(男性)	4	0.1	7	0.1	11	0.1
県(男性)	54	0.1	84	0.1	138	0.1
別府市(女性)	1	0.0	2	0.0	3	0.0
県(女性)	24	0.1	31	0.0	55	0.0

R1年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
別府市	2	0.0	7	0.1	9	0.0
県	74	0.1	120	0.1	194	0.1
別府市(男性)	2	0.1	3	0.1	5	0.1
県(男性)	54	0.1	82	0.1	136	0.1
別府市(女性)	0	0.0	4	0.1	4	0.0
県(女性)	20	0.0	38	0.1	58	0.1

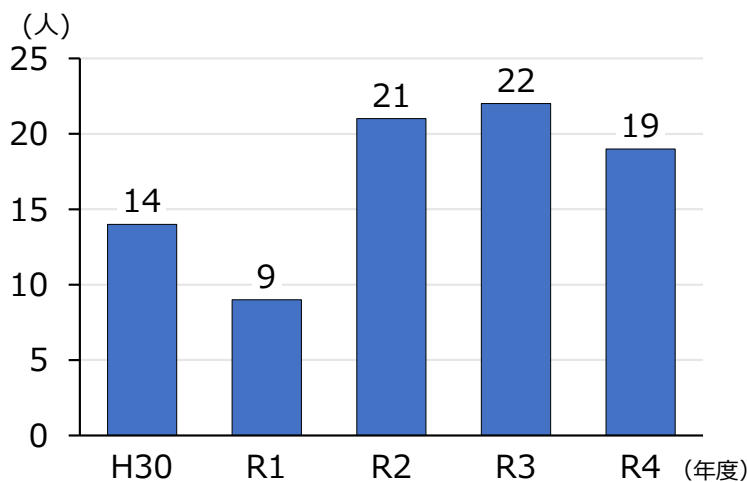
R2年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
別府市	9	0.1	12	0.1	21	0.1
県	85	0.1	142	0.1	227	0.1
別府市(男性)	7	0.2	7	0.1	14	0.2
県(男性)	68	0.2	107	0.2	175	0.2
別府市(女性)	2	0.1	5	0.1	7	0.1
県(女性)	17	0.0	35	0.1	52	0.0

R3年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
別府市	7	0.1	15	0.1	22	0.1
県	59	0.1	141	0.1	200	0.1
別府市(男性)	5	0.1	10	0.2	15	0.2
県(男性)	43	0.1	102	0.2	145	0.2
別府市(女性)	2	0.1	5	0.1	7	0.1
県(女性)	16	0.0	39	0.1	55	0.1

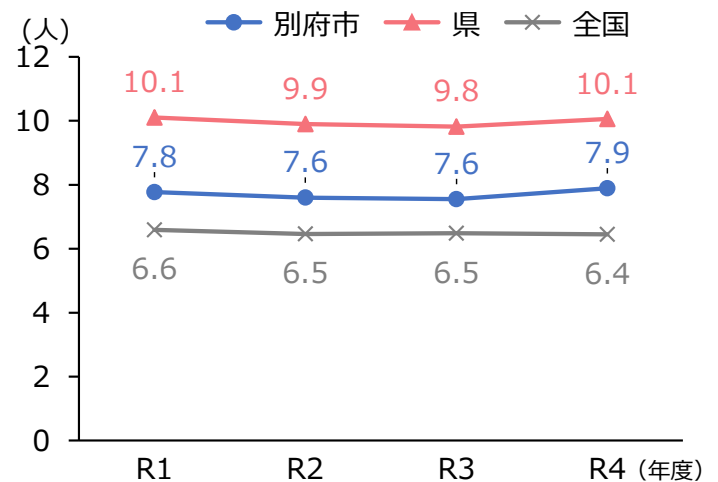
R4年度	40～64歳		65～74歳		(合計) 40～74歳	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
別府市	7	0.1	12	0.1	19	0.1
県	73	0.1	143	0.1	216	0.1
別府市(男性)	5	0.1	10	0.2	15	0.2
県(男性)	51	0.2	94	0.2	145	0.2
別府市(女性)	2	0.1	2	0.0	4	0.0
県(女性)	22	0.1	49	0.1	71	0.1

図表70	人工透析患者数①	出典	KDB_ S23_001_医療費分析(1)細小分類【平成30年度～令和4年度】
データ分析の結果	<p>新規人工透析患者数は平成30年度以降増減はあるものの平成30年度14人であったのに対して、令和4年度は19人と増加傾向である。</p> <p>※（H30：14人 R1：9人 R2：21人 R3：22人 R4：19人）</p> <p>患者千人当たり透析患者数は、ほぼ横ばい傾向で県より低く推移しているが、令和4年度7.9人と全国の6.4人よりも1.3人多くなっている。</p> <p>1件当たり医療費は経年でおおむね横ばいとなっているが、県、全国より高くなっている。</p>		

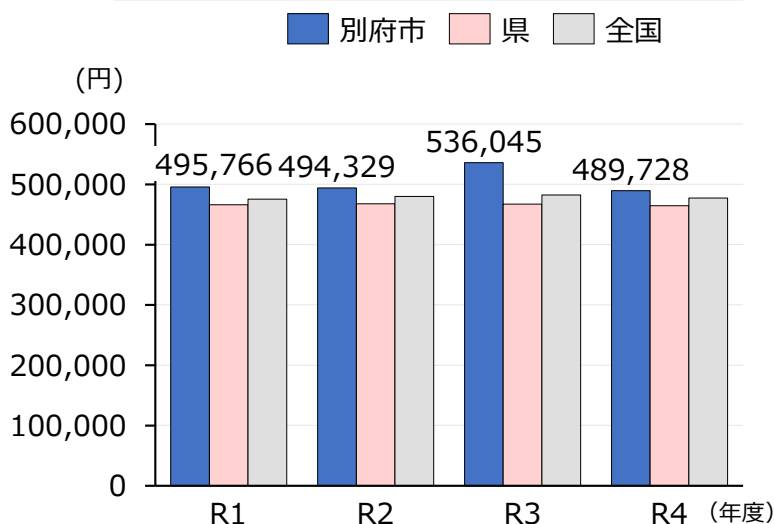
新規透析患者数（経年推移）



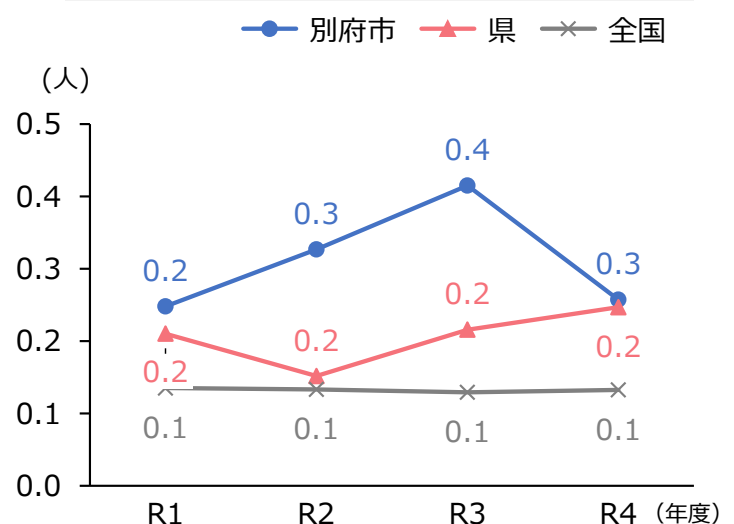
患者千人当たり透析患者数（経年推移）



1件当たり医療費（経年推移）



患者千人当たり新規透析患者数（経年推移）

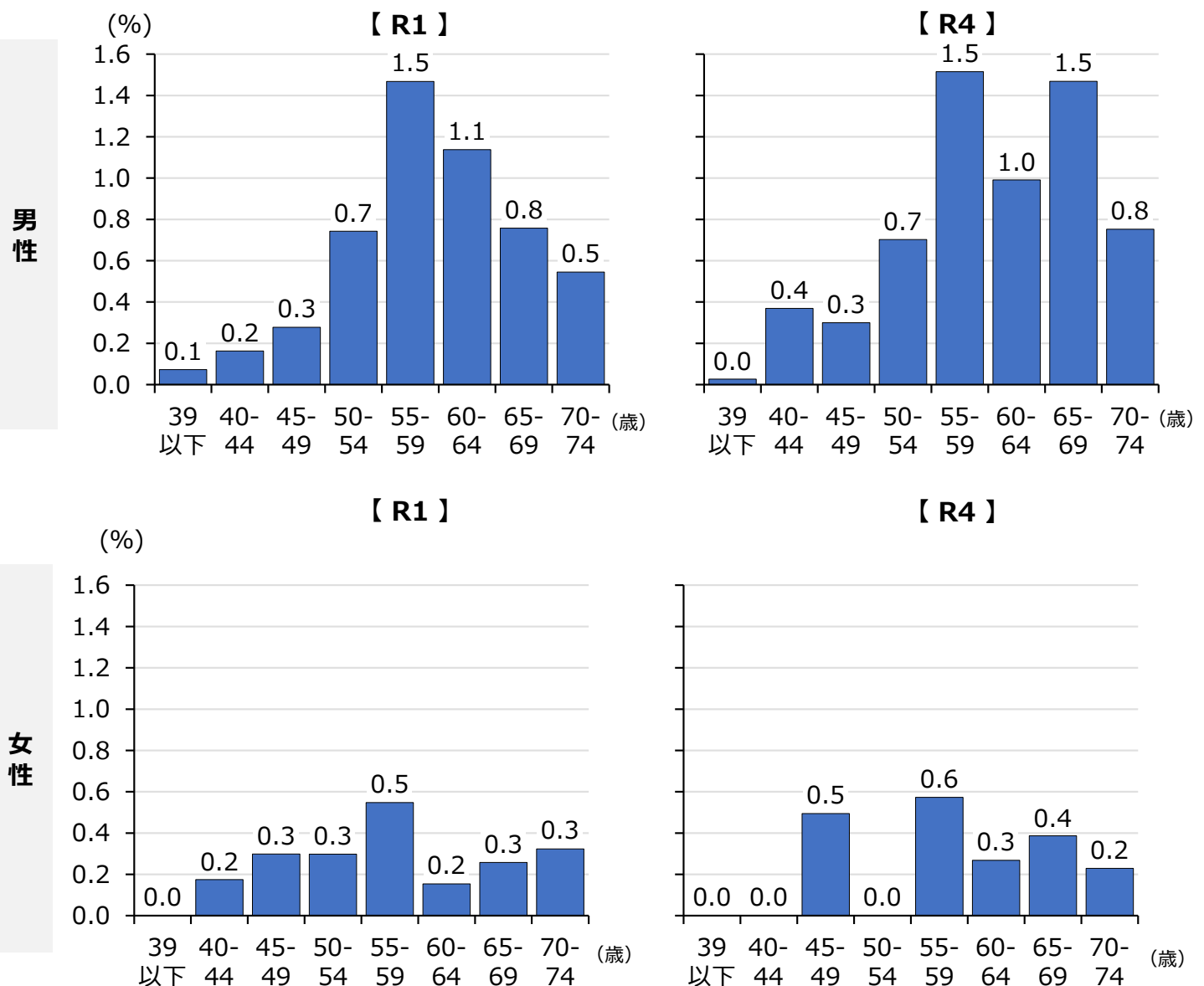


図表71	人工透析患者数②	出典	厚生労働省様式（様式3-7）人工透析のレセプト分析【平成30年度・令和4年度（各年度作成年月1月分使用）】
データ分析の結果	令和4年度の人工透析患者の他疾病有病状況は、「高血圧症」93.8%、「糖尿病」58.8%、「脂質異常症」57.7%と基礎疾病が高い割合となっている。年齢階層別の人工透析患者割合は、男性は、55-59歳、65-69歳、女性は55-59歳がピークとなっている。		

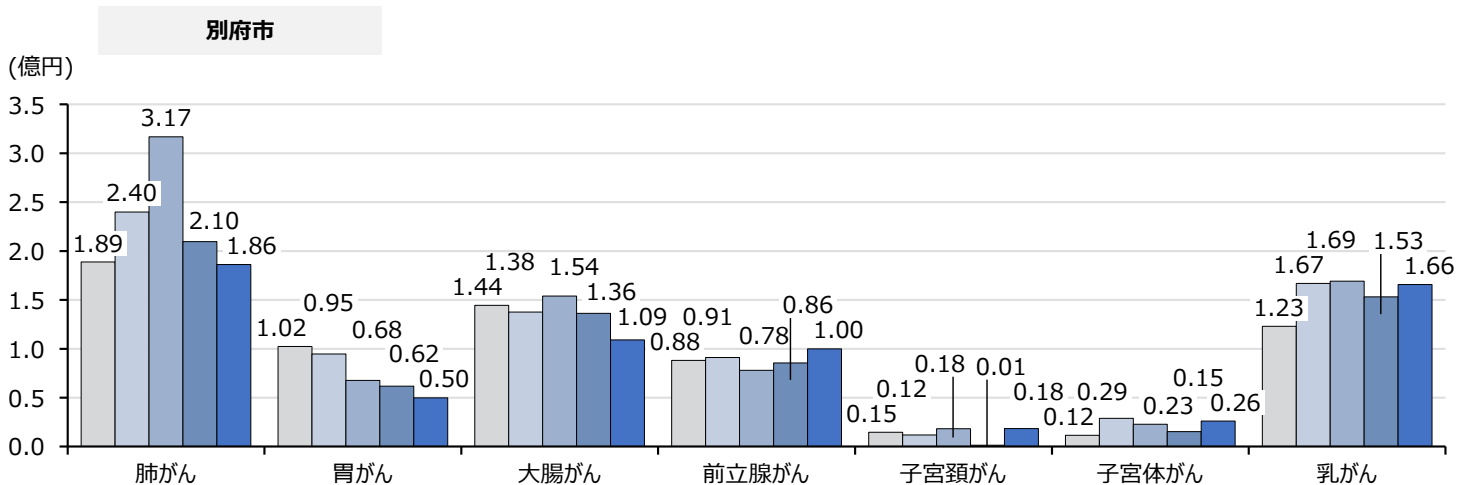
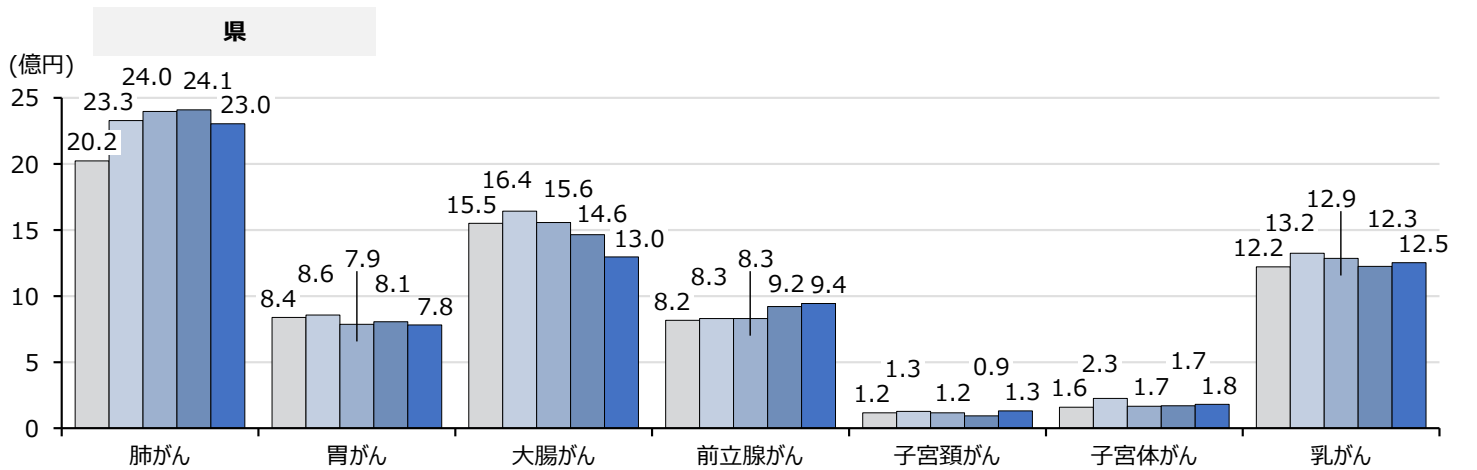
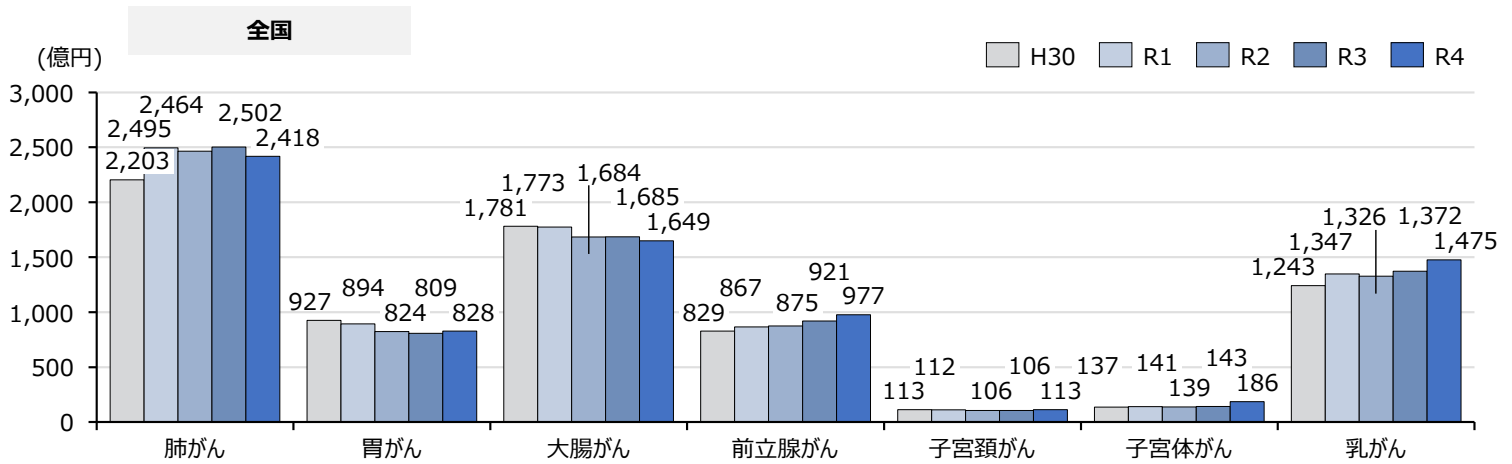
人工透析患者の他疾病の有病状況

	H30 (n=91)		R4 (n=97)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
高血圧症	80	87.9	91	93.8
糖尿病	46	50.5	57	58.8
脂質異常症	49	53.8	56	57.7
虚血性心疾患	37	40.7	41	42.3
高尿酸血症	42	46.2	46	47.4
脳血管疾患	32	35.2	27	27.8

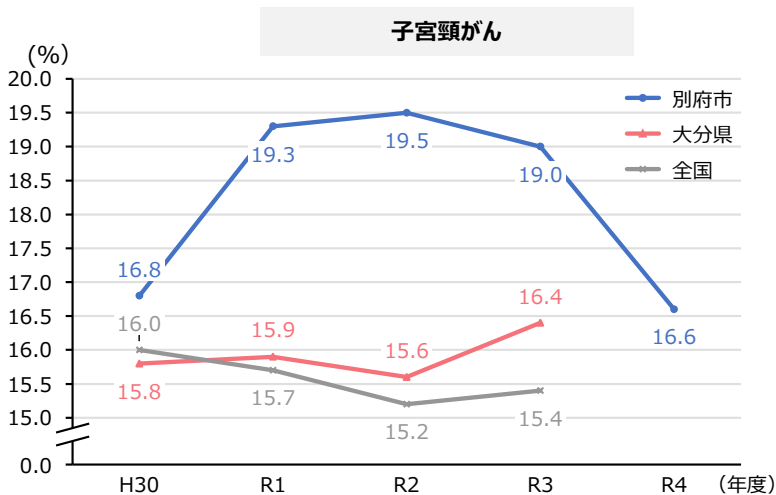
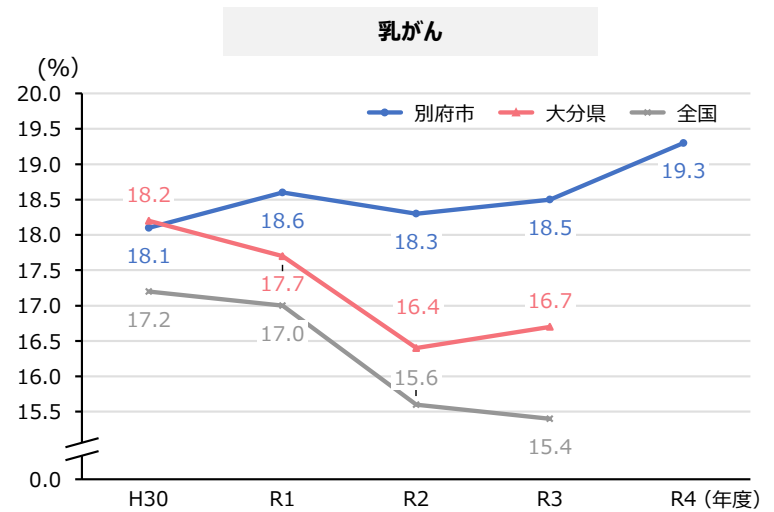
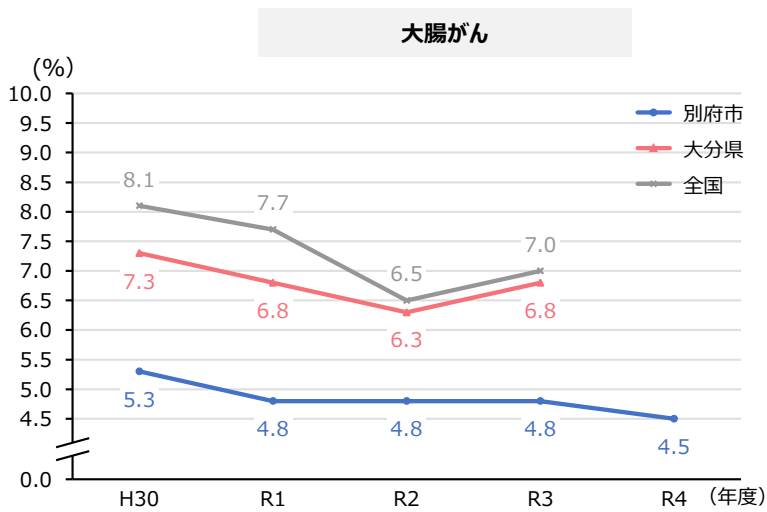
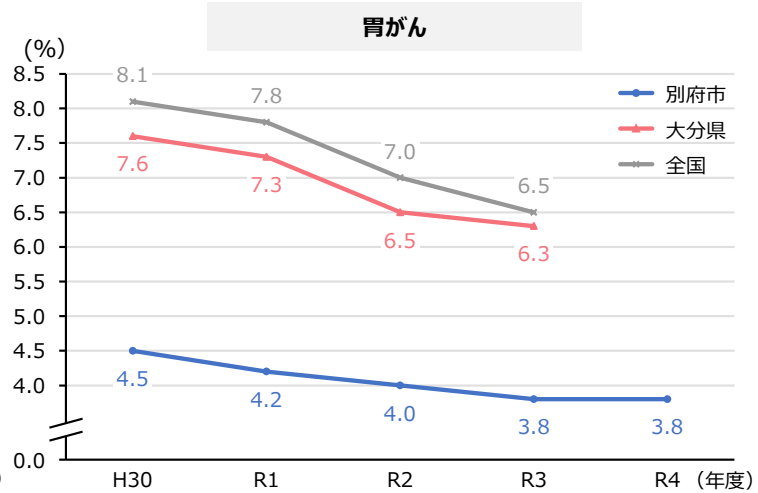
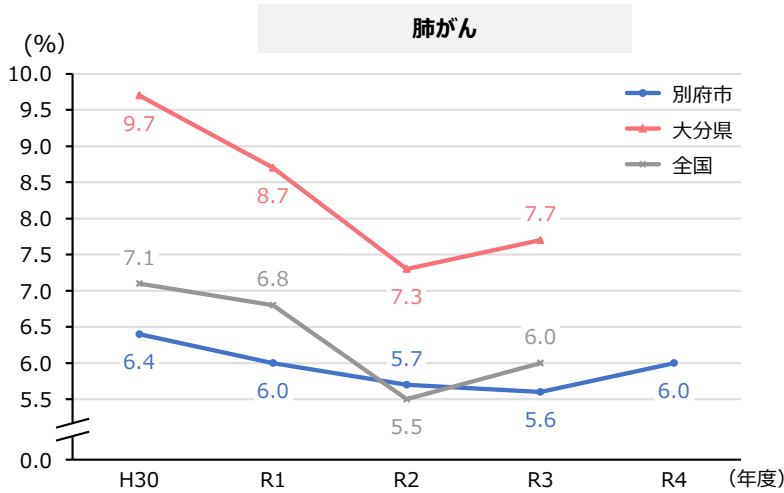
性年齢階層別 人工透析患者割合の比較



図表72	がん医療費 悪性新生物種類別	出典	KDB_S23_005_疾病別医療費分析 (細小(82)分類)【平成30年度～令和4年度】
データ分析の結果	悪性新生物の種類別医療費は「肺がん」「乳がん」「大腸がん」の順に高くなっている。「肺がん」の医療費は令和2年度以降減少傾向にあり、「乳がん」「前立腺がん」は増加傾向にある。		



図表73	がん検診受診率 経年推移 ※令和4年度は速報値（別府市のみ）	出典 e-Stat_地域保健・健康増進事業報告 / 地域保健・健康増進事業報告（地域保健・老人保健事業報告） / 地域保健・健康増進事業報告 健康増進編 第2章 市区町村表（平成30年度～令和3年度）
データ分析の結果	令和3年度では、「肺がん」「胃がん」「大腸がん」が県、全国より低い状況である。特に「胃がん」「大腸がん」は、平成30年度以降減少傾向にある。「乳がん」「子宮頸がん」は県、全国より受診率が高く、特に「乳がん」は平成30年度以降増加傾向にある。	



第3期別府市データヘルス計画

発行：令和6年3月

発行者：別府市

編集：いきいき健幸部健康推進課

〒874-8511 大分県別府市上野口町1番15号

TEL 0977-21-2188

URL <https://www.city.beppu.oita.jp/>